

荒尾市子どもの生活に関する実態調査
調 査 報 告 書

平成30年11月
荒尾市
(子育て支援課)

目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象者.....	1
3. 調査内容	1
4. 調査方法	1
5. 調査期間	1
6. 回収状況	1
7. 調査結果の留意点.....	1
II. 調査結果（単純集計：保護者）	2
1. 属性.....	2
2. 経済状況	6
3. 生活環境	12
4. 教育環境	16
5. 社会環境	18
III. 調査結果（単純集計：子ども）	21
1. 属性.....	21
2. 生活環境	22
3. 教育環境	31
4. 社会環境	37
IV. 調査結果（クロス集計：保護者）	41
1. 本調査における相対的貧困率.....	41
2. 属性.....	42
3. 経済状況	47
4. 生活環境	54
5. 教育環境	58
6. 社会環境	60
V. 調査結果（クロス集計：子ども）	63
1. 属性.....	63
2. 生活環境	64
3. 教育環境	75
4. 社会環境	83
VI. 調査結果分析、課題と方向性	87
1. 経済状況	87
2. 生活環境	87
3. 教育環境	88
4. 社会環境	89
5. まとめ.....	89

I. 調査概要

1. 調査目的

熊本県では、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づき、子どもの貧困対策計画（以下「県計画」という。）を平成 27 年 3 月に策定され、①教育の支援、②生活の支援、③保護者に対する就労支援、④経済的支援を 4 つの柱として、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策に取り組まれています。

子どもの貧困をめぐる社会的な関心が高まる中、効果的な対策を進めるためには、行政、学校、自治会等が連携し、支援を要する方の把握や安定的な支援の提供が地域ごとに行われることが期待されています。このため、熊本県では、県計画の実効性を高めるとともに市町村による取り組みを支援するため、全市町村域（熊本市を除く）における子どもの生活実態を把握するための調査が実施されました。調査データについては、各市町村にそれぞれの市町村データが提供されました。

荒尾市では、提供されたデータを基に本市における子どもの生活に関する実態を把握するため、熊本県調査結果と比較できるよう、熊本県とできる限り同様の項目・方法で集計・分析を実施しました。

2. 調査対象者

市内小学校 5 年生の子ども及び保護者、同中学校 2 年生の子ども及び保護者（共に全数）

3. 調査内容

資料編の調査票のとおり

4. 調査方法

- 調査票は市を通じ各学校に配付し、各学校から調査対象者に配付
- 調査対象者は記入した調査票を各学校に提出し、各学校は提出された調査票を取りまとめるうえ市を通じて県に送付
- 県は調査データを集計・分析し、市に調査結果を提供

5. 調査期間

平成 29 年 6 月 12 日（月）～平成 29 年 7 月 12 日（水）

6. 回収状況

		対象者数	回答数	回答率
小学校 5 年生	保護者	467	369	79.0%
	子ども	467	370	79.2%
	計	934	739	79.1%
中学校 2 年生	保護者	433	293	67.7%
	子ども	433	293	67.7%
	計	866	586	67.7%
不明 (回答なし)	保護者		31	
	子ども		30	
	計		61	
全 体	保護者	900	693	77.0%
	子ども	900	693	77.0%
	計	1,800	1,386	77.0%

7. 調査結果の留意点

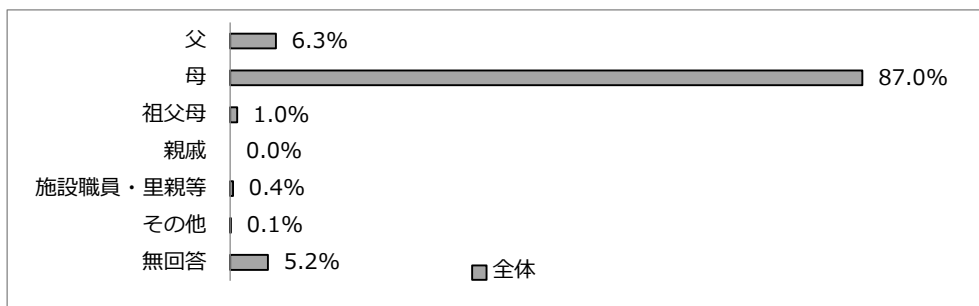
本報告書内のグラフや表の値は、有効回答数に対するそれぞれの回答割合、小数点以下第二位の四捨五入により各項目の合計が 100.0%とならない場合があるため、最多の項目において端数処理しています。

II. 調査結果（単純集計：保護者）

1. 属性

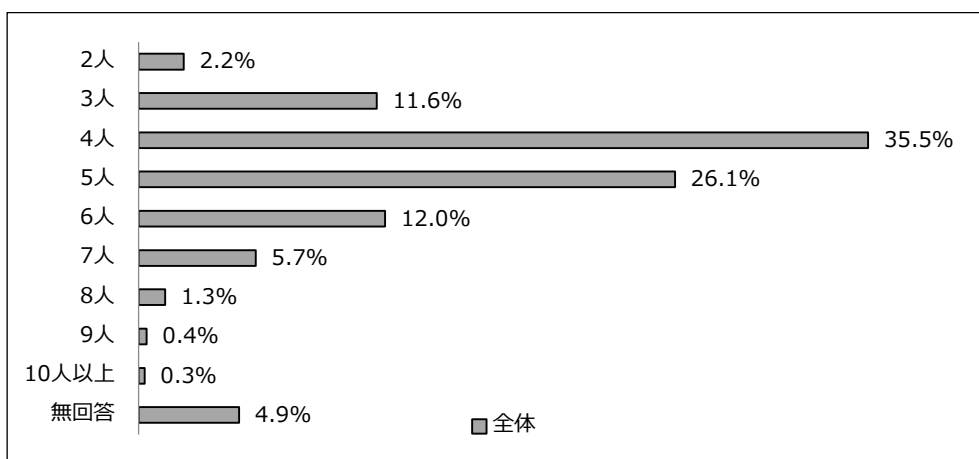
問1 この調査に回答いただいている方は、お子さんに対してどのようなお立場（続柄）になりますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「母」が87.0%で最も高く、「父」が6.3%、「祖父母」が1.0%、「施設職員・里親等」が0.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の9割強が「父母」であった。



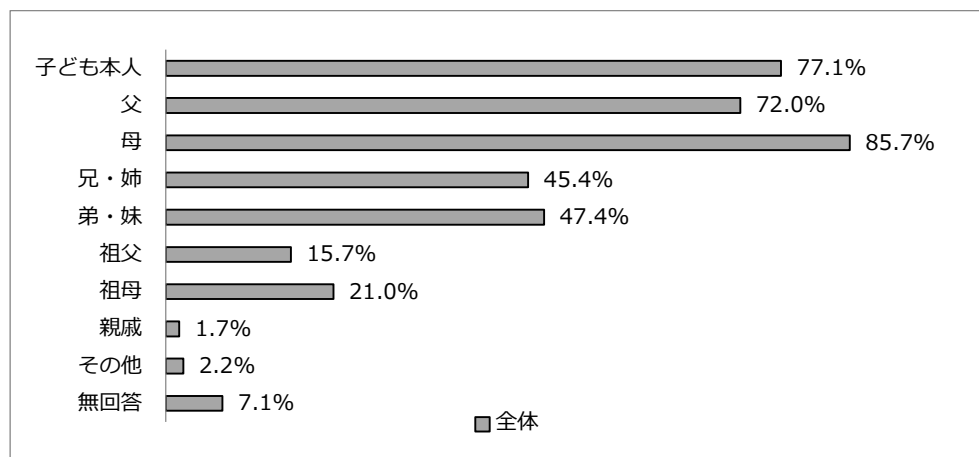
問2-1 世帯の人数は何人ですか。（あなたとお子さんを含めた人数について、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「4人」が35.5%で最も高く、「5人」が26.1%、「6人」が12.0%、「3人」が11.6%、「7人」が5.7%、「2人」が2.2%の順に高くなっている。このことから、回答者の6割程度が「4人～5人」であった。



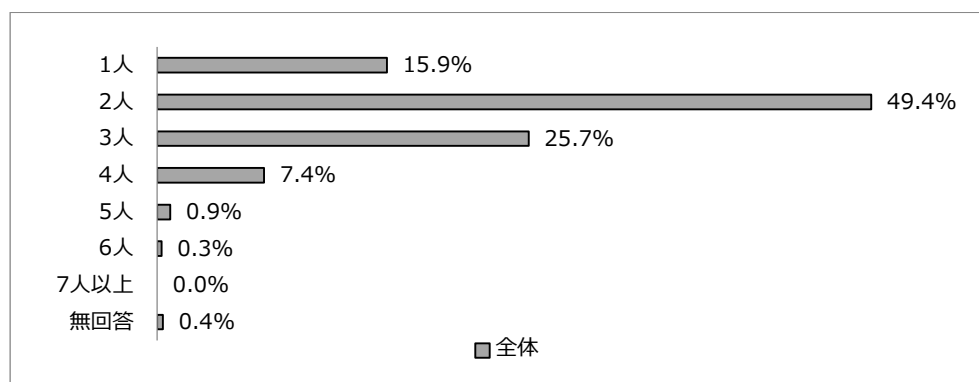
問 2-2 世帯で同居する方（単身赴任や出張などで一時的に別居している場合を含む）を選んでください。（お子さんからみた続柄で、あてはまる番号全てに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「母」が85.7%で最も高く、「父」が72.0%、「弟・妹」が47.4%、「兄・姉」が45.4%、「祖母」が21.0%、「祖父」が15.7%の順に高くなっている。



問 2-3 世帯員のうち、18歳未満の子ども的人数は何人ですか。（お子さんを含めた人数について、あてはまる番号1つに○をつけてください）

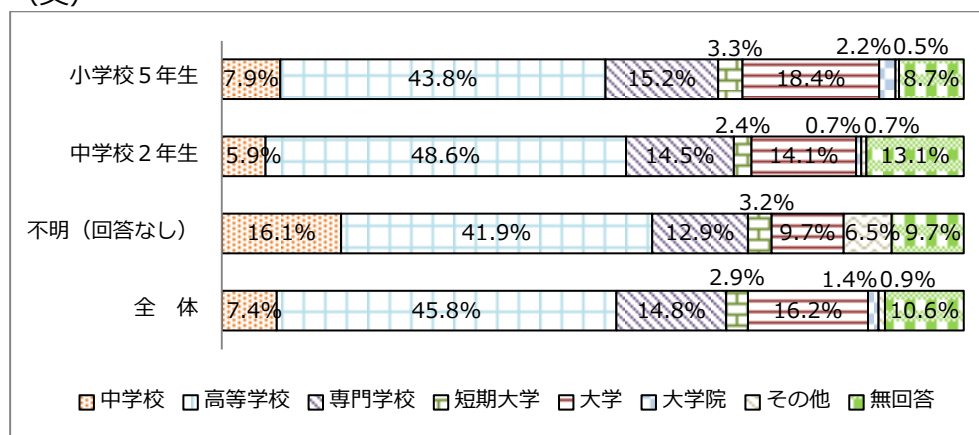
- ・ 回答者全体では、「2人」が49.4%で最も高く、「3人」が25.7%、「1人」が15.9%、「4人」が7.4%、「5人」が0.9%、「6人」が0.3%の順に高くなっている。このことから、回答者の8割弱が「2～3人」であった。



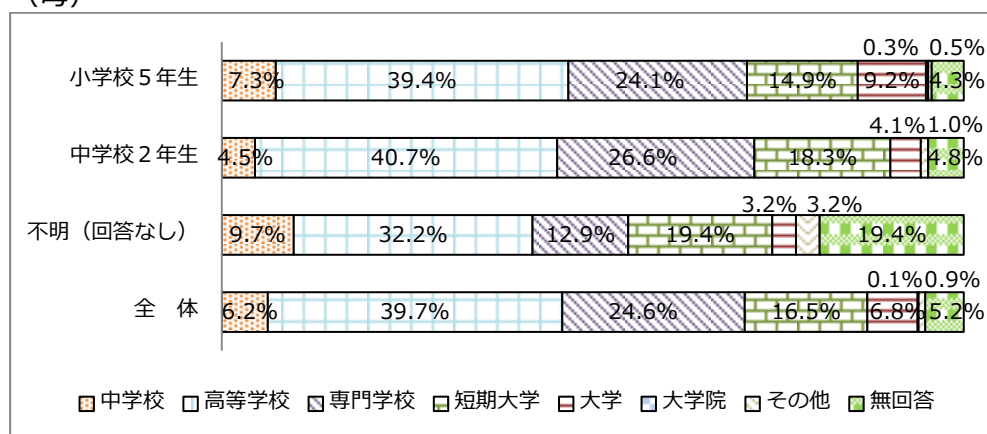
問 12 お子さんの父母の最終学歴を教えてください。(父母それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 父について、回答者全体では、「高等学校」が 45.8%で最も高く、「大学」が 16.2%、「専門学校」が 14.8%、「中学」が 7.4%、「短期大学」が 2.9%の順に高くなっている。
- ・ 母について、回答者全体では、「高等学校」が 39.7%で最も高く、「専門学校」が 24.6%、「短期大学」が 16.5%、「大学」が 6.8%、「中学」が 6.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、父について、回答者の 5 割強が「中学校～高等学校」、2 割程度が「専門学校～短期大学」、2 割程度が「大学～大学院」であった。
- ・ また、母について、回答者の 5 割弱が「中学校～高等学校」、4 割程度が「専門学校～短期大学」、1 割弱が「大学～大学院」であり、父母間で最終学歴に差が見られた。

(父)

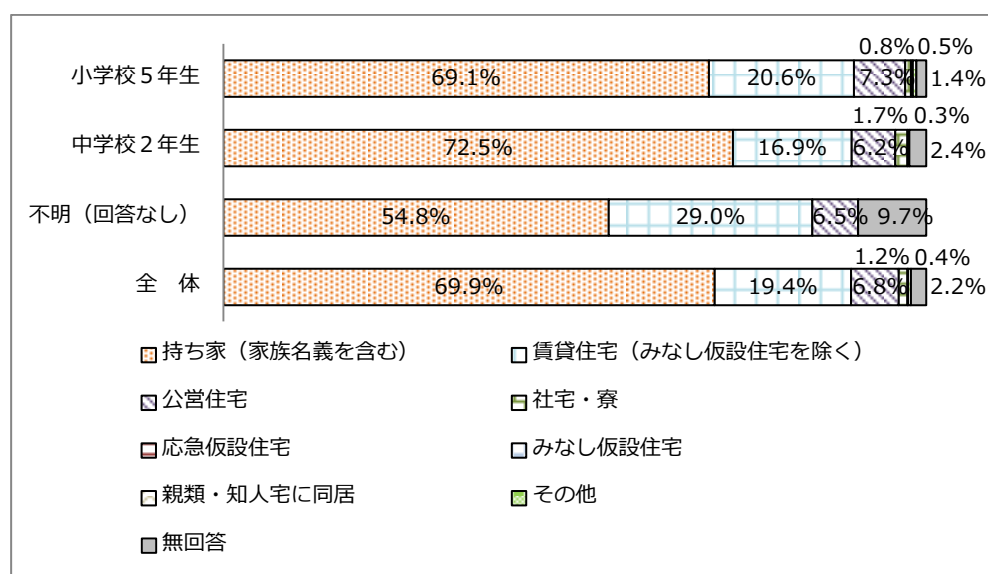


(母)



問 13 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「持ち家（家族名義を含む）」が69.9%で最も高く、「賃貸住宅（みなし仮設住宅を除く）」が19.4%、「公営住宅」が6.8%、「社宅・寮」が1.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割程度が「持ち家（家族名義を含む）」、3割弱が「賃貸住宅（みなし仮設住宅を除く）、公営住宅」であった。

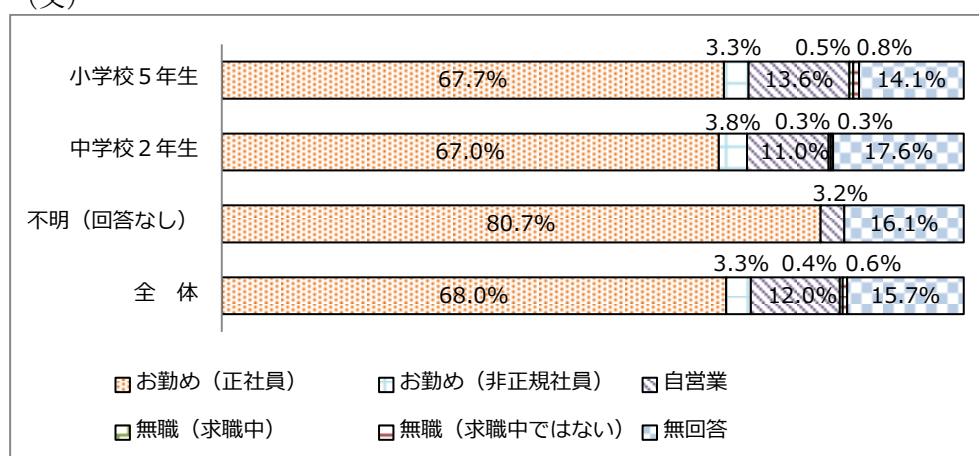


2. 経済状況

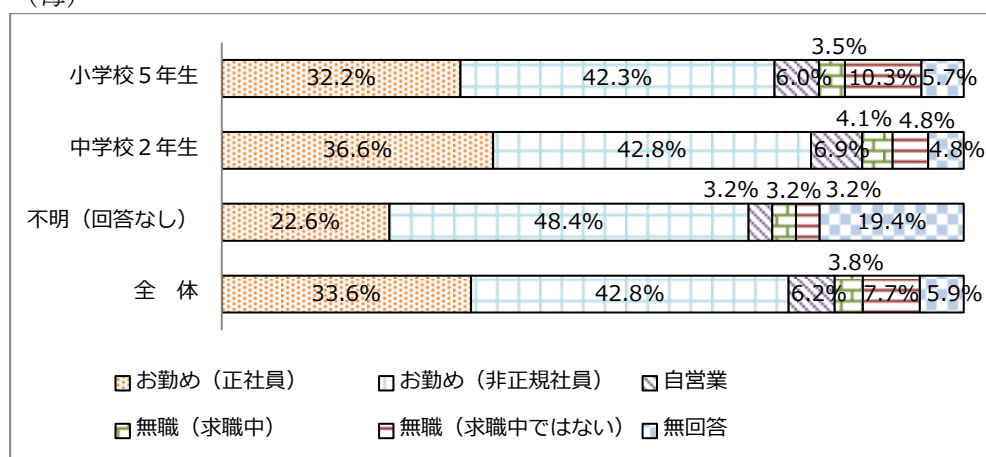
問 14 お子さんの父母の現在の就業状況を教えてください。(父母それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 父について、回答者全体では、「お勤め（正社員）」が 68.0%で最も高く、「自営業」が 12.0%、「お勤め（非正規社員）」が 3.3%、「無職（求職中ではない）」が 0.6%、「無職（求職中）」が 0.4%の順に高くなっている。
- ・ 母について、回答者全体では、「お勤め（非正規社員）」が 42.8%で最も高く、「お勤め（正社員）」が 33.6%、「無職（求職中ではない）」が 7.7%、「自営業」が 6.2%、「無職（求職中）」が 3.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、父母ともに回答者の 8 割強が「就労中」であるが、「お勤め」の場合の父母の非正規率は大きく異なる。

(父)

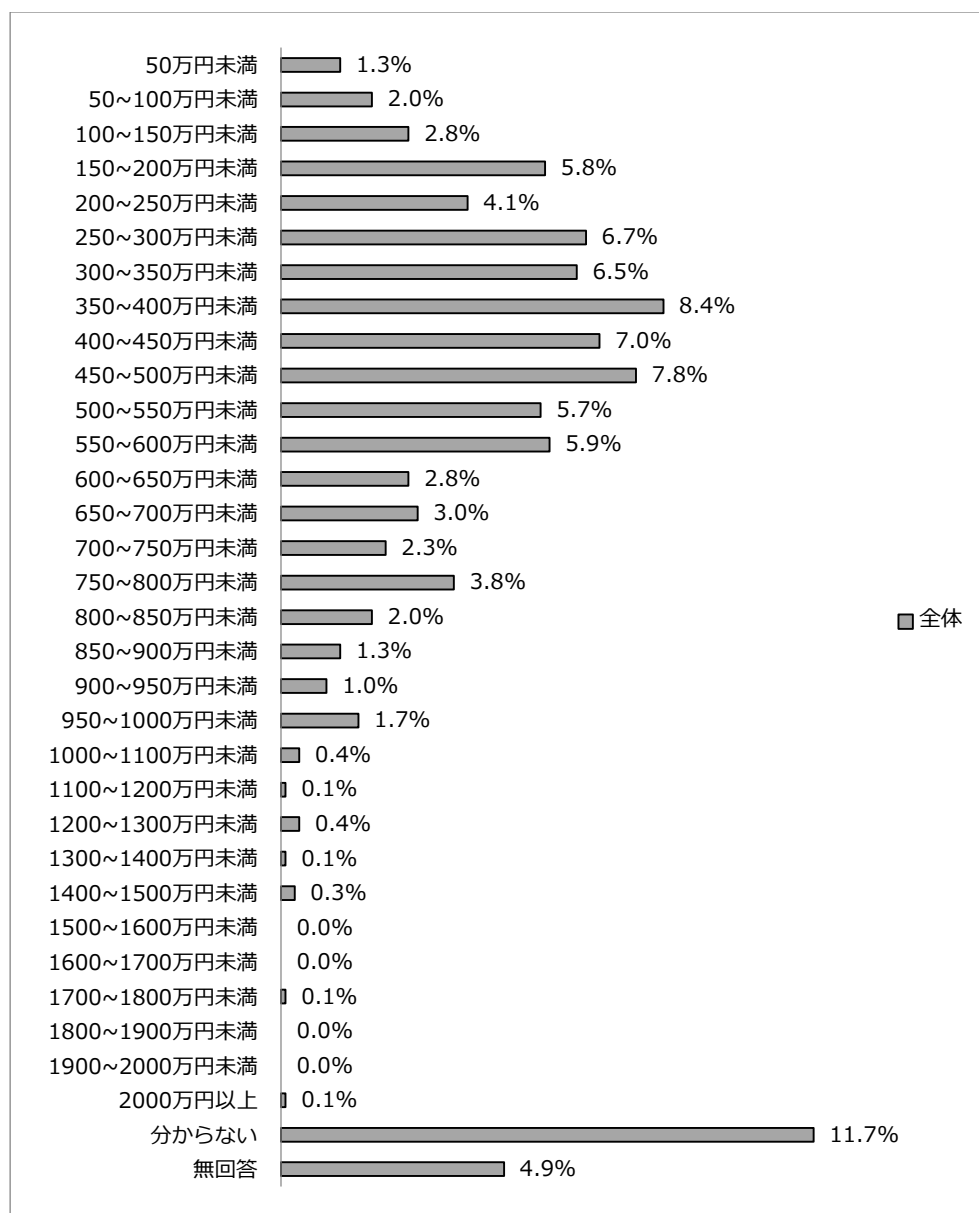


(母)



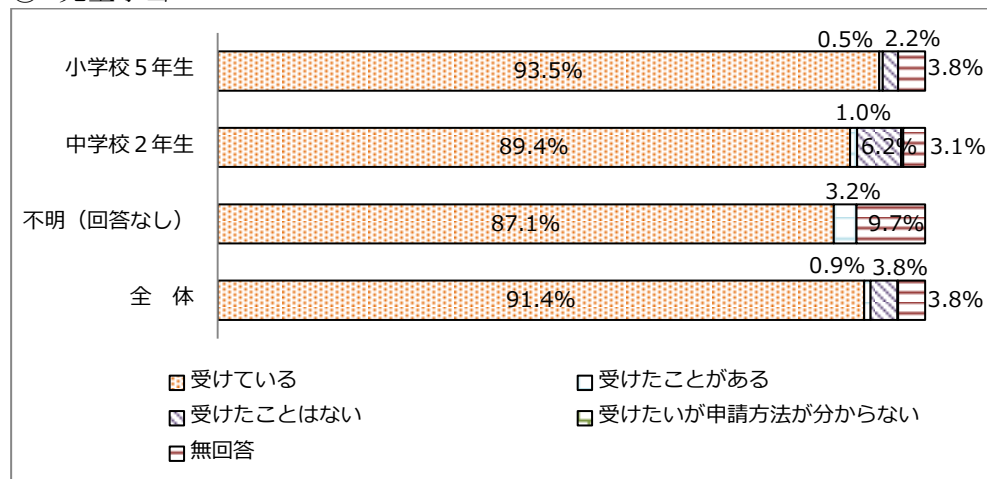
問 15 前年(2016年)の世帯全員を合わせた所得合計（収入から税や保険料を支払った後の額）はおよそいくらでしたか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「350～400万円未満」が8.4%で最も高く、「450～500万円未満」が7.8%、「400～450万円未満」が7.0%、「250～300万円未満」が6.7%、「300～350万円未満」が6.5%、「550～600万円未満」が5.9%の順に高くなっている。



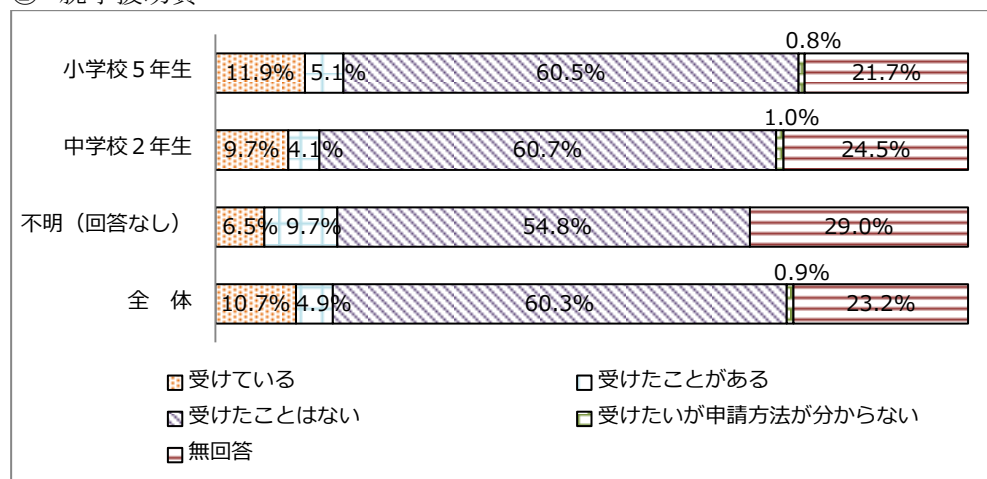
問 16 あなたの世帯では、以下の手当や援助等を受けていますか。(①～⑤の項目それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

① 児童手当



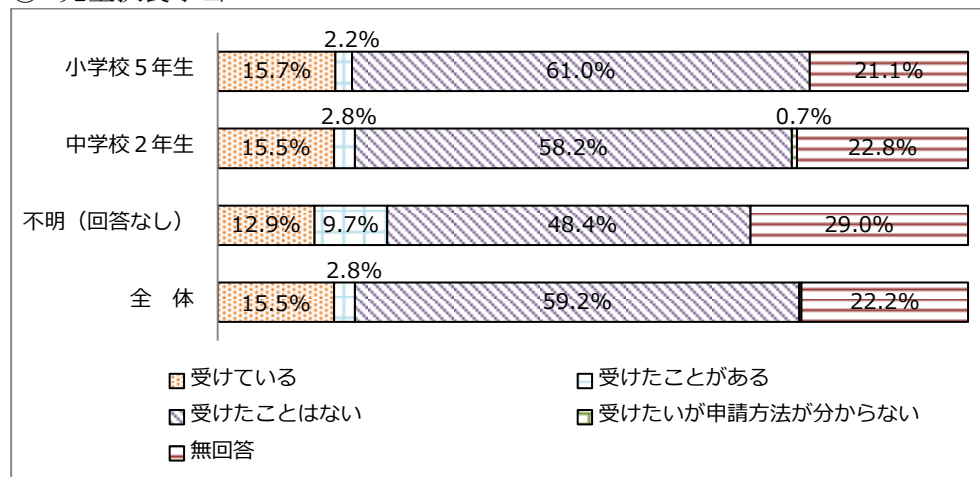
- ・ 児童手当について、回答者全体では、「受けている」が 91.4%で最も高く、「受けたことはない」が 3.8%、「受けたことがある」が 0.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、児童手当について、回答者の 9 割程度が「受けている、受けたことがある」であった。

② 就学援助費



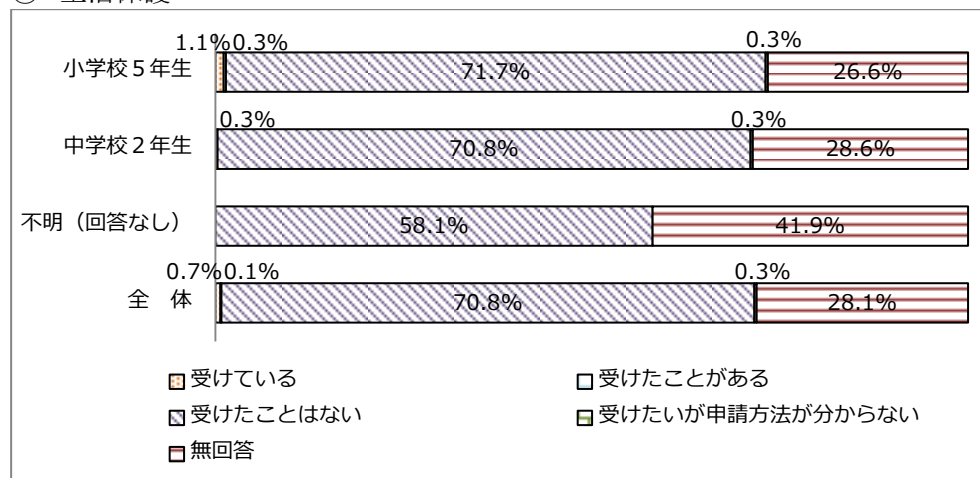
- ・ 就学援助費について、回答者全体では、「受けたことはない」が 60.3%で最も高く、「受けている」が 10.7%、「受けたことがある」が 4.9%、「受けたいが申請方法が分からない」が 0.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、就学援助費について、回答者の 2 割弱が「受けている、受けたことがある」であった。

③ 児童扶養手当



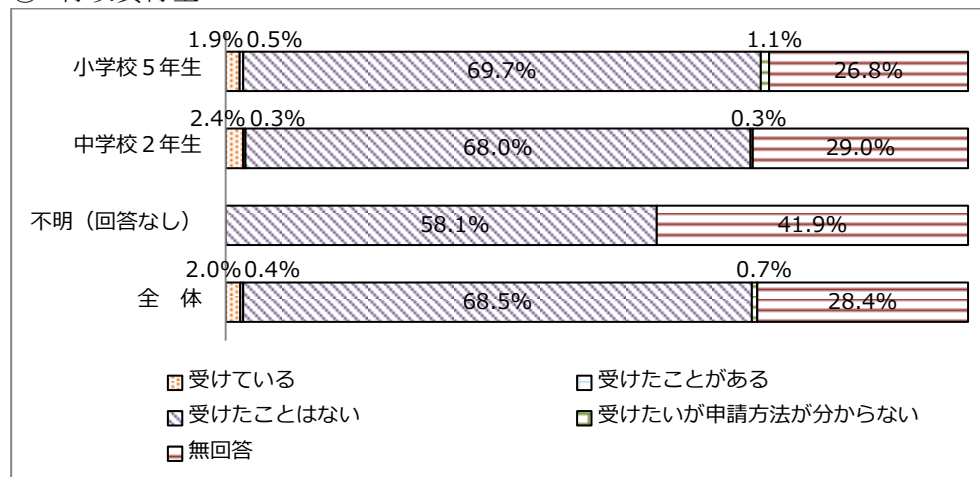
- ・ 児童扶養手当について、回答者全体では、「受けたことはない」が59.2%で最も高く、「受けている」が15.5%、「受けたことがある」が2.8%の順に高くなっている。
- ・ このことから、児童扶養手当について、回答者の2割程度が「受けている、受けたことがある」であった。

④ 生活保護



- ・ 生活保護について、回答者全体では、「受けたことはない」が70.8%で最も高く、「受けている」が0.7%、「受けたことがある」が0.1%、「受けたいが申請方法が分からない」が0.3%の順に高くなっている。

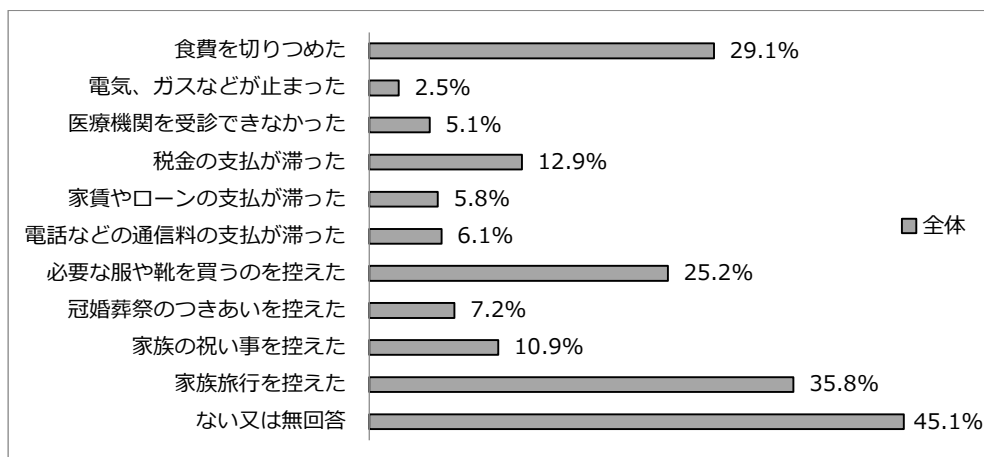
⑤ 行政貸付金



- 行政からの貸付金について、回答者全体では、「受けたことはない」が68.5%で最も高く、「受けている」が2.0%、「受けたいが申請方法が分からない」が0.7%、「受けたことがある」が0.4%の順に高くなっている。

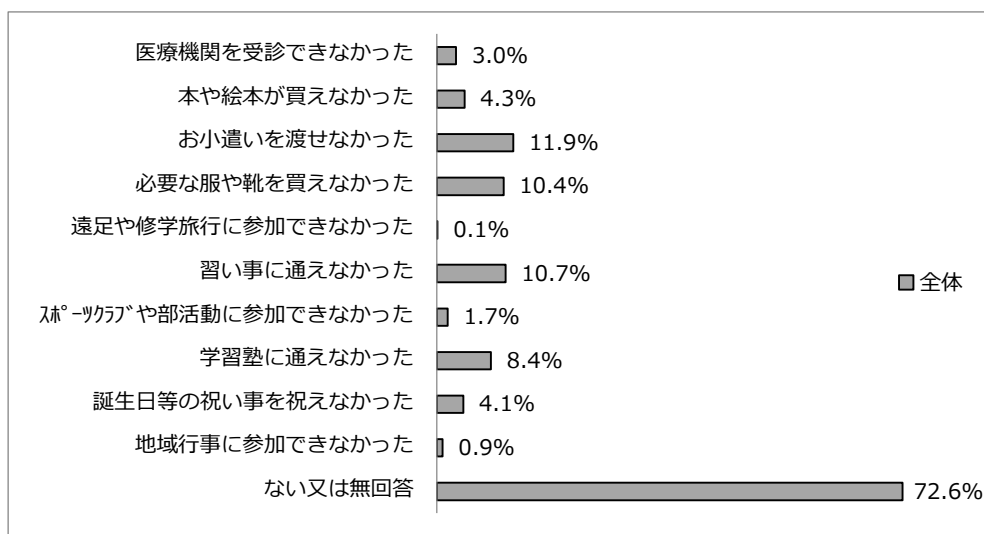
問 17 あなたの世帯では、経済的理由で、次のような経験をしたことがありますか。おおむね直近 1 年の間でお考えください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「家族旅行を控えた」が35.8%で最も高く、「食費を切りつめた」が29.1%、「必要な服や靴を買うのを控えた」が25.2%、「税金の支払が滞った」が12.9%、「家族の祝い事を控えた」が10.9%の順に高くなっている。



問 18 あなたの世帯では、経済的理由で、お子さんが希望したにもかかわらず、次のような経験をしたことがありますか。おおむね直近 1 年の間でお考えください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

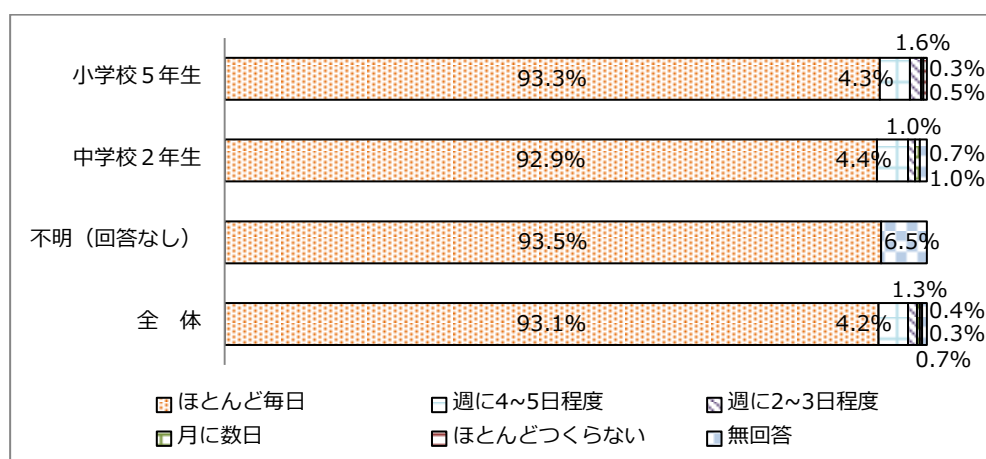
- ・ 回答者全体では、「お小遣いを渡せなかった」が11.9%で最も高く、「習い事に通えなかった」が10.7%、「必要な服や靴を買えなかった」が10.4%、「学習塾に通えなかった」が8.4%、「本や絵本が買えなかった」が4.3%、「誕生日等の祝い事を祝えなかった」が4.1%の順に高くなっている。



3. 生活環境

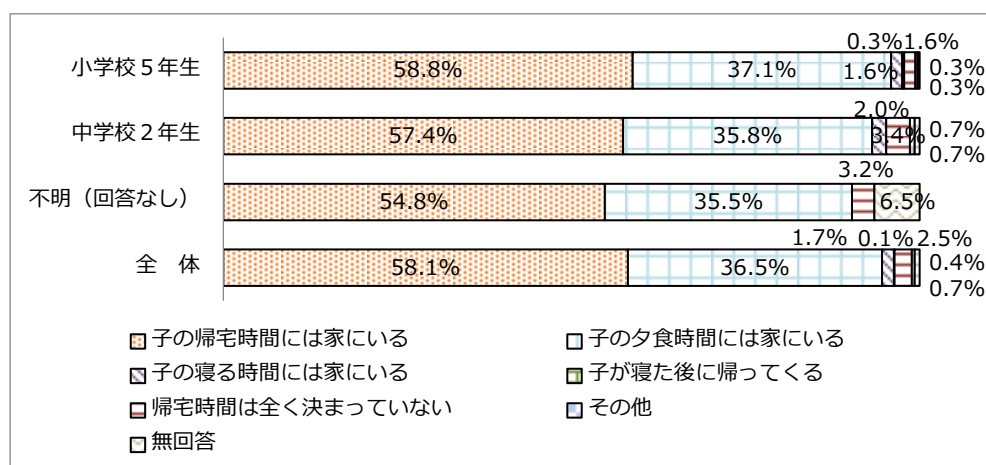
問3 あなたの世帯では、お子さんの保護者の方が食事をどのくらいつくりですか。（保護者には、お子さんの父母のほか、祖父母や親戚などを含みます。1日に1食でも、目玉焼きなどの簡単な料理を含めて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「ほとんど毎日」が93.1%で最も高く、「週に4～5日程度」が4.2%、「週に2～3日程度」が1.3%、「月に数日」が0.4%、「ほとんどつくらない」が0.3%の順に高くなっている。



問4 あなたの世帯で、お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で多いものを選んでください。（保護者には、お子さんの父母のほか、祖父母や親戚などを含みます。あてはまる番号1つに○をつけてください）

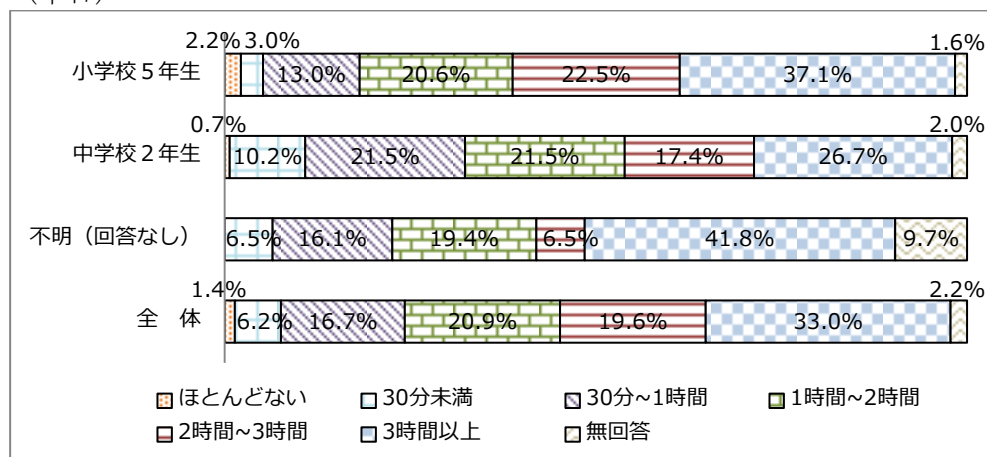
- ・ 回答者全体では、「子の帰宅時には家にいる」が58.1%で最も高く、「子の夕食時には家にいる」が36.5%、「帰宅時間は全く決まっていない」が2.5%、「子の寝る時には家にいる」が1.7%、「その他」が0.4%、「子が寝た後に帰ってくる」が0.1%の順に高くなっている。



問5 あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話をする時間は、1日あたりどのくらいですか。（平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

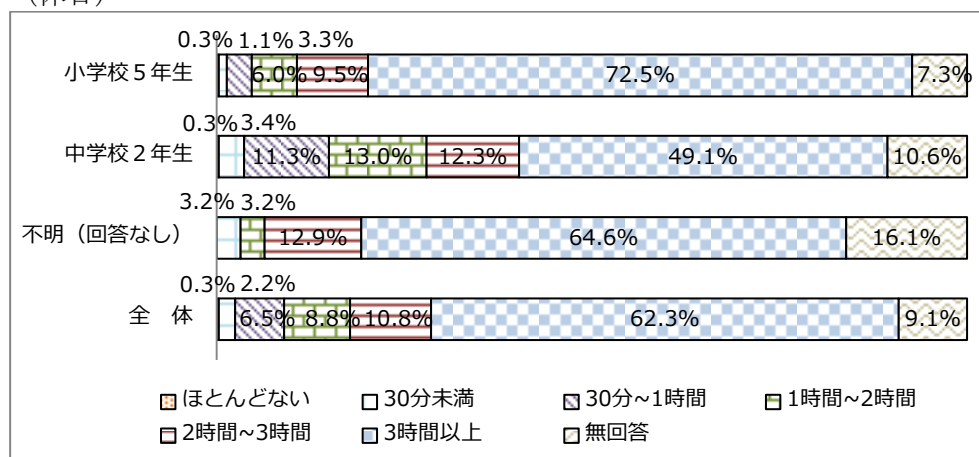
- ・ 平日について、回答者全体では、「3時間以上」が33.0%で最も高く、「1時間～2時間」が20.9%、「2時間～3時間」が19.6%、「30分～1時間」が16.7%、「30分未満」が6.2%、「ほとんどない」が1.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、平日について、回答者の2割強が「1時間未満」、4割程度が「1時間～3時間」、3割強が「3時間以上」であった。

（平日）



- ・ 休日について、回答者全体では、「3時間以上」が62.3%で最も高く、「2時間～3時間」が10.8%、「1時間～2時間」が8.8%、「30分～1時間」が6.5%、「30分未満」が2.2%、「ほとんどない」が0.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、休日について、回答者の1割程度が「1時間未満」、2割程度が「1時間～3時間」、6割程度が「3時間以上であった」。

（休日）



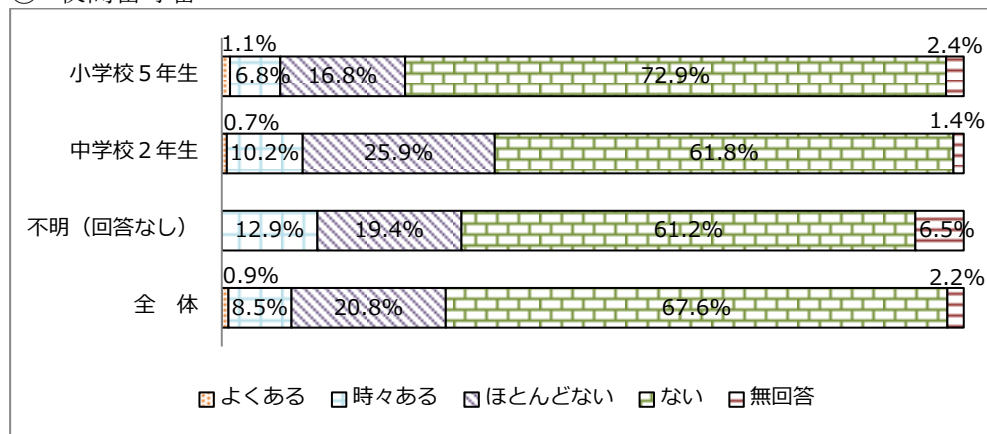
- ・ 親子間における会話等の時間は、小学生5年生で長く、中学校2年生で短い傾向があり、小学校5年生と中学校2年生の保護者とで回答傾向に差異が見られた。

問6 あなたの世帯では、以下のようなことがどの程度ありますか（①～③の項目それぞれ

について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

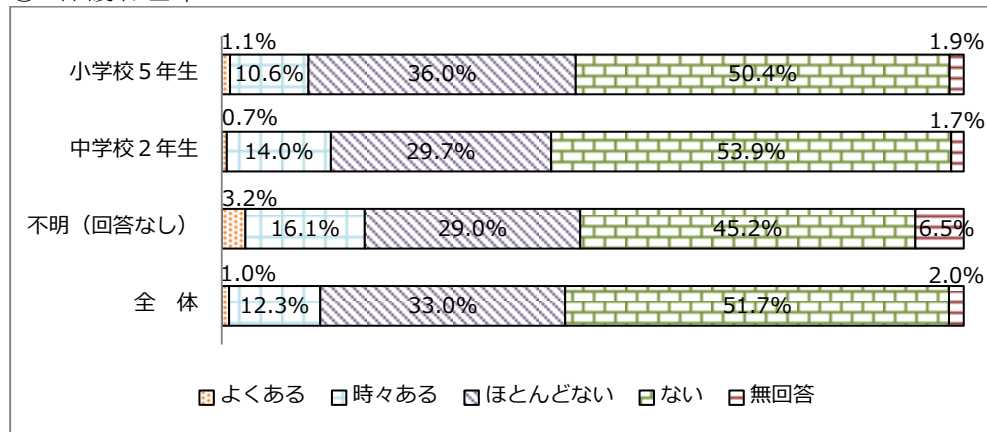
- 子どもだけで夜間に留守番をする頻度について、回答者全体では、「ない」が67.6%で最も高く、「ほとんどない」が20.8%、「時々ある」が8.5%の順に高くなっている。

① 夜間留守番



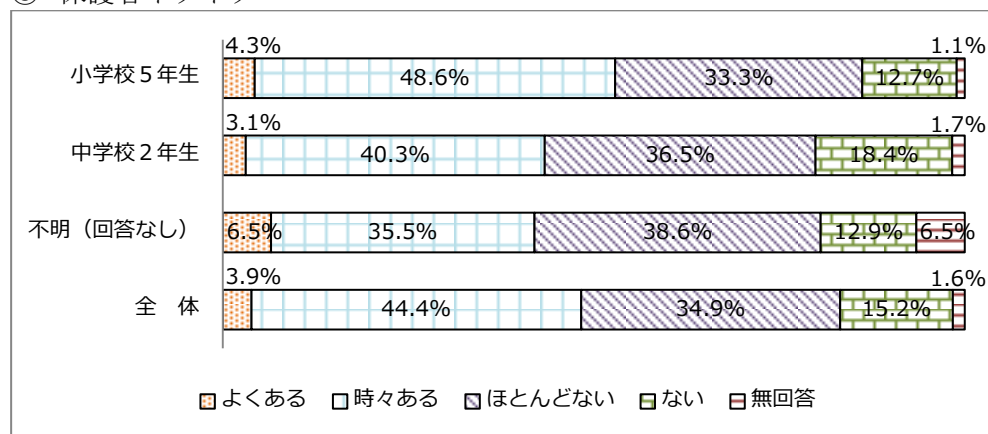
- 子どもの前で保護者が大喧嘩をする頻度について、回答者全体では、「ない」が51.7%で最も高く、「ほとんどない」が33.0%、「時々ある」が12.3%の順に高くなっている。

② 保護者喧嘩



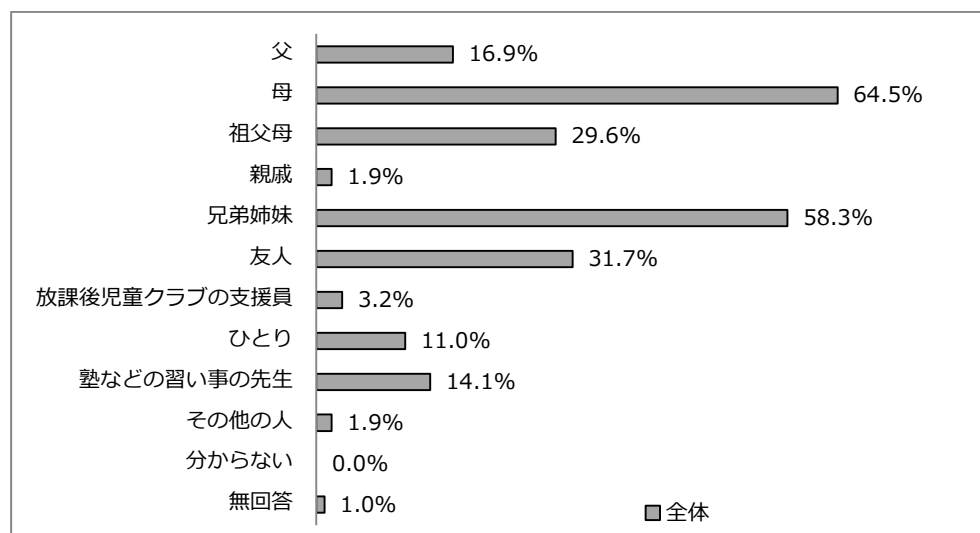
- 保護者の不安やイライラ等の感情を子どもに向けてしまう頻度について、回答者全体では、「時々ある」が44.4%で最も高く、「ほとんどない」が34.9%の順に高くなっている。

③ 保護者イライラ



問 7 あなたのお子さんは、学校が終わってから夕食までの間、主に誰と過ごしていますか。
（あてはまる番号全てに○をつけてください）

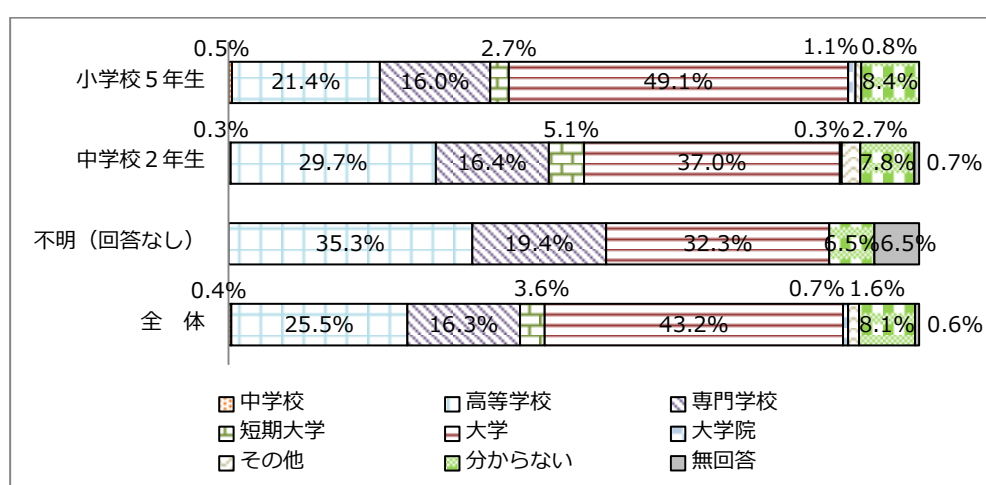
- 回答者全体では、「母」が64.5%で最も高く、「兄弟姉妹」が58.3%、「友人」が31.7%、「祖父母」が29.6%、「父」が16.9%、「塾などの習い事の先生」が14.1%、「ひとり」が11.0%、「放課後児童クラブの支援員」が3.2%の順に高くなっている。



4. 教育環境

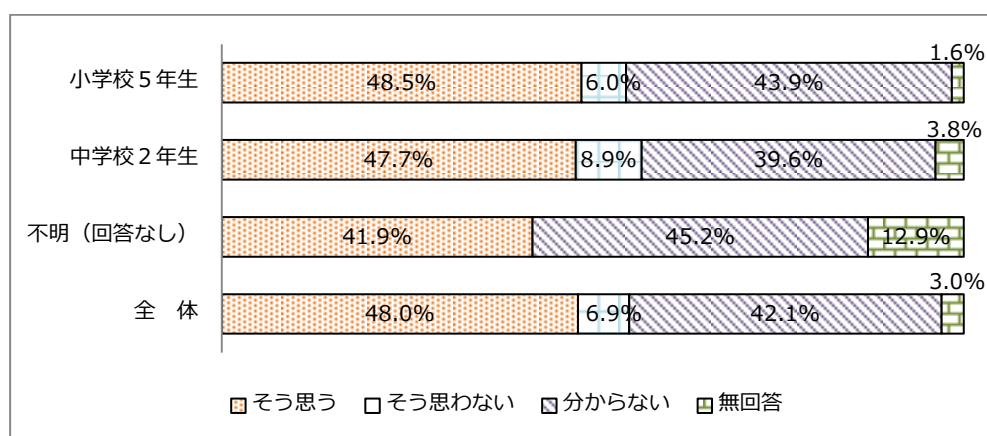
問 8 あなたは、お子さんをどの学校まで進学させたいと希望されていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「大学」が43.2%で最も高く、「高等学校」が25.5%、「専門学校」が16.3%、「分からない」が8.1%、「短期大学」が3.6%、「その他」が1.6%、「大学院」が0.7%、「中学校」が0.4%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の3割弱が「中学校～高等学校」、2割程度が「専門学校～短期大学」、4割強が「大学～大学院」であった。



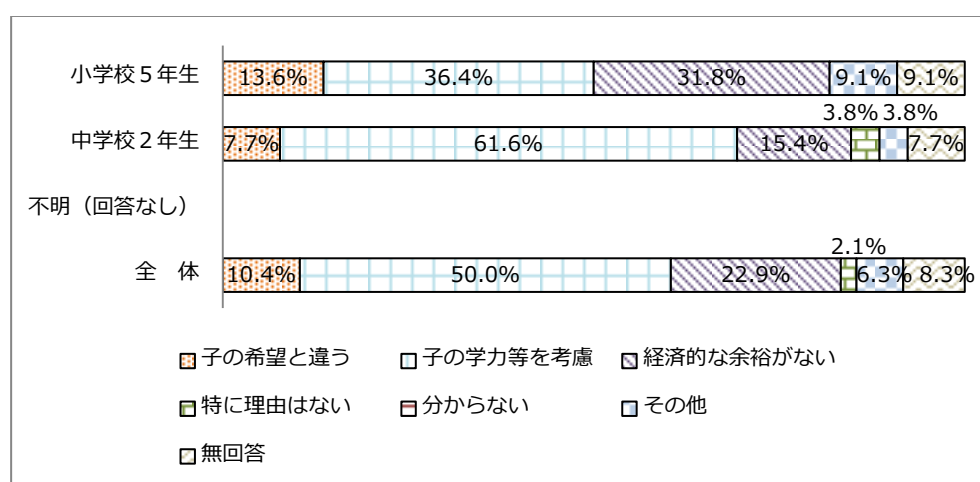
問 9-1 あなたは、問 8 で回答した希望どおり、お子さんが進学できそうだとお考えですか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「そう思う」が48.0%で最も高く、「分からない」が42.1%、「そう思わない」が6.9%の順に高くなっている。



問 9-2 問 9-1 で「2. そう思わない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、問 10 にお進みください。その理由について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

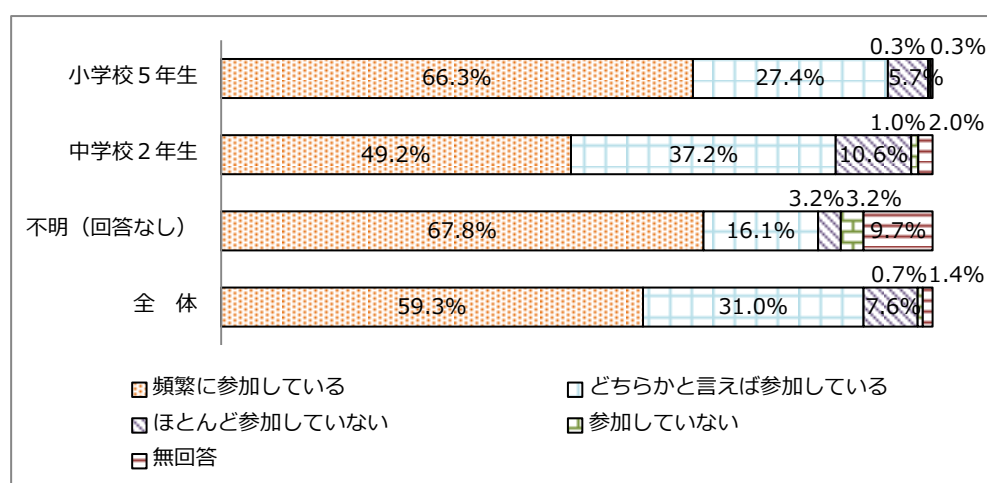
- ・ 回答者全体では、「子の学力等を考慮」が50.0%で最も高く、「経済的な余裕がない」が22.9%、「子の希望と違う」が10.4%、「その他」が6.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の6割程度が「子の希望と違う、子の学力等を考慮」の子ども自身に関する要因であるのに対し、2割強度が「経済的な余裕がない」の保護者（世帯）に関する要因であった。
- ・ なお、回答割合が高い上位2項目について、小学校5年生の保護者、中学校2年生の保護者ともに「子の学力等を考慮」、次いで「経済的な余裕がない」の順に高くなっているが、小学校5年生に比べ、中学校2年生は「子の学力等を考慮」の子ども自身に関する割合が高く、小学校5年生と中学校2年生の保護者とで回答傾向に大きな差異が見られた。



5. 社会環境

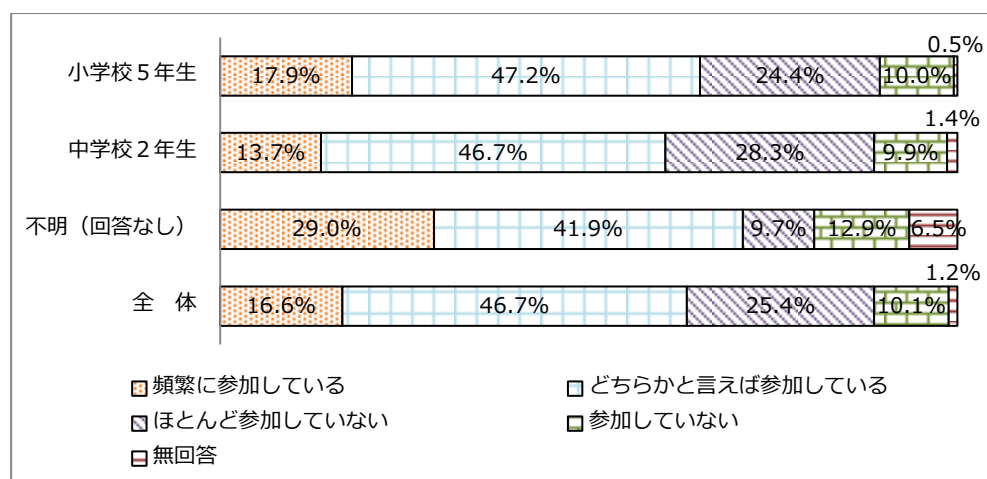
問 10 あなたは、授業参観や運動会など、お子さんの学校行事にどの程度参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- 回答者全体では、「頻繁に参加している」が59.3%で最も高く、「どちらかと言えば参加している」が31.0%、「ほとんど参加していない」が7.6%、「参加していない」が0.7%の順に高くなっている。
- なお、小学校5年生と比較し、中学校2年生において保護者の参加率が低下している。



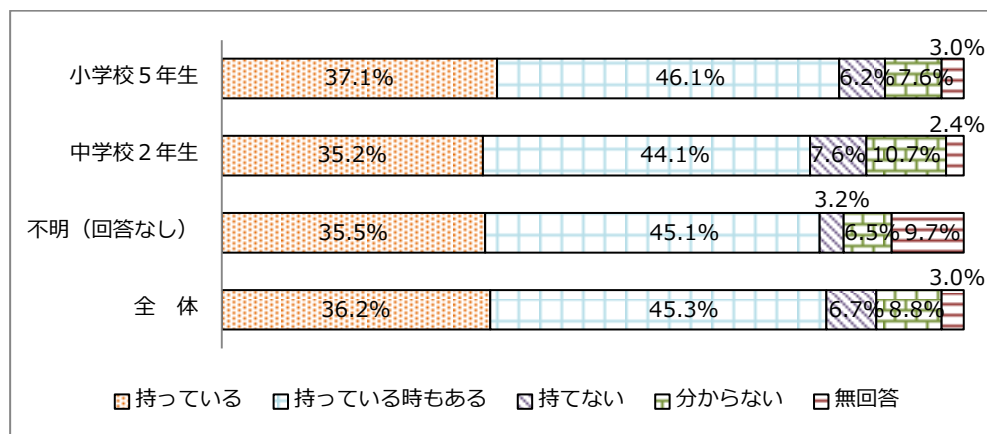
問 11 あなたは、地区の祭りなど、地域の行事にどの程度参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- 回答者全体では、「どちらかと言えば参加している」が46.7%で最も高く、「ほとんど参加していない」が25.4%、「頻繁に参加している」が16.6%、「参加していない」が10.1%の順に高くなっている。
- このことから、回答者の6割強が「頻繁に参加している、どちらかと言えば参加している」、4割弱が「ほとんど参加していない、参加していない」であった。



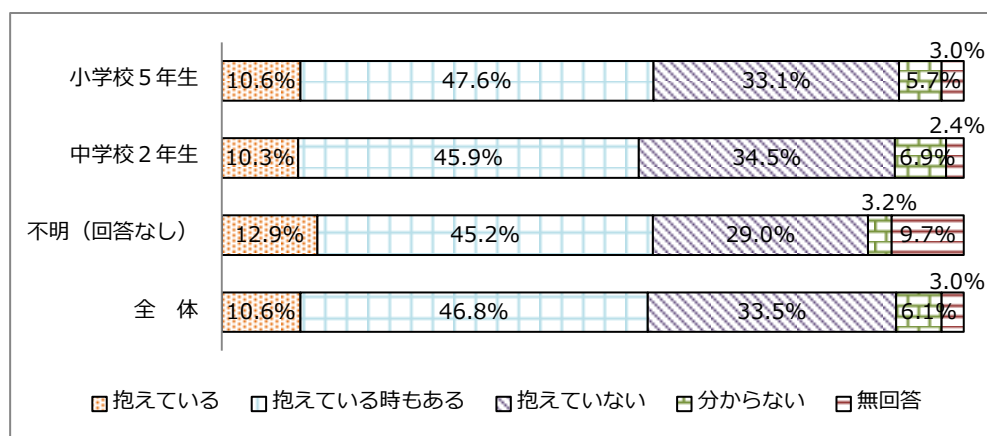
問 19 あなたは、自分の将来に対して前向きな希望を持っていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「持っている時もある」が45.3%で最も高く、「持っている」が36.2%、「分からない」が8.8%、「持てない」が6.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割程度が「持っている、持っている時もある」、1割弱で「持てない」であった。



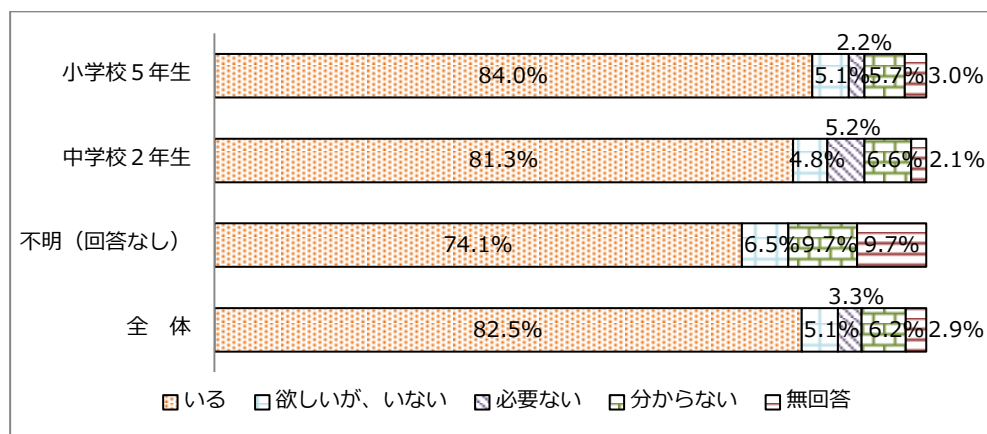
問 20 あなたは、自分だけでは解決することが難しい大きな悩みなどを抱えていますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「抱えている時もある」が46.8%で最も高く、「抱えていない」が33.5%、「抱えている」が10.6%、「分からない」が6.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の6割弱が「抱えている、抱えている時もある」、3割強が「抱えていない」であった。



問 21 あなたは、悩みや子育ての相談などをできる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに ○をつけてください)

- 回答者全体では、「いる」が82.5%で最も高く、「分からない」が6.2%、「欲しいが、いない」が5.1%、「必要ない」が3.3%の順に高くなっている。



Ⅲ 調査結果（単純集計：子ども）

1. 属性

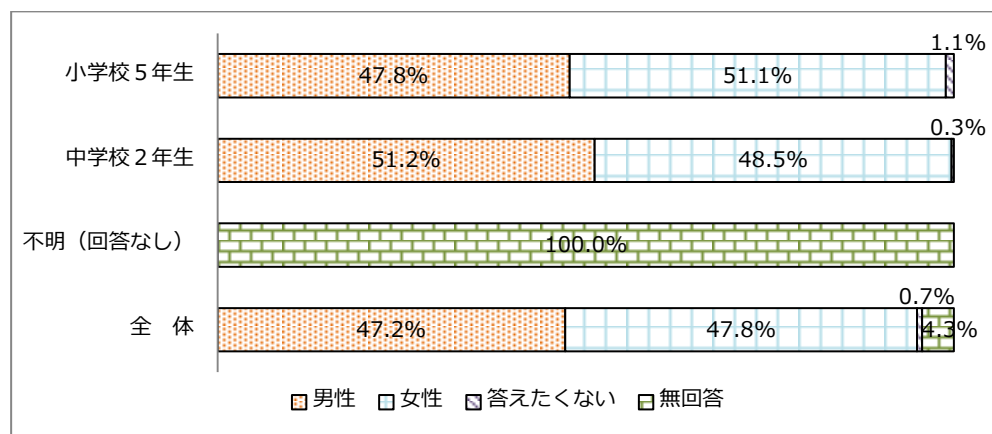
問 1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「小学校5年生」が53.4%、「中学校2年生」が42.3%、「無回答」が4.3%であった。

	小学校5年生		中学校2年生		無回答		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
小学校5年生	370	100.0%					370	100%
中学校2年生			293	100.0%			293	100%
不明（回答なし）					30	100.0%	30	100%
全 体	370	53.4%	293	42.3%	30	4.3%	693	100%

問 2 あなたの性別について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください

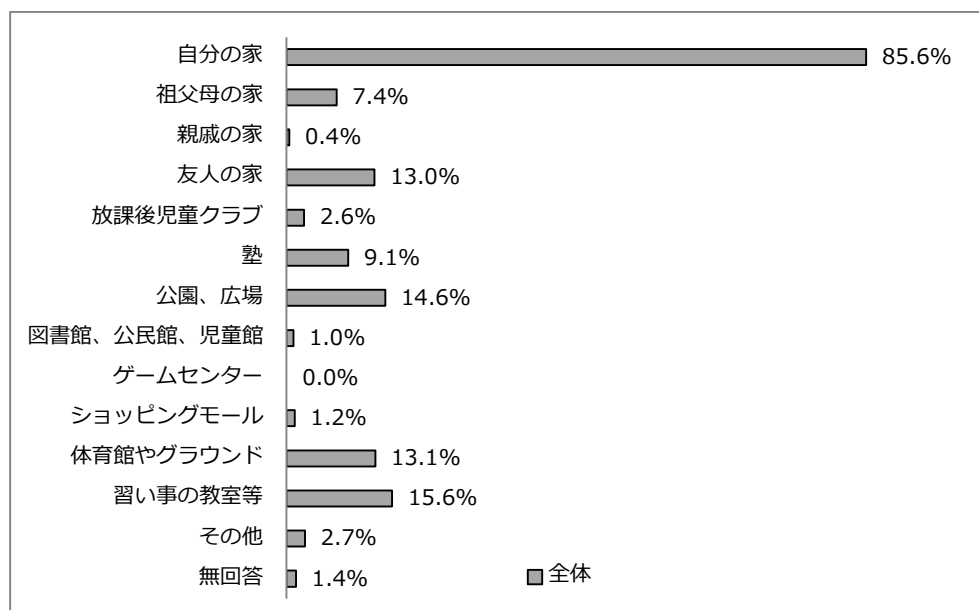
- ・ 回答者全体では、「女性」が47.8%、「男性」が47.2%、「答えたくない」が0.7%であった。



2. 生活環境

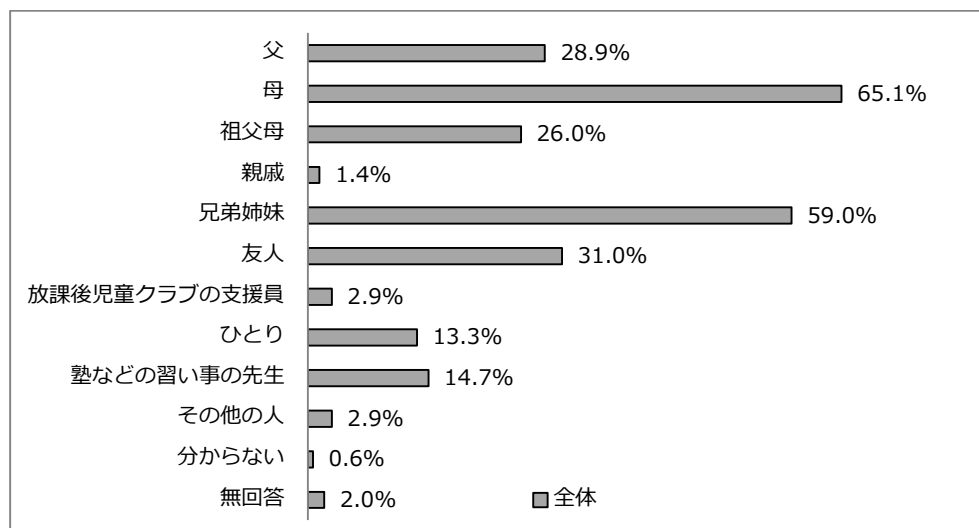
問 11 あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主にどこで過ごしていますか。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「自分の家」が85.6%で最も高く、「習い事の教室等」が15.6%、「公園、広場」が14.6%、「体育館やグラウンド」が13.1%、「友人の家」が13.0%、「塾」が9.1%の順に高くなっている。



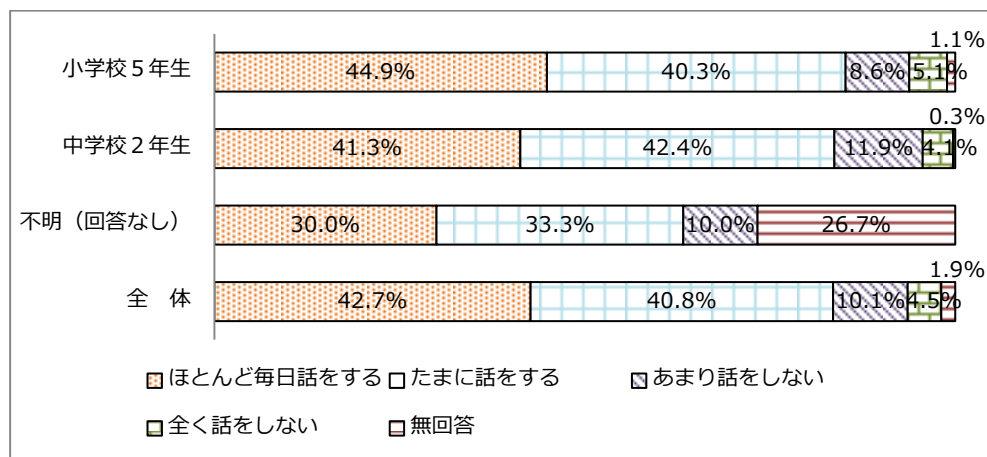
問 12 あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主に誰と過ごしていますか。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「母」が65.1%で最も高く、「兄弟姉妹」が59.0%、「友人」が31.0%、「父」が28.9%、「祖父母」が26.0%、「塾などの習い事の先生」が14.7%、「ひとり」が13.3%の順に高くなっている。



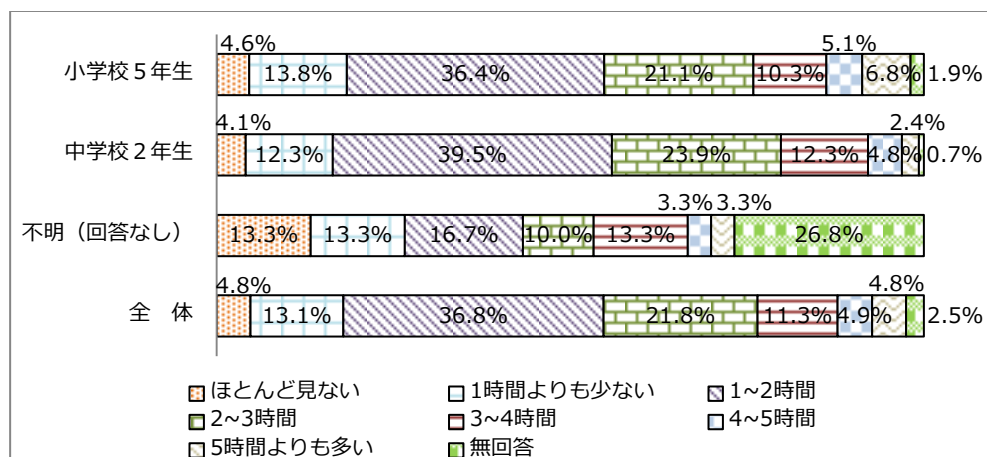
問 13 あなたは、保護者の方と学校のできごとについて話をしますか。(保護者)には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「ほとんど毎日話をする」が42.7%で最も高く、「たまに話をする」が40.8%、「あまり話をしない」が10.1%、「全く話をしない」が4.5%の順に高くなっている。



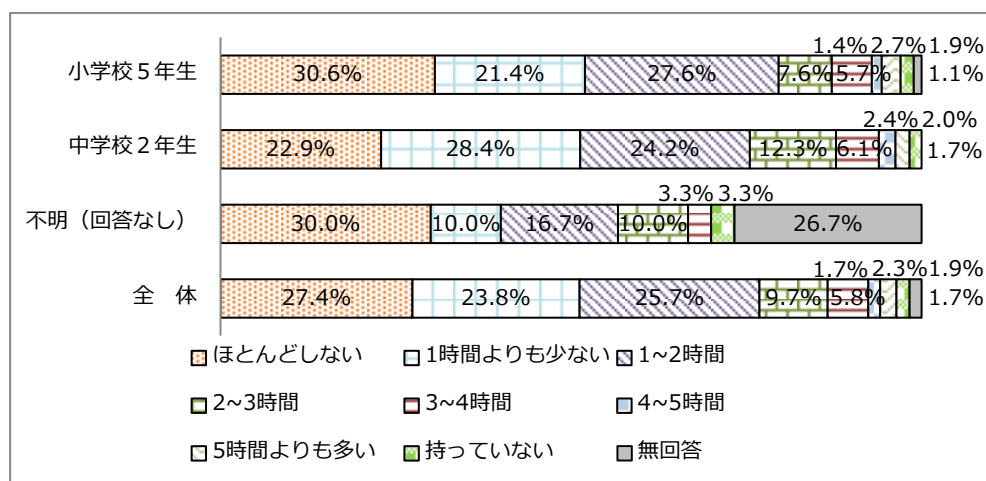
問 14 あなたは、平日 (月～金曜日) は、何時間くらいテレビを見ますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「1～2時間」が36.8%で最も高く、「2～3時間」が21.8%、「1時間よりも少ない」が13.1%、「3～4時間」が11.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の2割程度が「1時間未満」、6割程度が「1～3時間」、2割程度が「3時間以上」であった。



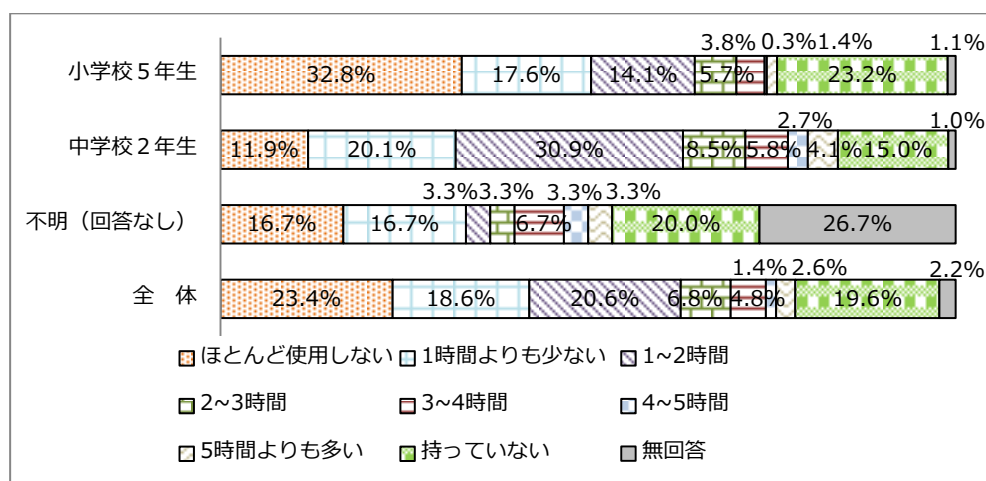
問 15 あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらいゲームをしますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「ほとんどしない」が27.4%で最も高く、「1～2時間」が25.7%、「1時間よりも少ない」が23.8%、「2～3時間」が9.7%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の5割程度が「1時間未満」、4割弱が「1～3時間」、1割程度が「3時間以上」であった。なお、ゲームをする時間は、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで、「ほとんどしない」の回答に差異が見られた。



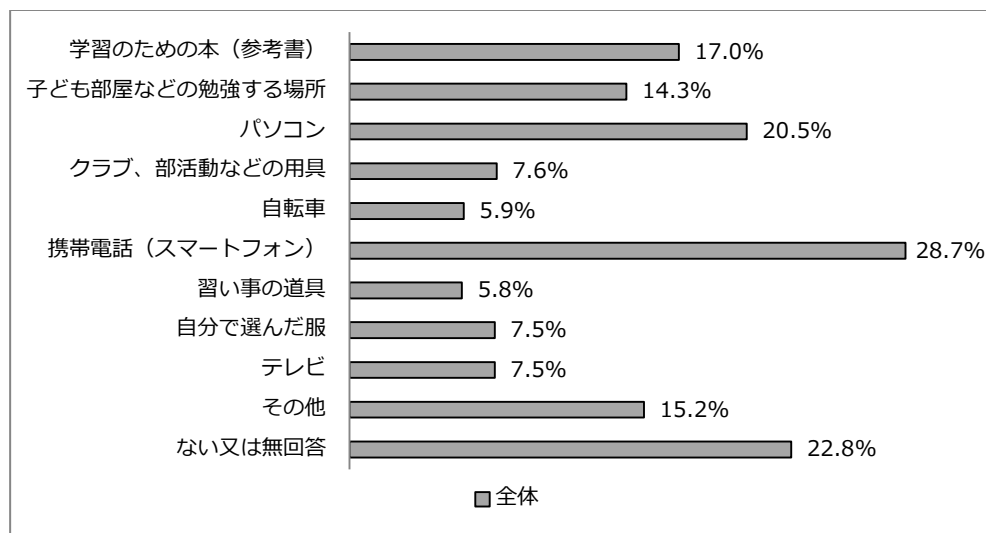
問 16 あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらい携帯電話（スマートフォン）を使いますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「ほとんど使用しない」が23.4%で最も高く、「1～2間」が20.6%、「持っていない」が19.6%、「1時間よりも少ない」が18.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の4割程度が「1時間未満」、3割弱が「1～3時間」、1割程度が「3時間以上」であった。また、2割程度が「持っていない」であった。なお、携帯電話を使用する時間は、小学校5年生で短く、中学校2年生で長い傾向があり、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に大きな差異が見られた。



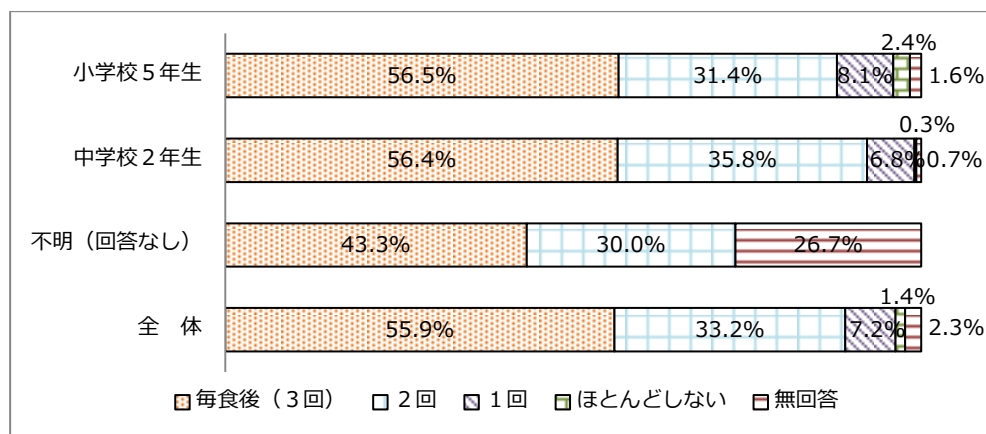
問 17 あなたが自分にとって必要と想着いても、持っていないものはありますか。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「携帯電話(スマートフォン)」が28.7%で最も高く、「パソコン」が20.5%、「学習のための本(参考書)」が17.0%、「その他」が15.2%、「子ども部屋などの勉強する場所」が14.3%の順に高くなっている。



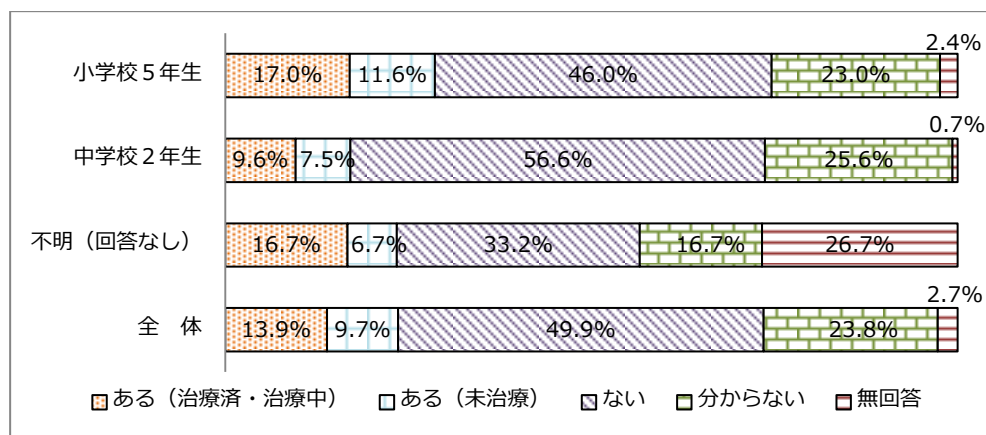
問 18 あなたは、毎日どのくらい歯磨きをしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「毎食後(3回)」が55.9%で最も高く、「2回」が33.2%、「1回」が7.2%、「ほとんどしない」が1.4%の順に高くなっている。



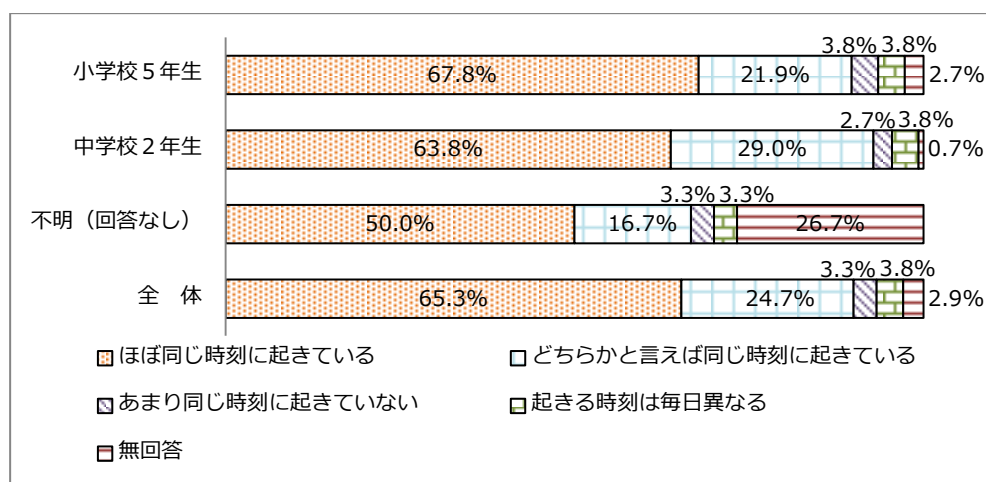
問 19 あなたには、現在むし歯がありますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「ない」が49.9%で最も高く、「分からない」が23.8%、「ある（治療済・治療中）」が13.9%、「ある（未治療）」が9.7%の順に高くなっている。
- ・ 小学校5年生でむし歯になった割合が高く、中学校2年生で低い傾向があり、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



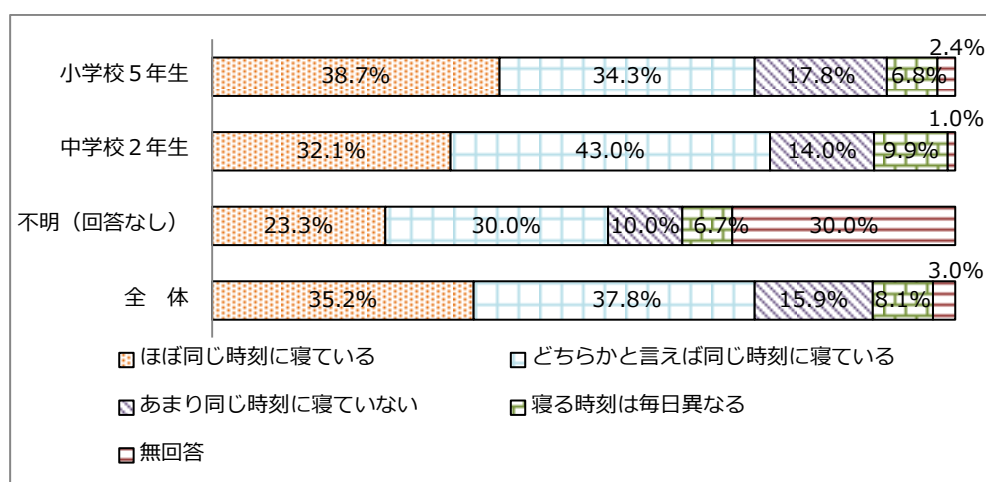
問 20 あなたは、平日（月～金曜日）は、ほぼ同じ時刻に起きていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「ほぼ同じ時刻に起きています」が65.3%で最も高く、「どちらかと言えば同じ時刻に起きています」が24.7%、「起きる時刻は毎日異なる」が3.8%、「あまり同じ時刻に起きていない」が3.3%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の9割程度が「同じ時刻に起きています」、1割弱が「同じ時刻に起きていない、起きる時刻は毎日異なる」であった。



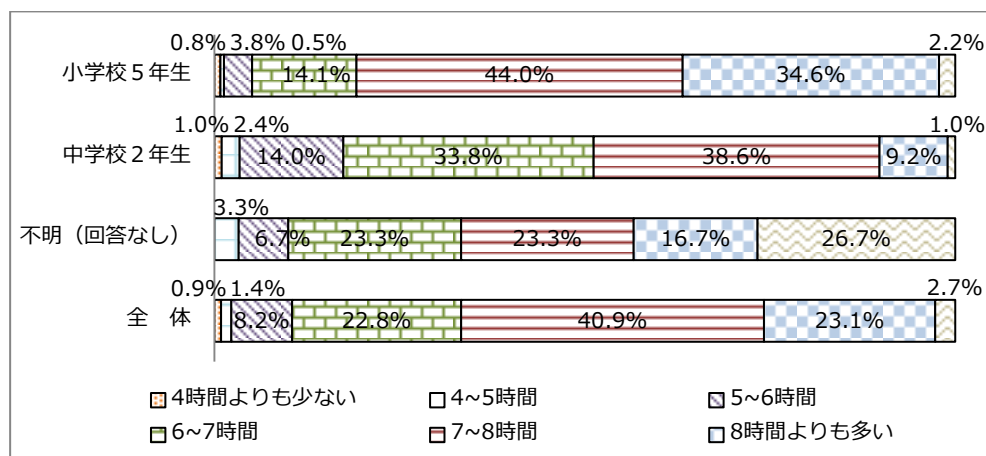
問 21 あなたは、平日（月～金曜日）は、ほぼ同じ時刻に寝ていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「どちらかと言えば同じ時刻に寝ている」が37.8%で最も高く、「ほぼ同じ時刻に寝ている」が35.2%、「あまり同じ時刻に寝ていない」が15.9%、「寝る時刻は毎日異なる」が8.1 %の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の7割強が「同じ時刻に寝ている」であった。



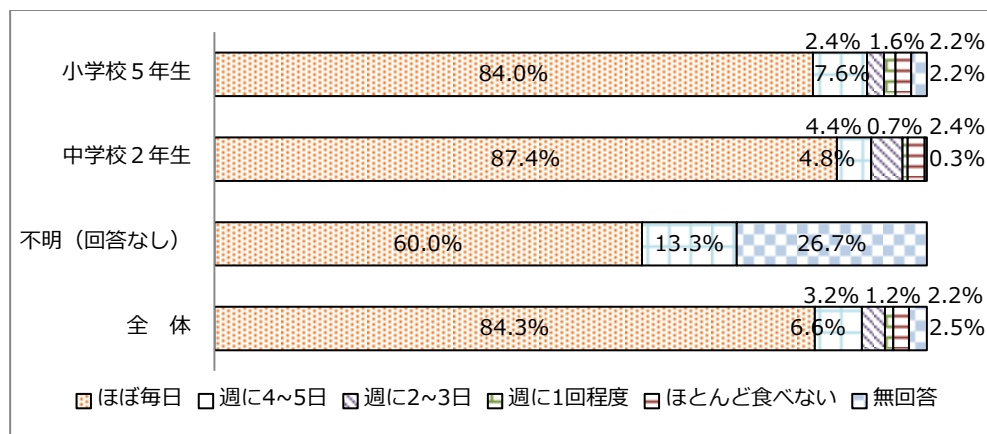
問 22 あなたは、平日（月～金曜日）は、平均して何時間くらい寝ていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「7～8時間」が40.9%で最も高く、「8時間よりも多い」が23.1%、「6～7時間」が22.8%、「5～6時間」が8.2%、「4～5時間」が1.4%、「4時間よりも少ない」が0.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の1割程度が「6時間未満」、6割強が「6～8時間」、2割強が「8時間以上」であった。
- ・ 小学校5年生で「7時間以上寝ている」が8割程度となっているのに対し、中学校2年生で「7時間未満」が5割程度となっており、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



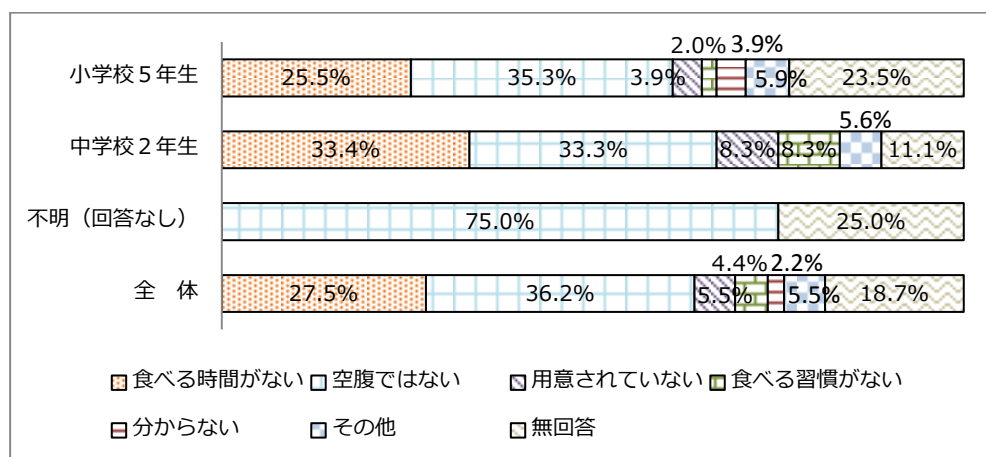
問 23-1 あなたは、週にどのくらい朝食を食べますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「ほぼ毎日」が84.3%で最も高く、「週に4～5日」が6.6%、「週に2～3日」が3.2%、「ほとんど食べない」が2.2%、「週に1回程度」が1.2%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の8割強が「ほぼ毎日」、1割強が「ほぼ毎日ではない」であった。



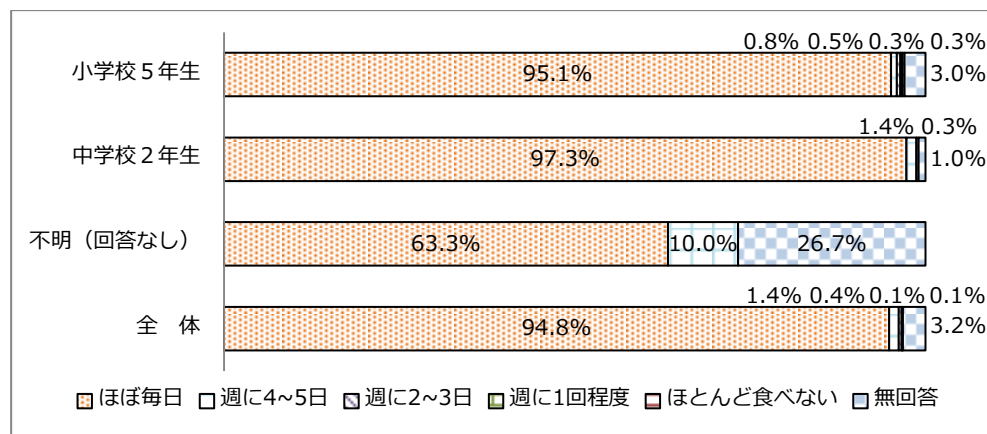
問 23-2 問 2 3 - 1 で「1. ほぼ毎日」と回答した方以外にお尋ねします。それ以外の方は、問 2 4 - 1 にお進みください。あなたが朝食を食べない理由を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「空腹ではない」が36.2%で最も高く、「食べる時間がない」が27.5%、「用意されていない」が5.5%、「食べる習慣がない」が4.4%、「分からない」が2.2%の順に高くなっている。
- ・ 小学校5年生と中学校2年生の子どもとで、「食べる時間がない」の回答で差異が見られた。



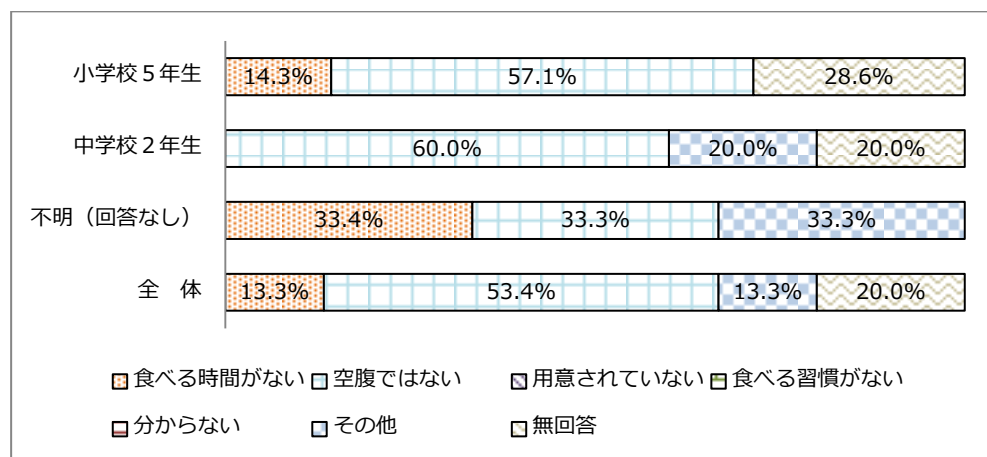
問 24-1 あなたは、週にどのくらい夕食を食べますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- 回答者全体では、「ほぼ毎日」が94.8%で最も高く、「週に4～5日」が1.4%、「週に2～3日」が0.4%、「週に1回程度」、「ほとんど食べない」が0.1%の順に高くなっている。



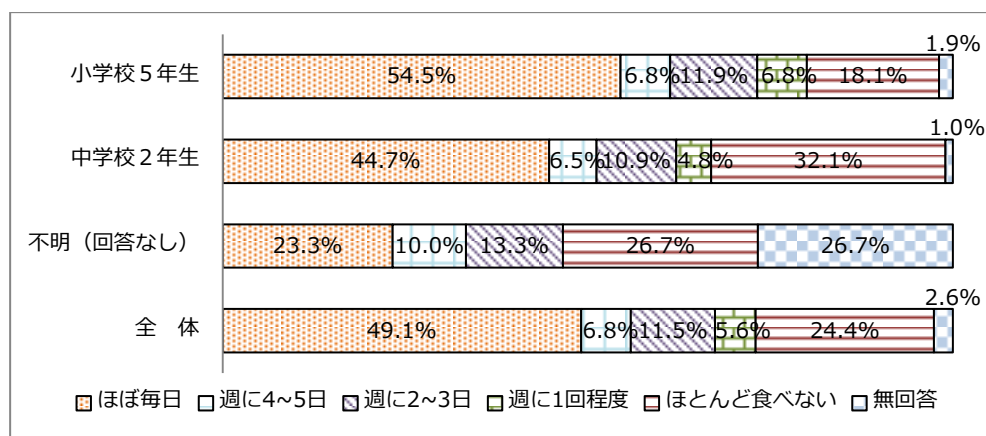
問 24-2 問 2 4 - 1 で「1. ほぼ毎日」と回答した方以外にお尋ねします。それ以外の方は、問 2 5 にお進みください。あなたが夕食を食べない理由を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- 回答者全体では、「空腹ではない」が53.4%で最も高く、「食べる時間がない」、「その他」が13.3%の順に高くなっている。
- 小学校5年生の子どもは、「食べる時間がない」が14.3%になっているのに対し、中学校2年生の子どもは、「その他」が20.0%になっており、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



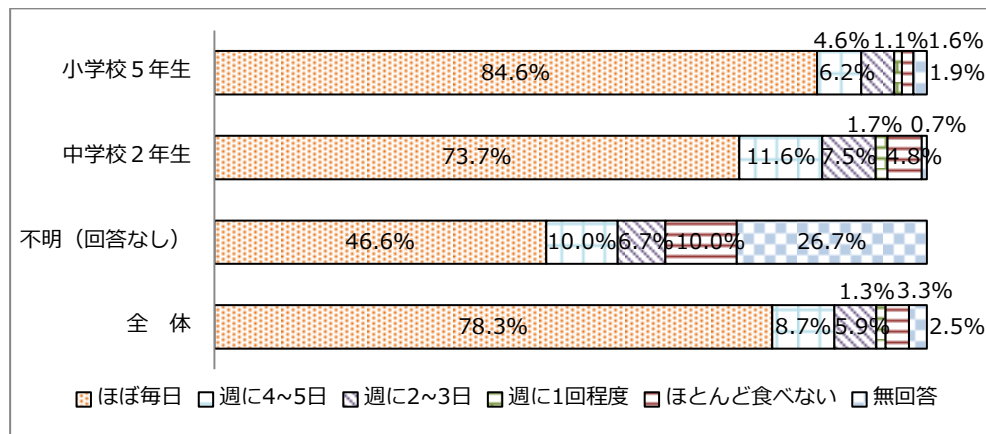
問 25 あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に朝食を食べますか。(保護者には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号 1 つに ○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「ほぼ毎日」が49.1%で最も高く、「ほとんど食べない」が24.4%、「週に2～3日」が11.5%、「週に4～5日」が6.8%、「週に1回程度」が5.6%の順に高くなっている。
- ・ なお、保護者と一緒に朝食を食べる頻度は、小学校5年生で高く、中学校2年生で低くなっており、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



問 26 あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に夕食を食べますか。(保護者には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号 1 つに ○をつけてください)

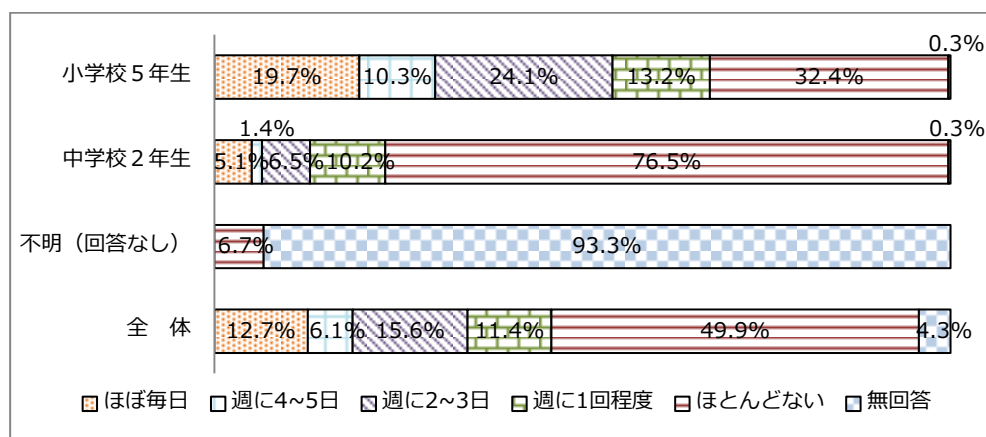
- ・ 回答者全体では、「ほぼ毎日」が78.3%で最も高く、「週に4～5日」が8.7%、「週に2～3日」が5.9%、「ほとんど食べない」が3.3%、「週に1回程度」が1.3%の順に高くなっている。
- ・ なお、保護者と一緒に夕食を食べる頻度は、小学校5年生で高く、中学校2年生で低くなっており、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



3. 教育環境

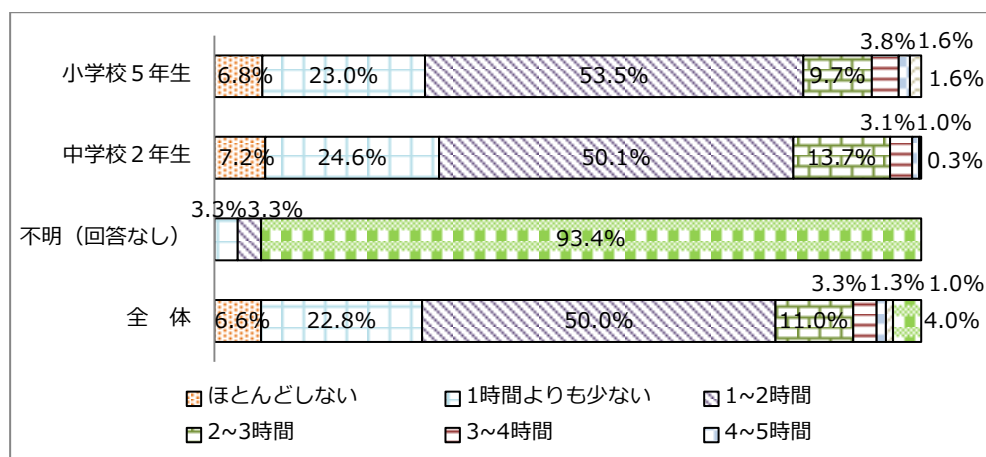
問3 あなたは、週にどのくらい保護者の方に宿題（勉強）を見てもらいますか。（保護者には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「ほとんどない」が49.9%で最も高く、「週に2～3日」が15.6%、「ほぼ毎日」が12.7%、「週に1回程度」が11.4%、「週に4～5日」が6.1%の順に高くなっている。
- ・ このことから、保護者に宿題（勉強）を見てもらう頻度は、小学校5年生で高く、中学校2年生で低くなっており、小学校5年生で「週に1回以上」が7割弱であるのに対し、中学校2年生で2割強であるなど、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



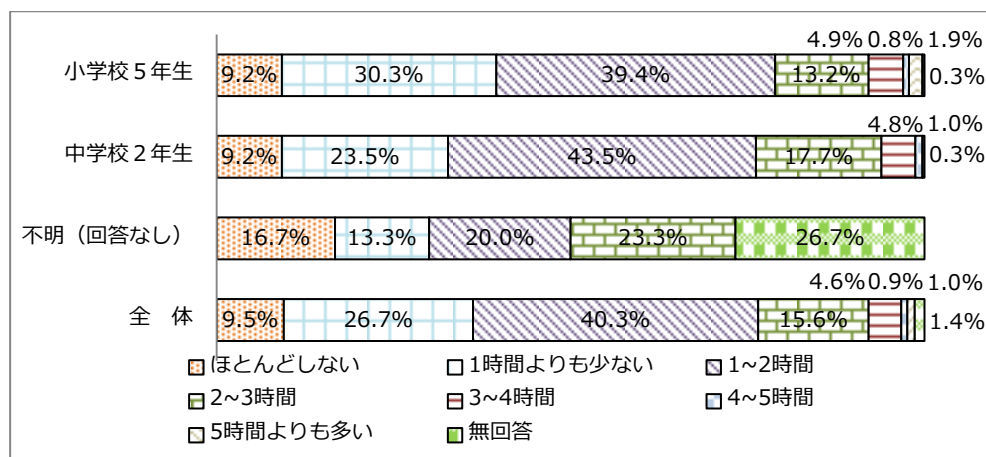
問4 あなたは、平日（月～金曜日）は、学校の授業以外にどれくらい勉強しますか。（塾での勉強時間を含めて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「1～2時間」が50.0%で最も高く、「1時間よりも少ない」が22.8%、「2～3時間」が11.0%、「ほとんどしない」が6.6%の順に高くなっている。



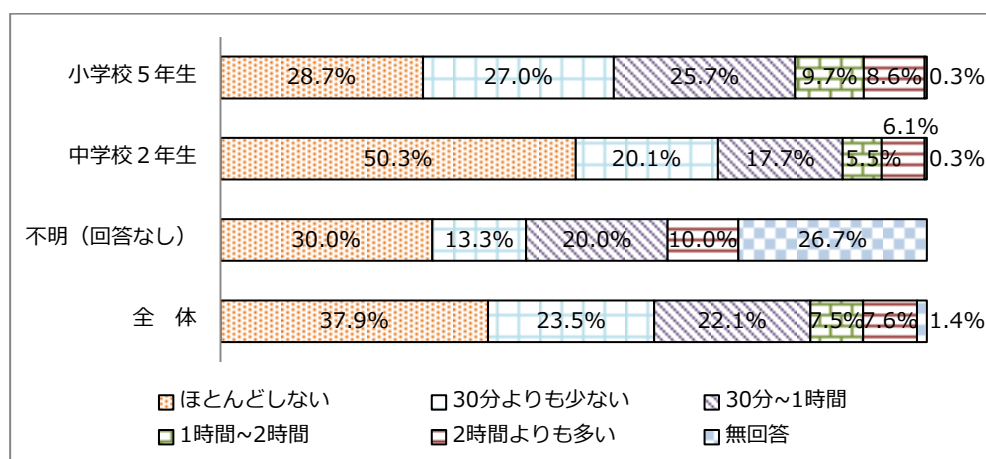
問 5 あなたは、休日（土日、祝日）は、どれくらい勉強しますか。（塾での勉強時間を含めて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「1～2時間」が40.3%で最も高く、「1時間よりも少ない」が26.7%、「2～3時間」が15.6%、「ほとんどしない」が9.5%の順に高くなっている。
- ・ 休日における学校の授業以外での勉強時間は、小学校5年生で短く、中学校2年生で長くなっており、小学校5年生で「2時間以上」が2割程度であるのに対し、中学校2年生で2割強であるなど、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に大きな差異は見られなかった。



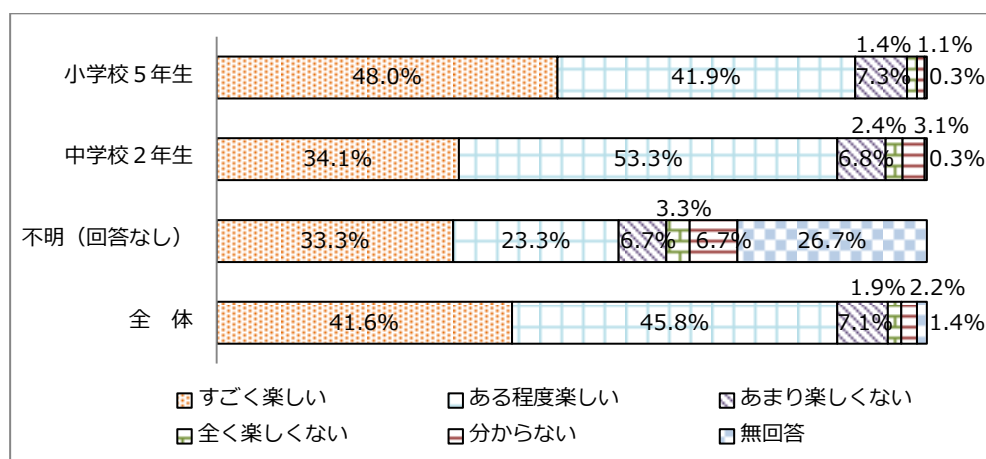
問 6 あなたは、週にどのくらい読書を行いますか。（マンガや雑誌を除き、あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「ほとんどしない」が37.9%で最も高く、「30分よりも少ない」が23.5%、「30分～1時間」が22.1%、「2時間よりも多い」が7.6%、「1時間～2時間」が7.5%の順に高くなっている。
- ・ 小学校5年生で7割程度が週に読書をしている時間があるが、中学校2年生で「ほとんどしない」割合が高いなど、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



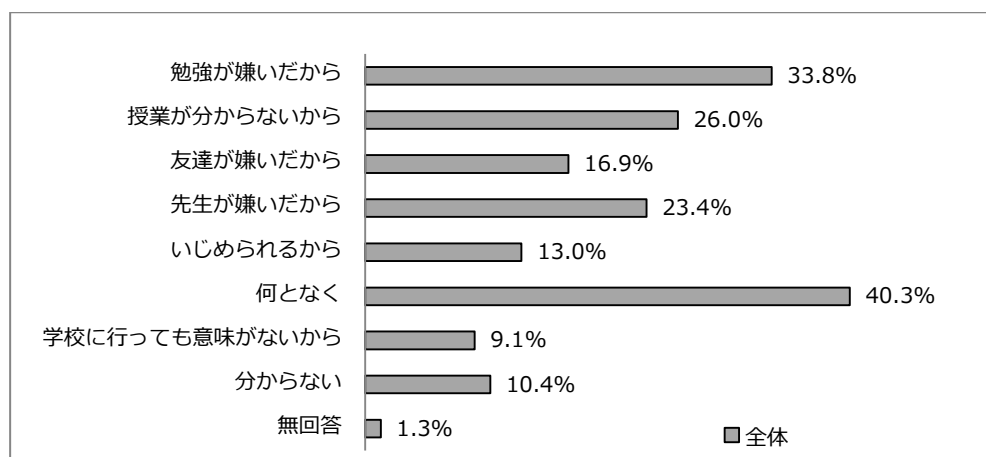
問 7-1 あなたは、学校は楽しいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「ある程度楽しい」が45.8%で最も高く、「すごく楽しい」が41.6%、「あまり楽しくない」が7.1%、「分からない」が2.2%、「全く楽しくない」が1.9%の順に高くなっている。
- ・ なお、回答割合が高い上位2項目について、小学校5年生の子どもは、「すごく楽しい」が48.0%で最も高く、次いで「ある程度楽しい」が41.9%の順に高くなっているのに対し、中学校2年生の子どもは、「ある程度楽しい」が53.3%で最も高く、次いで「すごく楽しい」が34.1%の順に高く、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



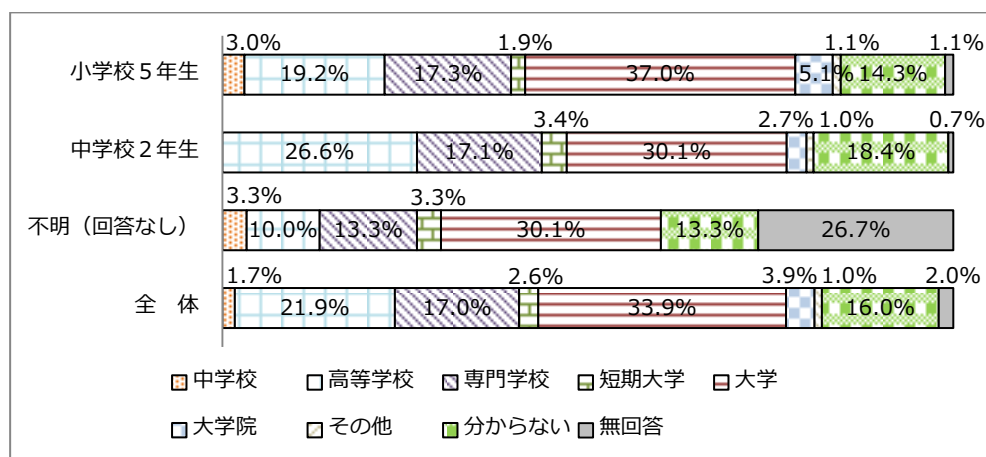
問 7-2 問 7-1 で「3. あまり楽しくない」、「4. 全く楽しくない」、「5. 分からない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、問 8 にお進みください。あなたがそう思う理由を教えてください。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「何となく」が40.3%で最も高く、「勉強が嫌いだから」が33.8%、「授業が分からないから」が26.0%、「先生が嫌いだから」が23.4%、「友達が嫌いだから」が16.9%の順に高くなっている。



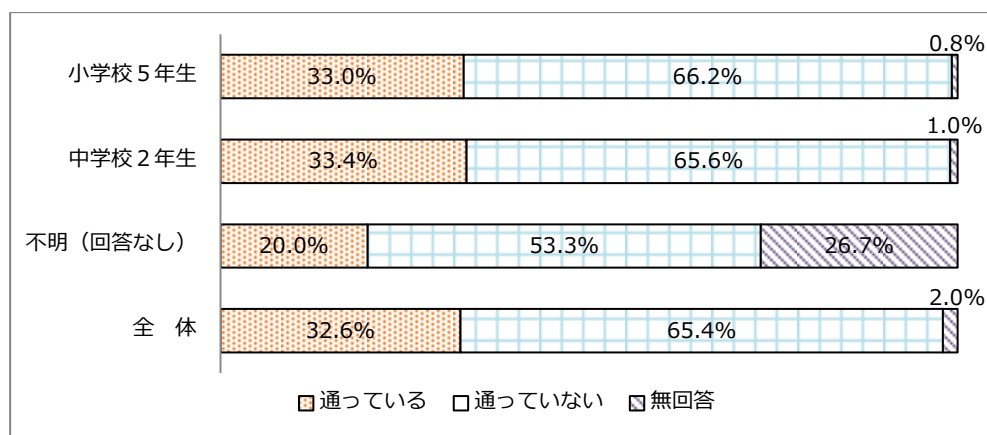
問 8 あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「大学」が33.9%で最も高く、「高等学校」が21.9%、「専門学校」が17.0%、「分からない」が16.0%、「大学院」が3.9%、「短期大学」が2.6%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の2割強が「中学校～高等学校」、2割程度が「専門学校～短期大学」、4割程度が「大学～大学院」であった。



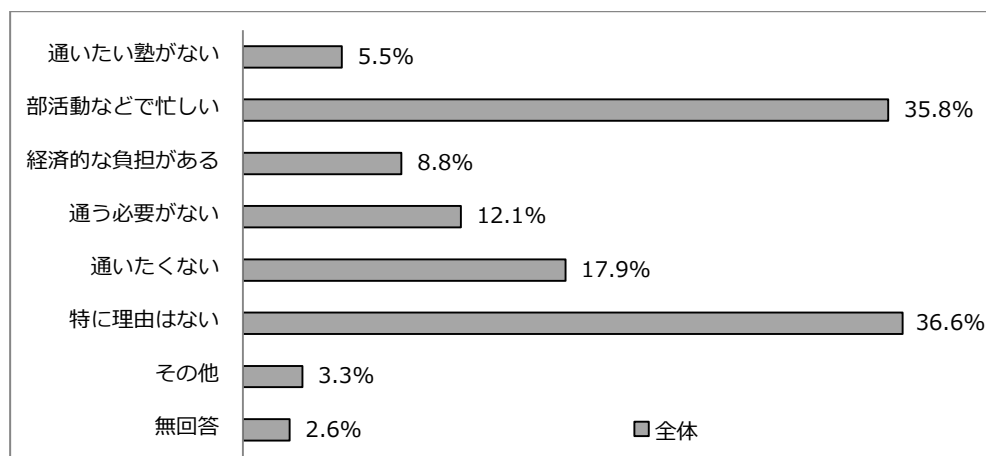
問 9-1 あなたは、塾（家庭教師や通信制の家庭学習教材を含みます。）に通っていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 回答者全体では、「通っていない」が65.4%で最も高く、「通っている」が32.6%の順に高くなっている。
- ・ 小学校 5 年生と中学校 2 年生の子どもとで回答傾向に差異は見られなかった。



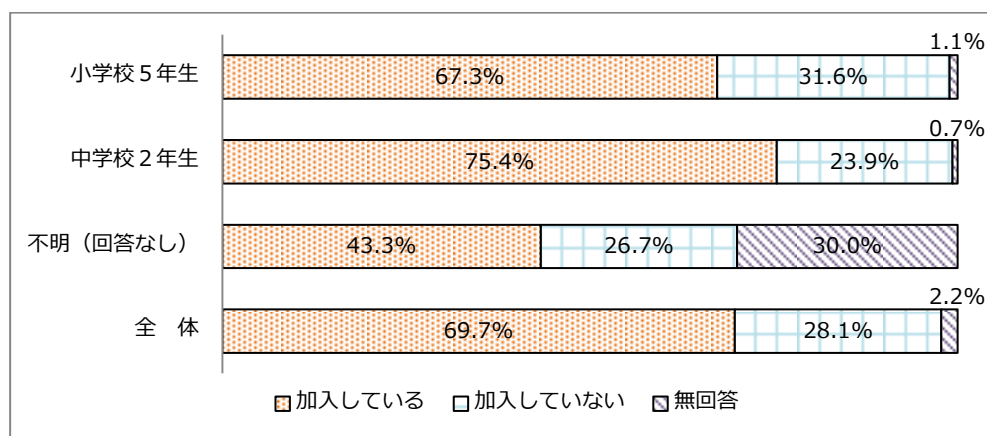
問 9-2 問 9-1 で「2. 通っていない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、問 10-1 にお進みください。塾に通っていない理由を教えてください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

- 回答者全体では、「特に理由はない」が36.6%で最も高く、「部活動などで忙しい」が35.8%、「通いたくない」が17.9%、「通う必要がない」が12.1%、「経済的な負担がある」が8.8%、「通いたい塾がない」が5.5%、「その他」が3.3%の順に高くなっている。



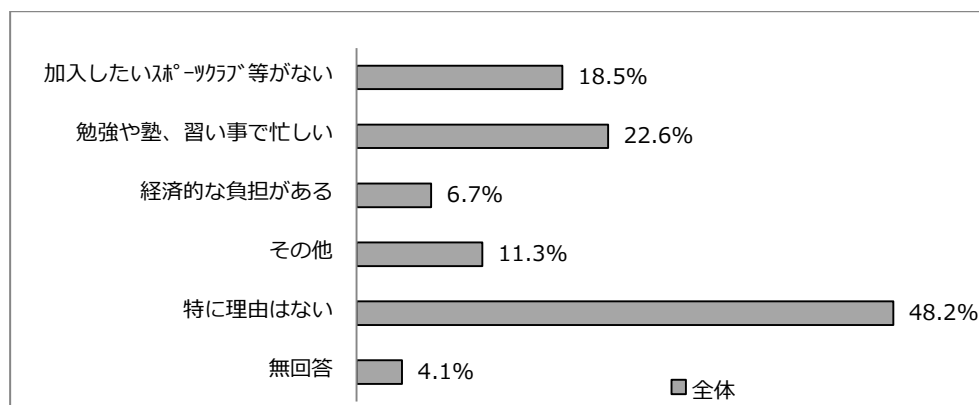
問 10-1 あなたは、スポーツクラブや部活動に加入していますか。（あてはまる番号）
1 つに○をつけてください

- 回答者全体では、「加入している」が69.7%で最も高く、「加入していない」が28.1%の順に高くなっている。
- また、小学校5年生に比べ中学校2年生の方が、スポーツクラブ等に加入している割合が高かった。



問 10-2 問 1 0 - 1 で「2. 加入していない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、問 1 1 にお進みください。加入していない理由を教えてください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

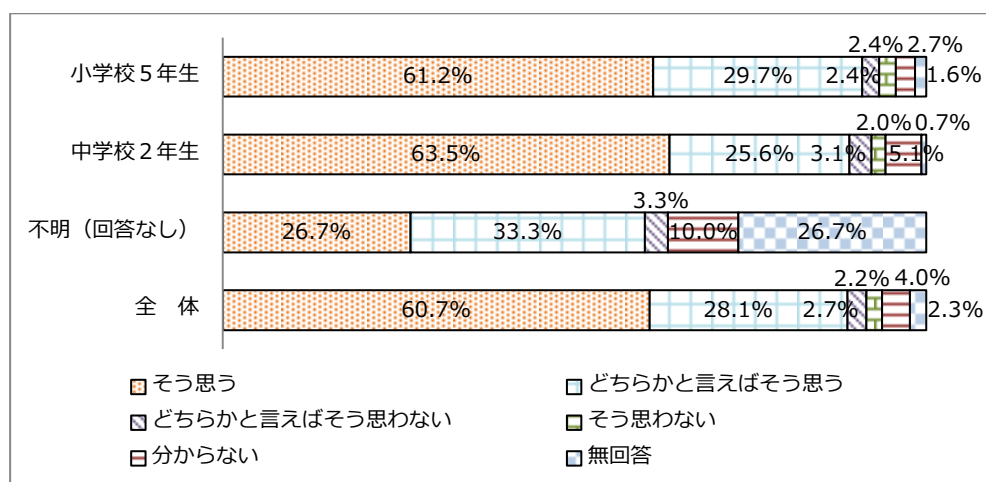
- ・ 回答者全体では、「特に理由はない」が48.2%で最も高く、「勉強や塾、習い事で忙しい」が22.6%、「加入したいスポーツクラブ等がない」が18.5%、「その他」が11.3%、「経済的な負担がある」が6.7%の順に高くなっている。



4. 社会環境

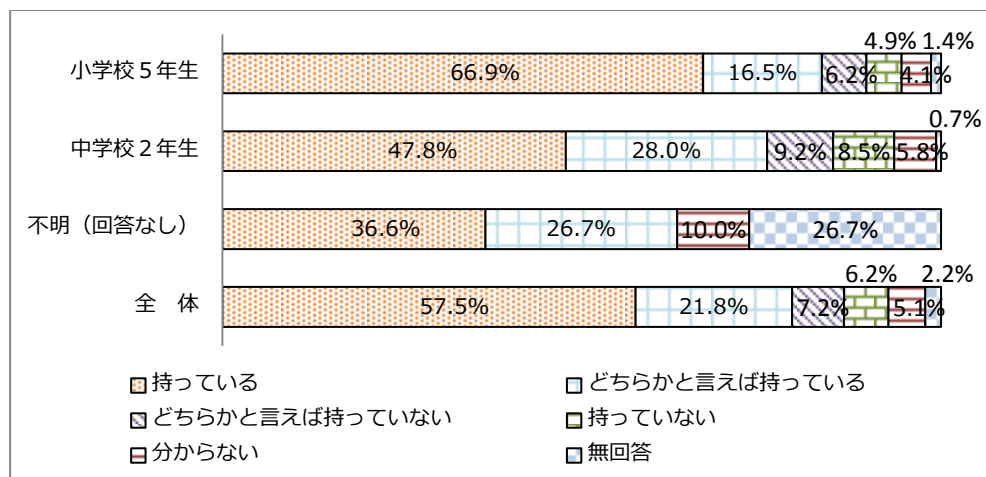
問 27 あなたは、将来のためにも、今、勉強やスポーツ・特技を頑張りたいと思いますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- 回答者全体では、「そう思う」が60.7%で最も高く、「どちらかと言えばそう思う」が28.1%、「分からない」が4.0%、「どちらかと言えばそう思わない」が2.7%、「そう思わない」が2.2%の順に高くなっている。



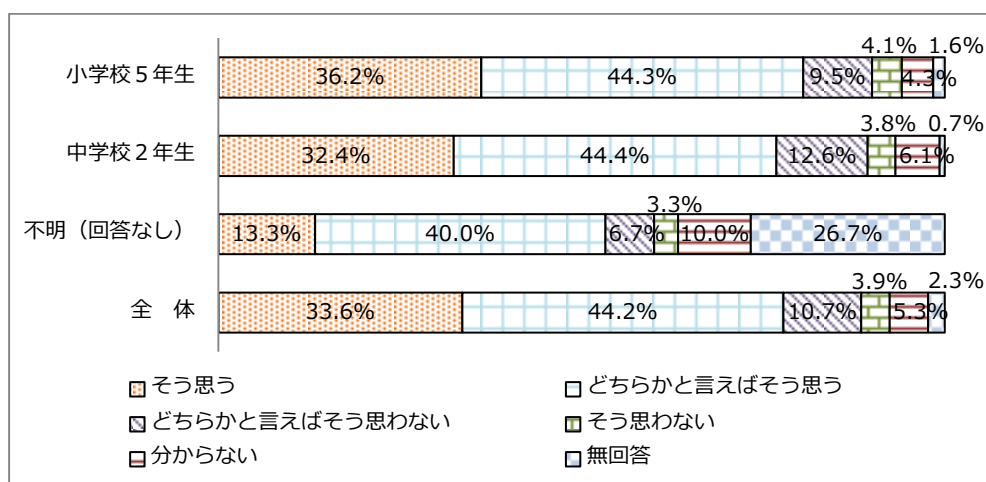
問 28 あなたは、将来の夢・希望や目標を持っていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- 回答者全体では、「持っている」が57.5%で最も高く、「どちらかと言えば持っている」が21.8%、「どちらかと言えば持っていない」が7.2%、「持っていない」が6.2%、「分からない」が5.1%の順に高くなっている。
- 小学校5年生に比べ中学校2年生の方が、夢・希望や目標を持っている割合が低く、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



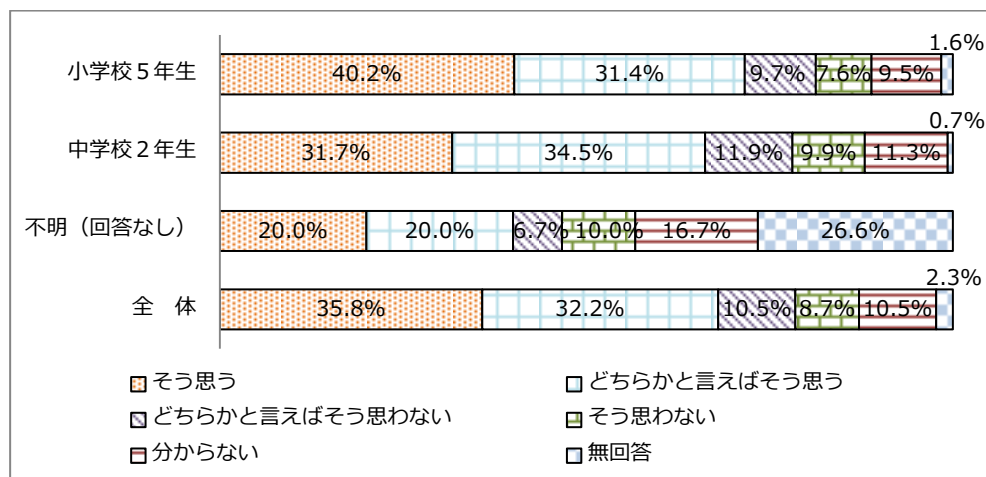
問 29 あなたは、難しいことでも失敗を恐れず何かに挑戦したいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「どちらかと言えばそう思う」が44.2%で最も高く、「そう思う」が33.6%、「どちらかと言えばそう思わない」が10.7%、「分からない」が5.3%、「そう思わない」が3.9%の順に高くなっている。



問 30 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

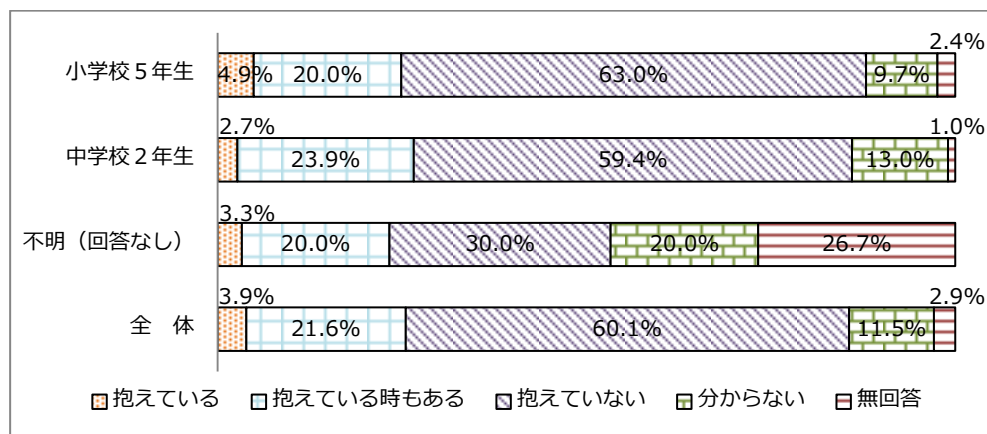
- ・ 回答者全体では、「そう思う」が35.8%、「どちらかと言えばそう思う」が32.2%で最も高く、「どちらかと言えばそう思わない」、「分からない」が10.5%、「そう思わない」が8.7%の順に高くなっている。
- ・ また、小学校5年生に比べ中学校2年生の方が、自分には良いところがあると思う割合が低く、小学校5年生と中学校2年生の子どもとで回答傾向に差異が見られた。



問 31 あなたは、自分だけでは解決することが難しい大きな悩みなどを抱えていますか。

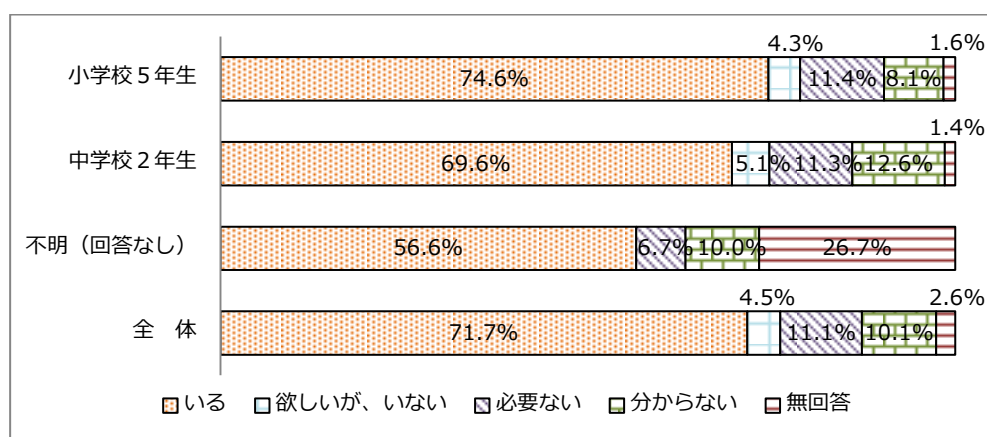
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「抱えていない」が60.1%で最も高く、「抱えている時もある」が21.6%、「分からない」が11.5%、「抱えている」が3.9%の順に高くなっている。
- ・ このことから、回答者の3割弱が「抱えている、抱えている時もある」、6割程度が「抱えていない」であった。



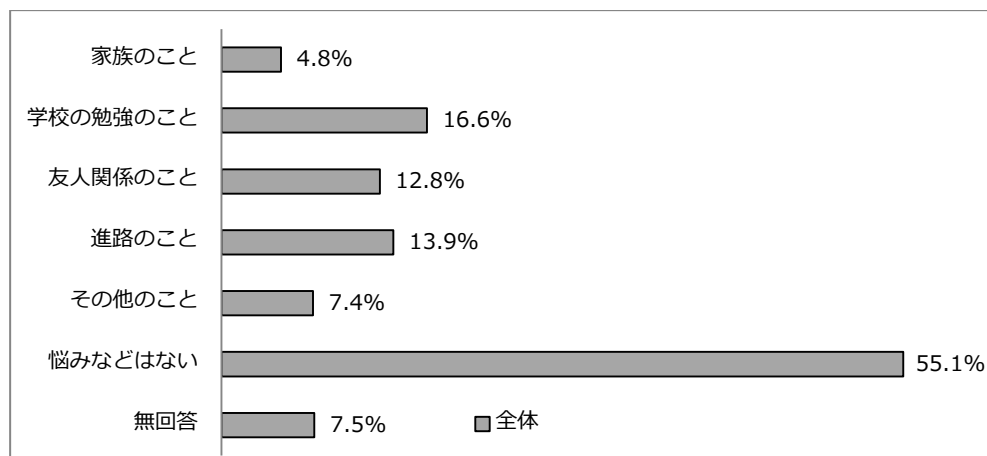
問 32 あなたは、悩み等を相談できる人はいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 回答者全体では、「いる」が71.7%で最も高く、「必要ない」が11.1%、「分からない」が10.1%、「欲しいが、いない」が4.5%の順に高くなっている。



問 33 あなたが今悩んでいる事や心配な事、困っている事や誰かに相談したいと思っていることがあれば教えてください。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

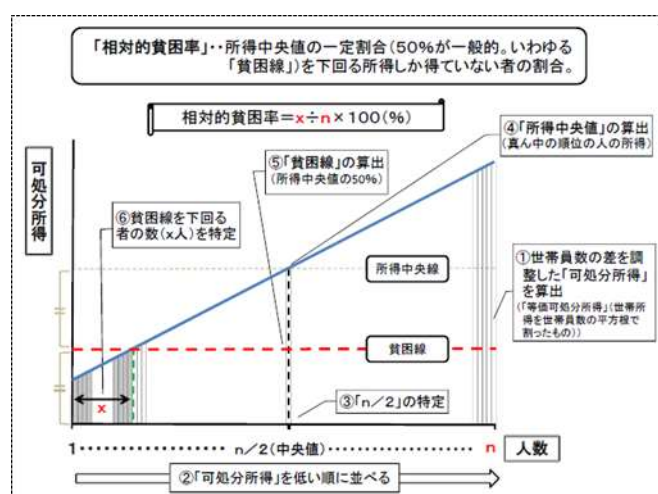
- ・ 回答者全体では、「悩みなどはない」が55.1%で最も高く、「学校の勉強」が16.6%、「進路」が13.9%、「友人関係」が12.8%、「その他」が7.4%の順に高くなっている。



IV 調査結果（クロス集計：保護者）

1. 本調査における相対的貧困率

- ・ 調査において世帯全員を合わせた所得を調査しているが、当該所得のみで世帯の困窮状態を測ることはできず、多面的に測る指標として、国民生活基礎調査における相対的貧困率の算出手法に沿って、「等価可処分所得」及びそれを基に区分した困窮度を用いている。
- ・ 国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合のことである。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいい、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づき算出されている。（具体的な算出方法は以下のとおり）



※ 厚生労働省公表資料抜粋

- ・ 上記算出手法に沿って本調査における相対的貧困率を算出した結果、貧困線を下回る者の割合は 11.8% となり、ひとり親世帯※では 31.9% であった。なお、調査対象者や調査手法等が異なるため単純に比較できるものではないが、参考として、熊本県の平成 28 年国民生活基礎調査における全国の子どもの貧困率は 13.9%、大人が一人の世帯では 50.8% となっている。

※ 本調査におけるひとり親世帯は、母子世帯（子どもの母と同居し、父と同居していないと回答した世帯）及び父子世帯（子どもの父と同居し、母と同居していないと回答した世帯）を合わせた世帯のこと

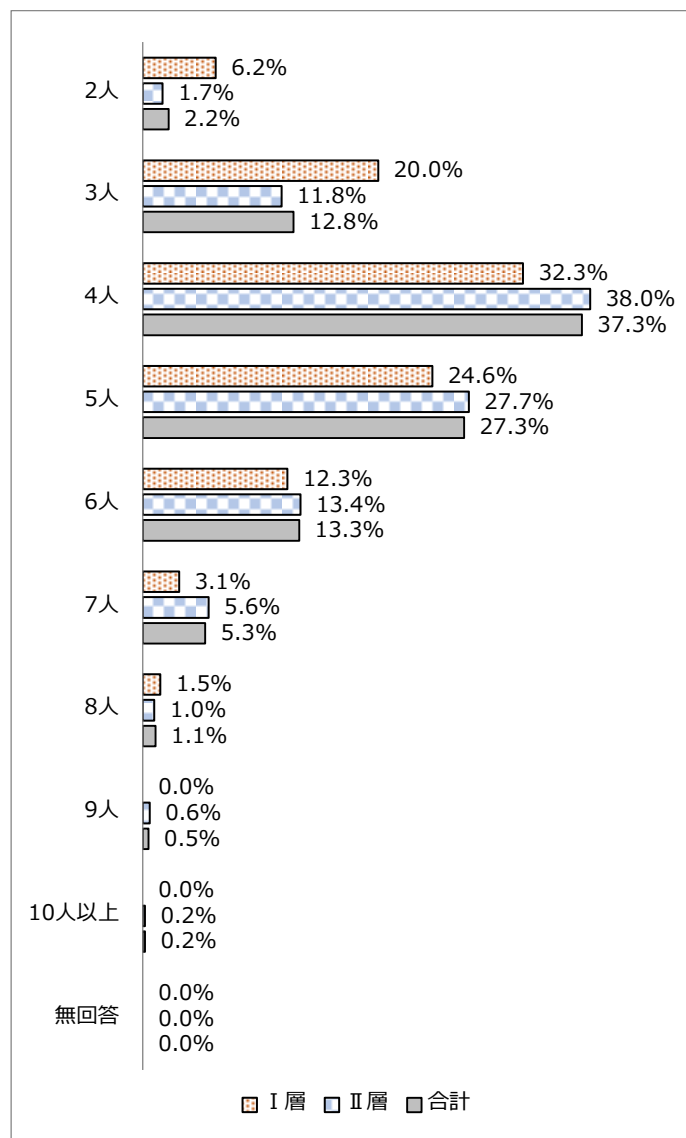
以下、本調査における経済状況とのクロス集計においては、貧困線を下回る層（11.8%）に属する回答者をⅠ層、それ以外の回答者をⅡ層と区分し、集計・分析を行っている。

2. 属性

問 2-1 世帯の人数は何人ですか。(あなたとお子さんを含めた人数について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「2人」～「3人」の割合が高く、Ⅱ層では「4人」～「5人」の割合が高くなっている。

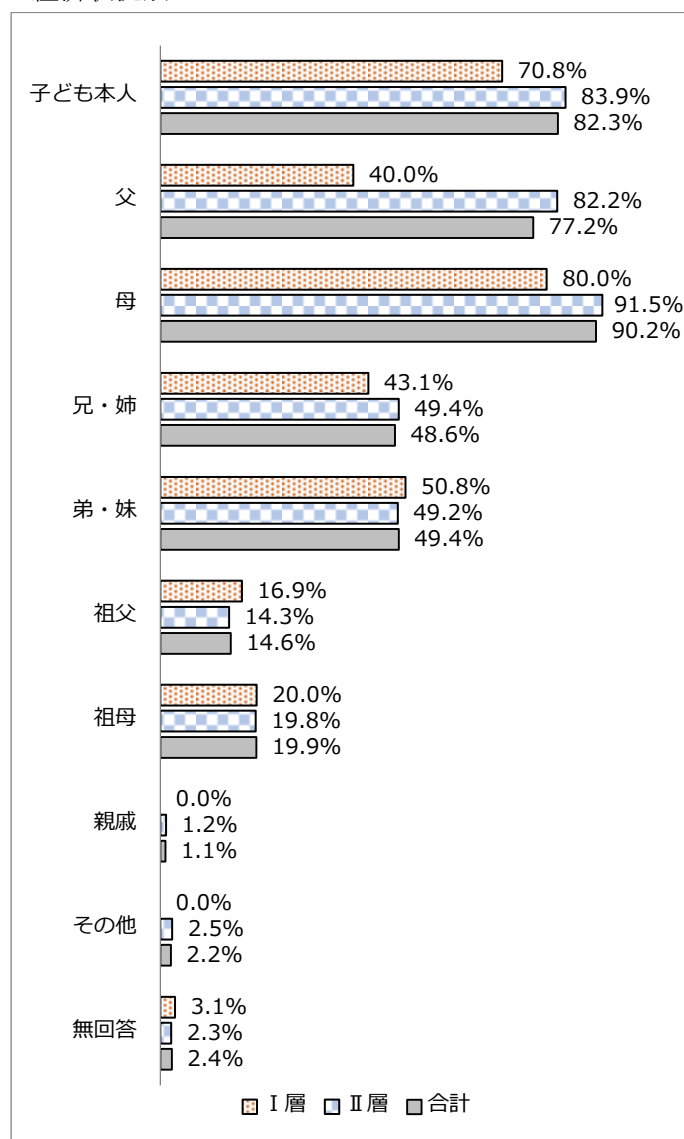
<経済状況別>



問 2-2 世帯で同居する方（単身赴任や出張などで一時的に別居している場合を含む）を選んでください。（お子さんからみた続柄で、あてはまる番号全てに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「父」又は「母」が同居していない（母子世帯又は父子世帯、特に母子世帯が多い）割合が高くなっている。

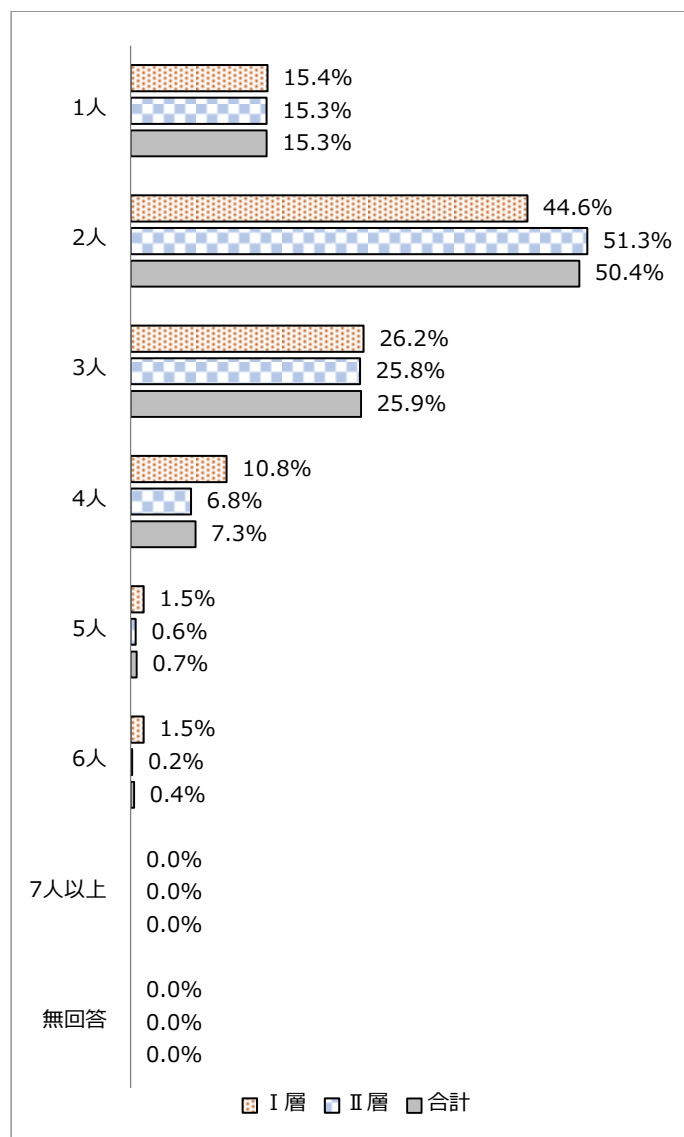
<経済状況別>



問 2-3 世帯員のうち、18歳未満の子どもの数は何人ですか。(お子さんを含めた人数について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「4人」の割合が高く、Ⅱ層では「2人」の割合が高くなっている。

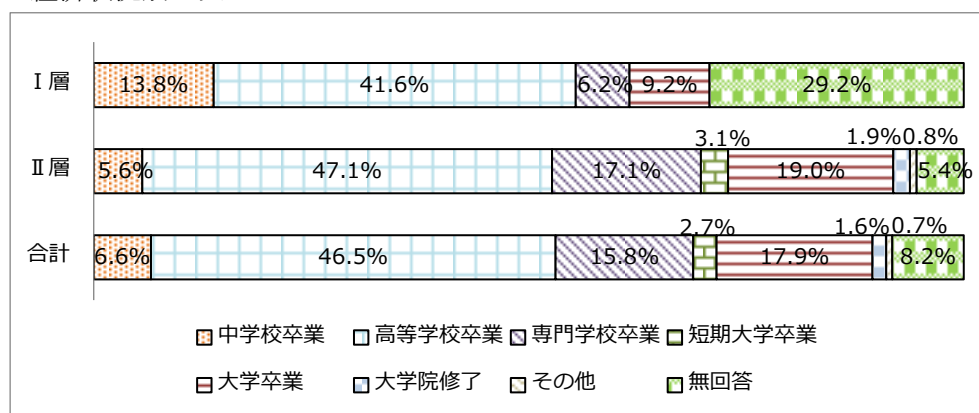
<経済状況別>



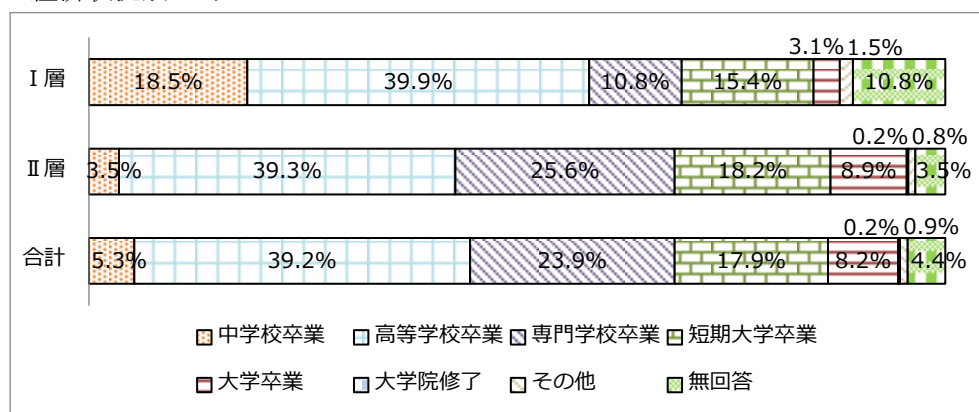
問 12 お子さんの父母の最終学歴を教えてください。(父母それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、父について、Ⅰ層では「中学校卒業」の割合が高く、Ⅱ層では「高等学校卒業」、「専門学校卒業」、「大学卒業」の割合が高くなっている。
- ・ また、母について、Ⅰ層では「中学校卒業」の割合が高く、Ⅱ層では「専門学校卒業」、「大学卒業」の割合が高くなっている。
- ・ このことから、父母の最終学歴と世帯の経済状況に関係性が見られる。

<経済状況別：父>



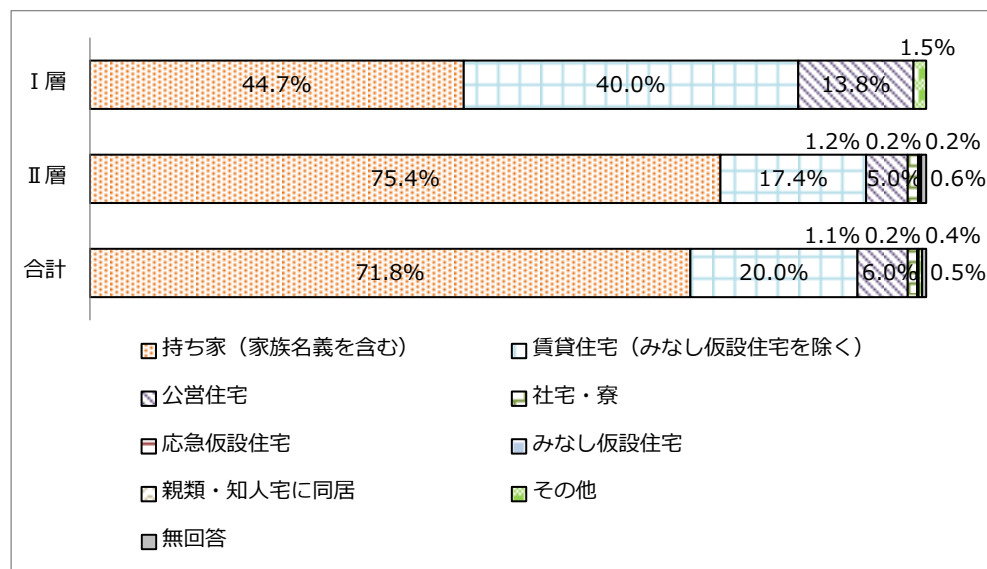
<経済状況別：母>



問 13 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「賃貸住宅（みなし仮設住宅を除く）」、「公営住宅」の割合が高く、Ⅱ層では「持ち家（家族名義を含む）」の割合が高くなっている。

<経済状況別>

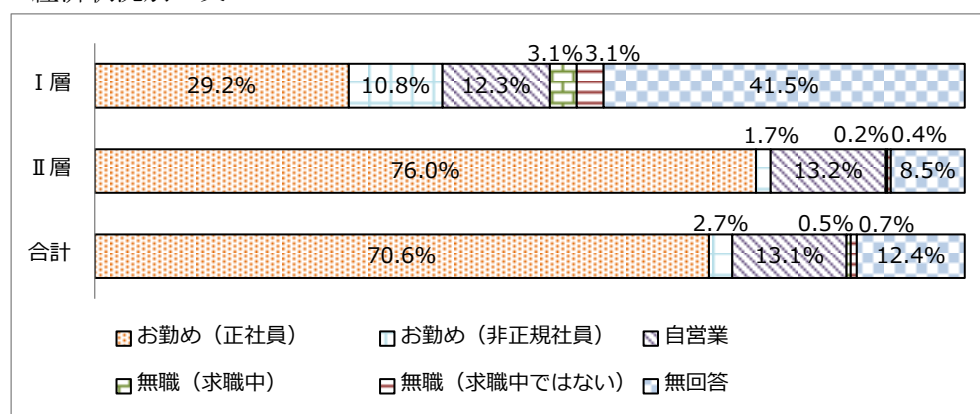


3. 経済状況

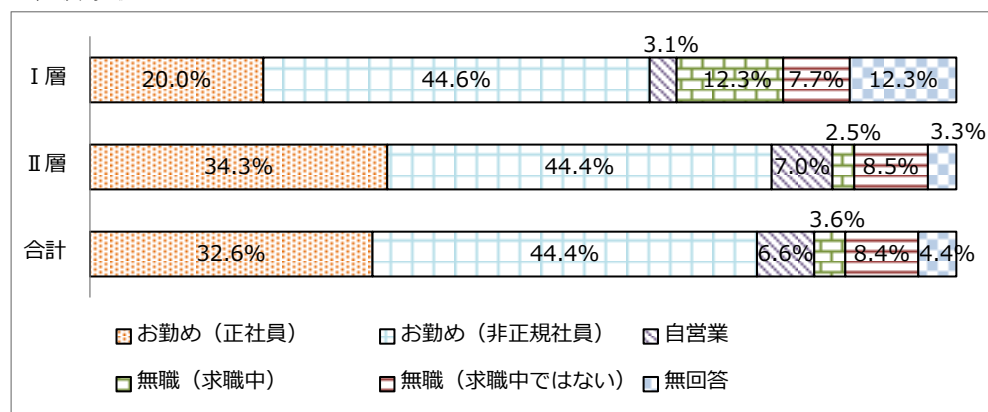
問 14 お子さんの父母の現在の就業状況を教えてください。(父母それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、父について、Ⅰ層では「お勤め（非正規社員）」の割合が高く、Ⅱ層では「お勤め（正社員）」の割合が高くなっている。
- ・ また、母について、Ⅱ層で「お勤め（正社員）」の割合が高くなっており、Ⅰ層、Ⅱ層ともに「お勤め（非正規社員）」の割合が高くなっている。

<経済状況別：父>



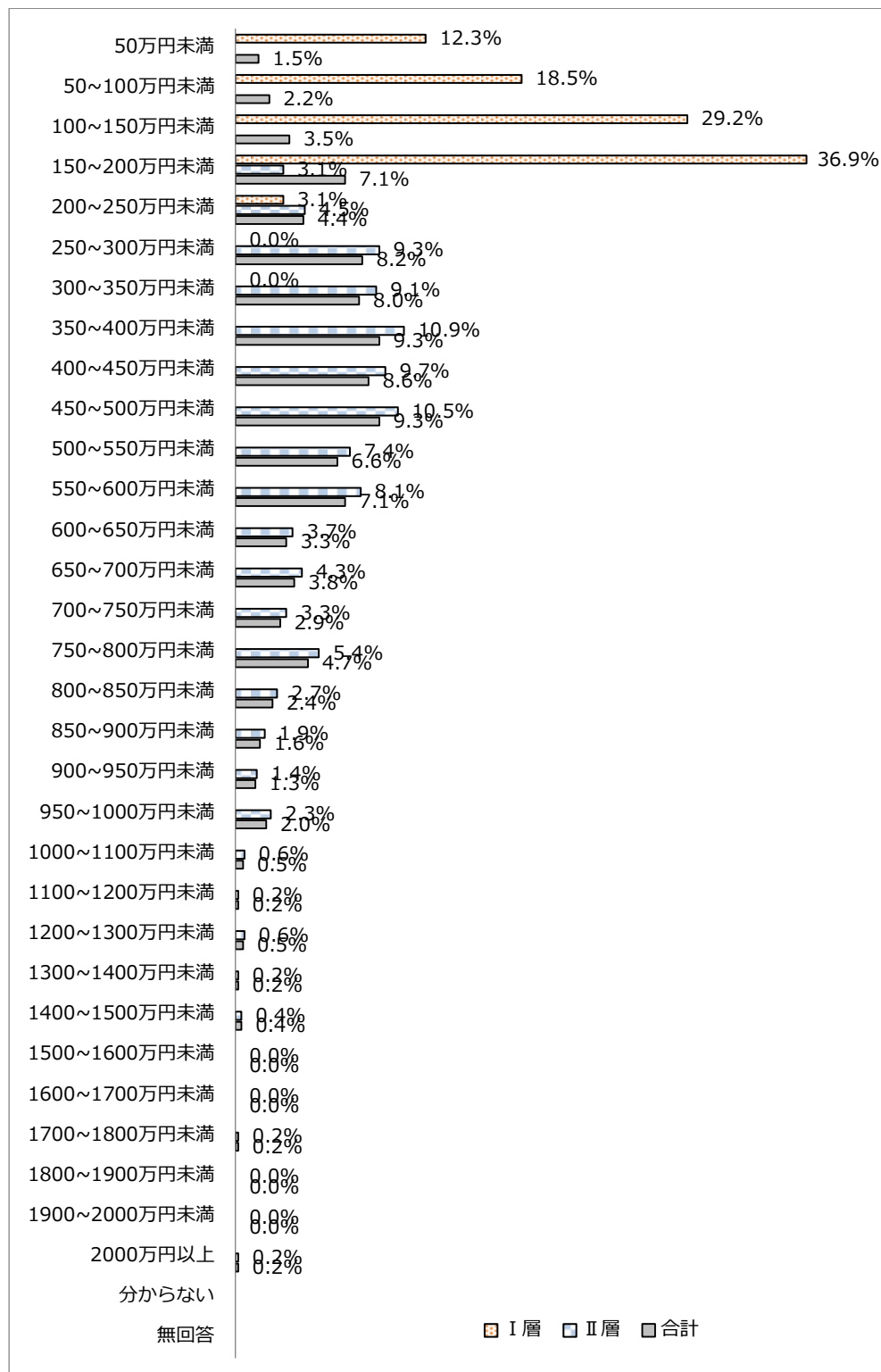
<経済状況別：母>



問 15 前年(2016年)の世帯全員を合わせた所得合計（収入から税や保険料を支払った後の額）はおよそいくらでしたか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

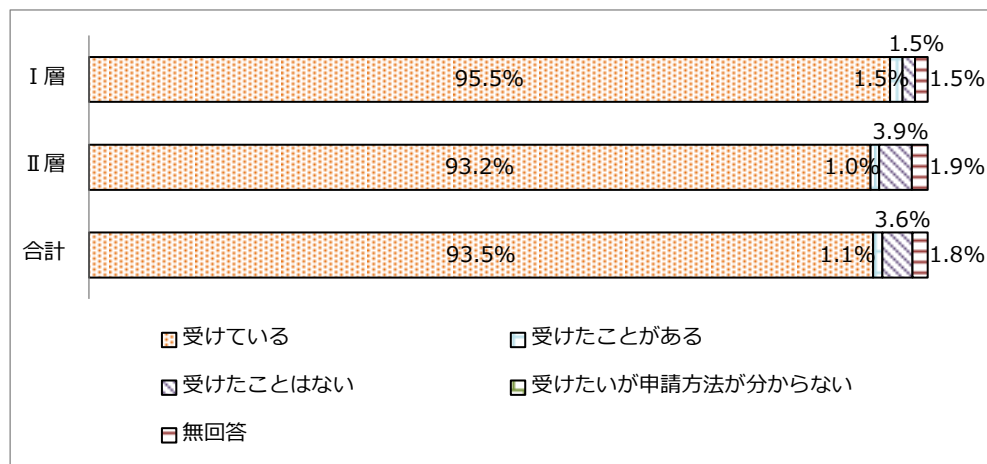
- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「150～200万円未満」以下の割合が高く、「250～300万円未満」以上の区分では該当者が存在しない。

<経済状況別>



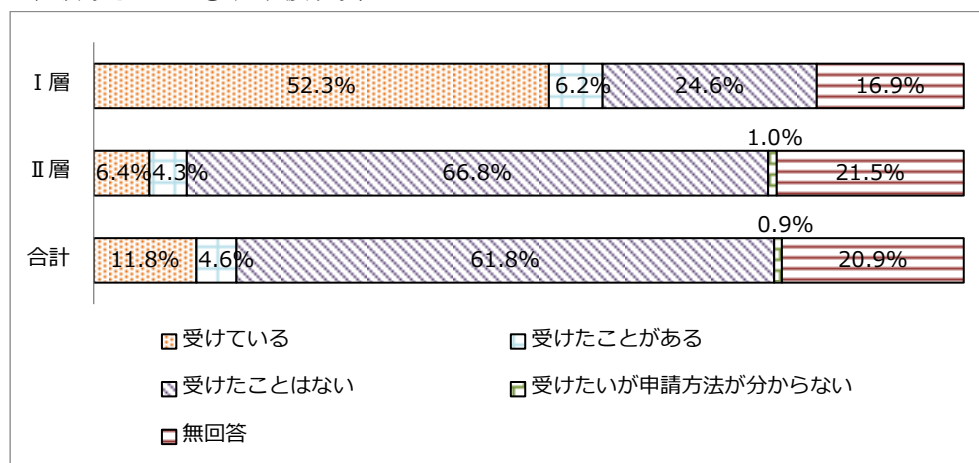
問 16 あなたの世帯では、以下の手当や援助等を受けていますか。(①～⑤の項目それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

<経済状況別：①児童手当>



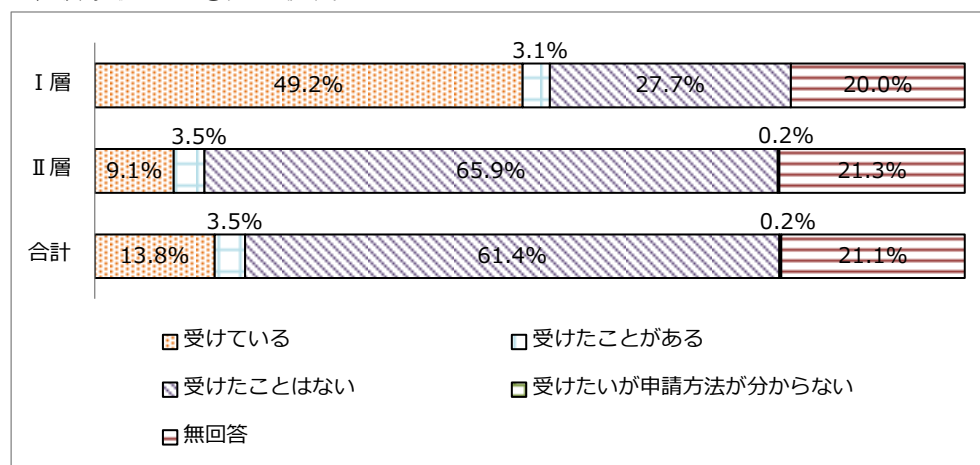
- 児童手当について、経済状況別において顕著な差は見られなかった。

<経済状況別：②就学援助費>



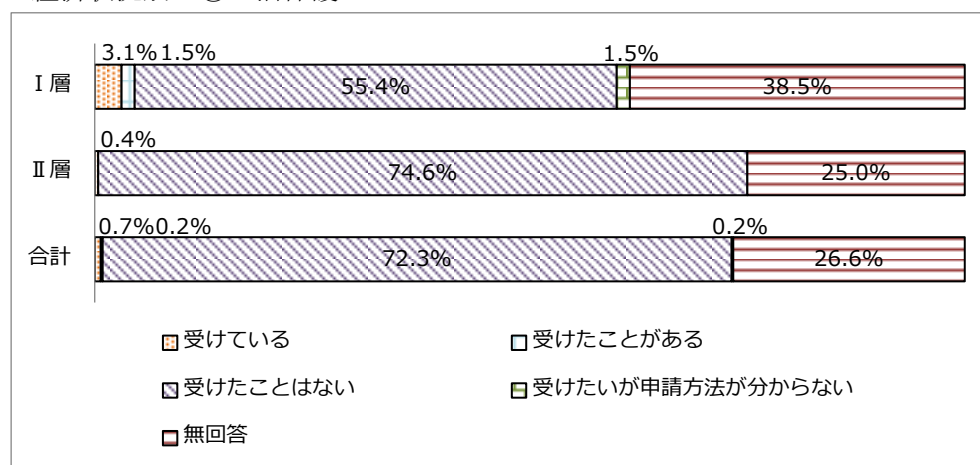
- 就学援助費について、経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「受けている」の割合が高く、回答者の5割程度が「受けている」であった。

<経済状況別：③児童扶養手当>



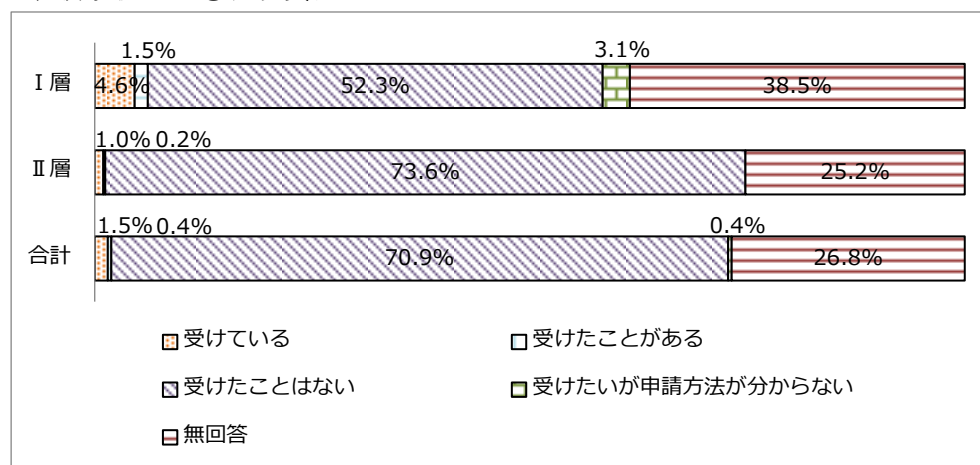
- ・ 児童扶養手当について、経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「受けている」の割合が高く、回答者の 5 割程度が「受けている」であった。

<経済状況別：④生活保護>



- ・ 生活保護について、経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「受けたことがない」の割合が低くなっており、「受けている」、「受けたことがある」が合わせて 4.6%あった。

<経済状況別：⑤行政貸付金>

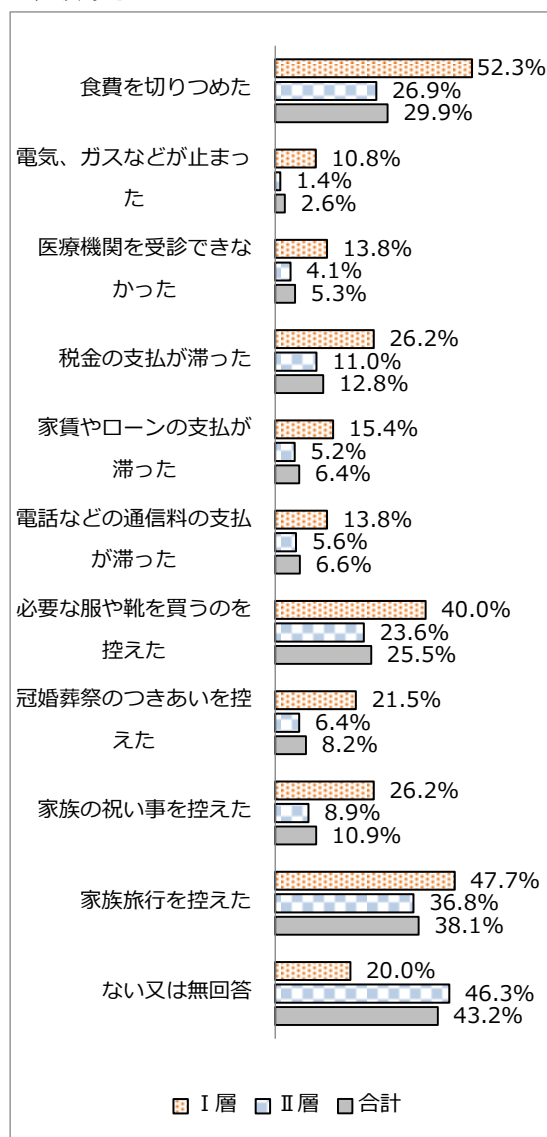


- 行政からの貸付金について、経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「受けたことがない」の割合が低くなっており、「受けている」、「受けたことがある」が 1 割弱あった。

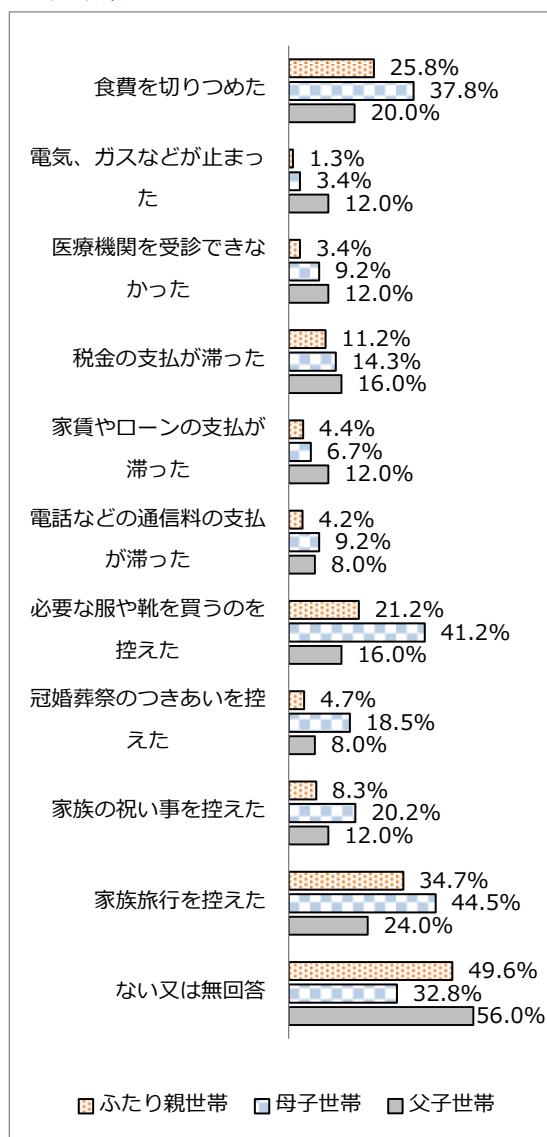
問 17 あなたの世帯では、経済的理由で、次のような経験をしたことがありますか。おおよそ直近 1 年の間でお考えください。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層において全ての項目で II 層よりも割合が高くなっているが、特に、I 層で「食費を切りつめた」が52.3%、「必要な服や靴を買うのを控えた」が40.0%、「家賃やローンの支払が滞った」が15.4%、「電気、ガスなどが止まった」が10.8%、「医療機関を受診できなかった」が13.8%存在するなど、経済的な困難が、生活の基盤である衣食住や健康を守るための医療などの局面で大きな影響を与えていることが分かる。
- ・ 世帯類型別にふたり親世帯、母子世帯、父子世帯との間で差が大きい項目に着目すると、母子世帯において全ての項目でふたり親世帯よりも割合が高くなっており、父子世帯では、「電気、ガスなどが止まった」、「医療機関を受診できなかった」、「家賃やローンの支払が滞った」などが12.0%でふたり親世帯よりも割合が高くなっている。

<経済状況別>



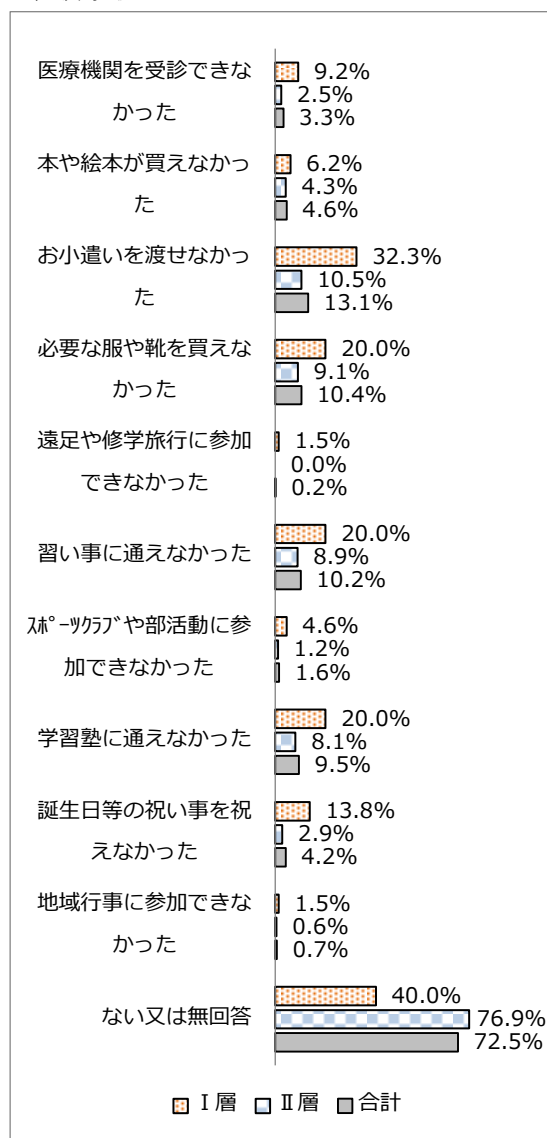
<世帯類型別>



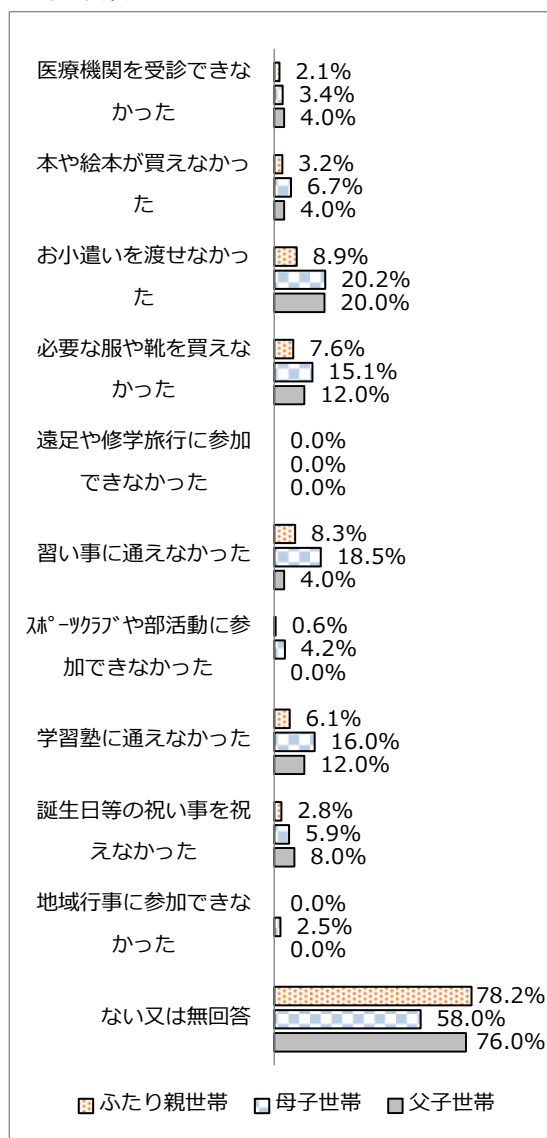
問 18 あなたの世帯では、経済的理由で、お子さんが希望したにもかかわらず、次のような経験をしたことがありますか。おおむね直近 1 年の間でお考えください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層において全ての項目で II 層よりも割合が高くなっているが、特に、I 層で「お小遣いを渡せなかった」が32.3%、「必要な服や靴を買えなかった」、「習い事に通えなかった」、「学習塾に通えなかった」が20.0%、「誕生日等の祝い事を祝えなかった」が13.8%、「医療機関を受診できなかった」が9.2%存在するなど、経済的な困難が、生活の基盤である衣服や子どもの学習・文化的環境、健康を守るための医療などの局面で大きな影響を与えていることが分かる。
- ・ 世帯類型別では、母子世帯において全ての項目でふたり親世帯よりも割合が高くなっている。

<経済状況別>



<世帯類型別>

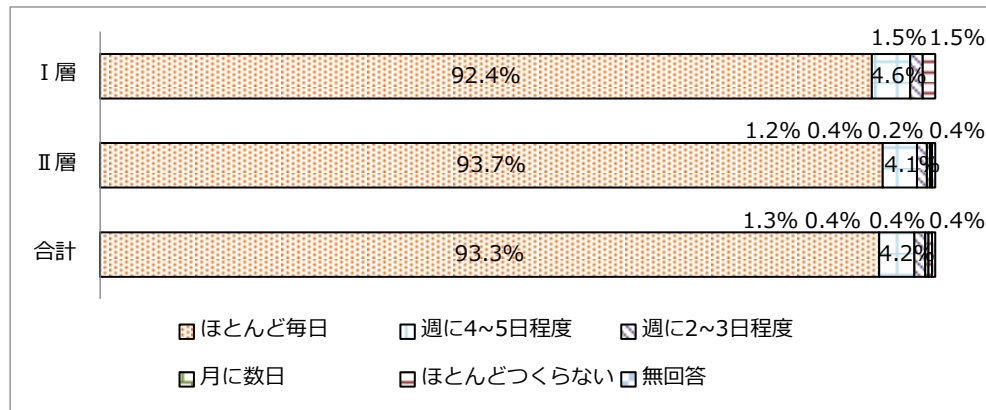


4. 生活環境

問3 あなたの世帯では、お子さんの保護者の方が食事をどのくらいつくりですか。（保護者には、お子さんの父母のほか、祖父母や親戚などを含みます。1日に1食でも、目玉焼きなどの簡単な料理を含めて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、顕著な差は見られなかった。

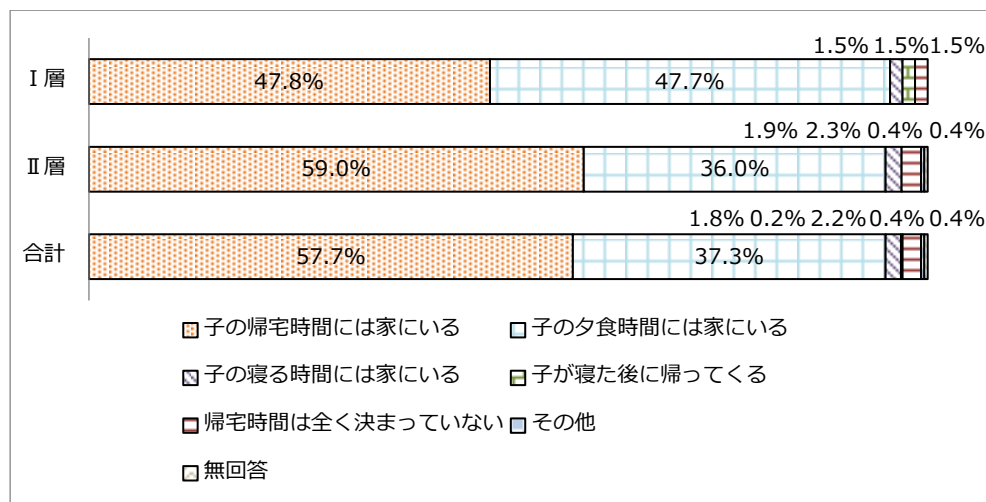
<経済状況別>



問4 あなたの世帯で、お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で多いものを選んでください。（保護者には、お子さんの父母のほか、祖父母や親戚などを含みます。あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「子の帰宅時には家にいる」の割合が低かった。

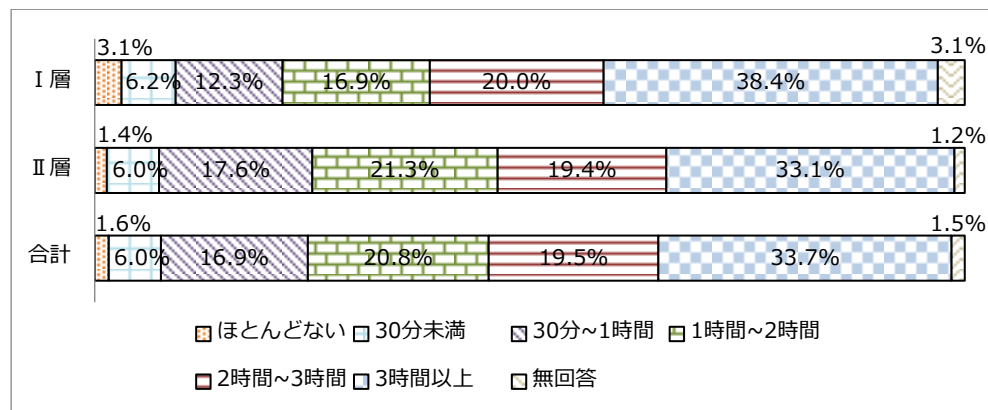
<経済状況別>



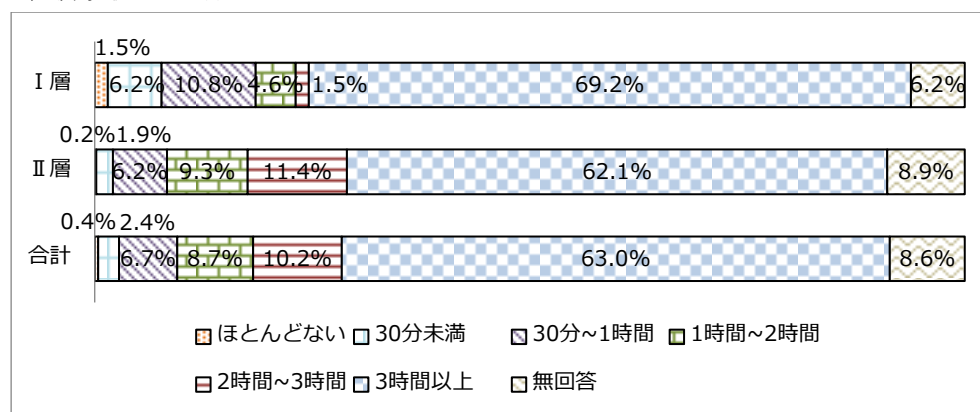
問 5 あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話をする時間は、1日あたりどのくらいですか。（平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、平日、休日ともにⅠ層で「3時間以上」の割合が高かった。

＜経済状況別：平日＞



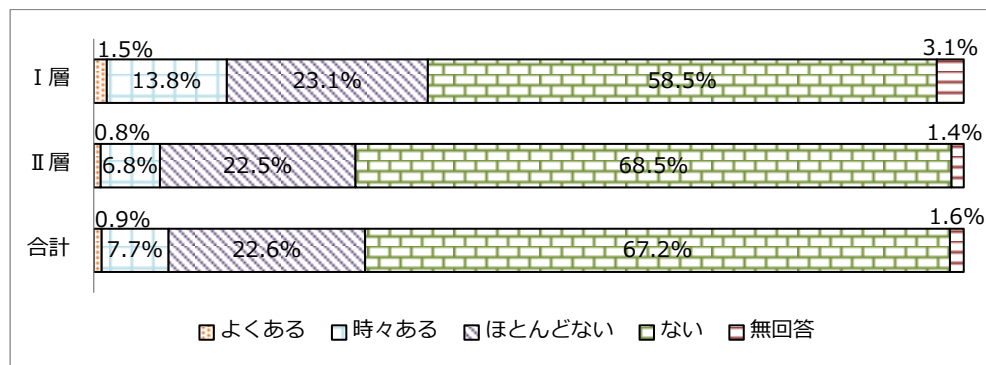
＜経済状況別：休日＞



問 6 あなたの世帯では、以下のようなことがどの程度ありますか（①～③の項目それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

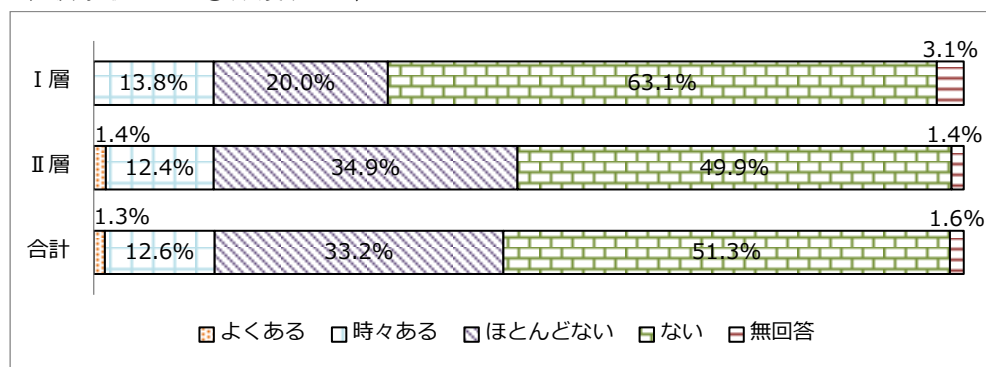
- 子どもだけで夜間に留守番をする頻度について、経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「よくある」、「時々ある」を合わせた割合が高くなっている。

＜経済状況別：①夜間留守番＞



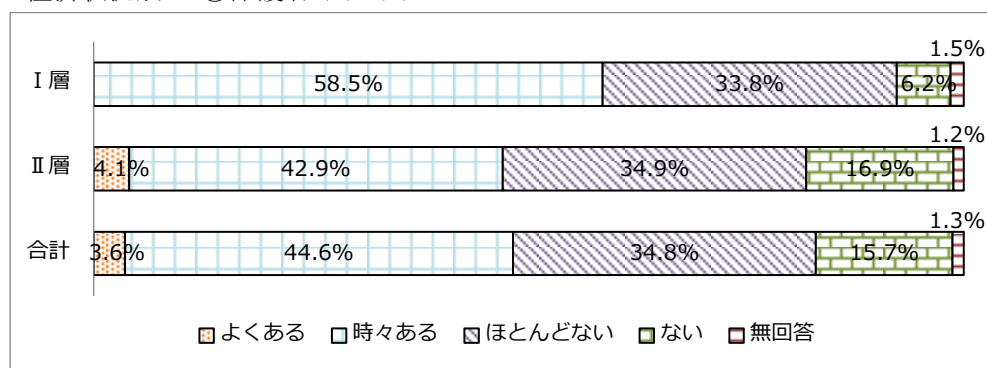
- 子どもの前で保護者が大喧嘩をする頻度について、経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、「ほとんどない」、「ない」の比率に違いが見られた。

＜経済状況別：②保護者喧嘩＞



- 保護者の不安やイライラ等の感情を子どもに向けてしまう頻度について、経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「時々ある」の割合が高くなっている。

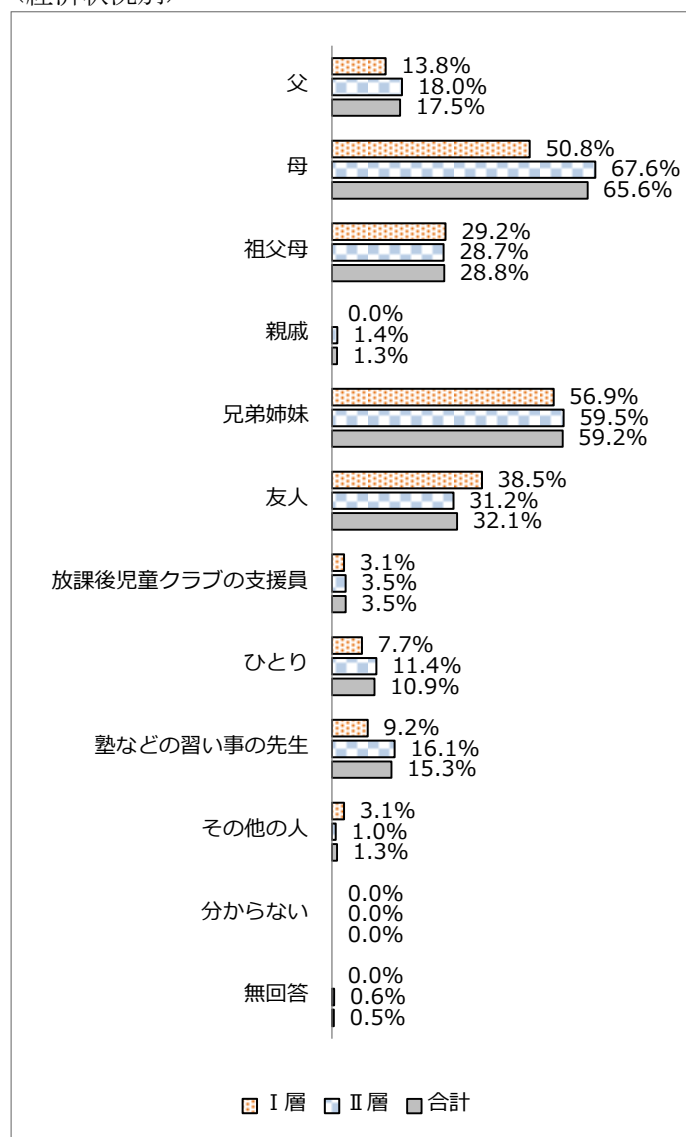
＜経済状況別：③保護者イライラ＞



問 7 あなたのお子さんは、学校が終わってから夕食までの間、主に誰と過ごしていますか。
(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「母」の割合が低く、「友人」の割合が高くなっている。

＜経済状況別＞

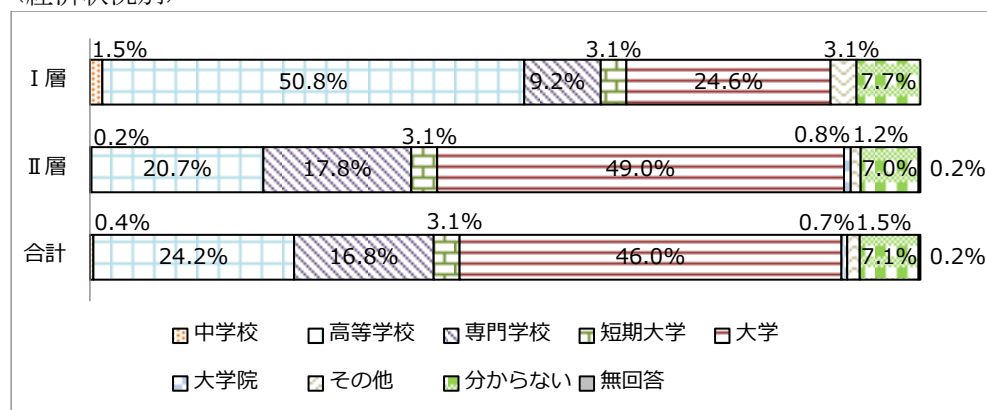


5. 教育環境

問 8 あなたは、お子さんをどの学校まで進学させたいと希望されていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「高等学校」の割合が高く、II 層で「大学」の割合が高くなっている。

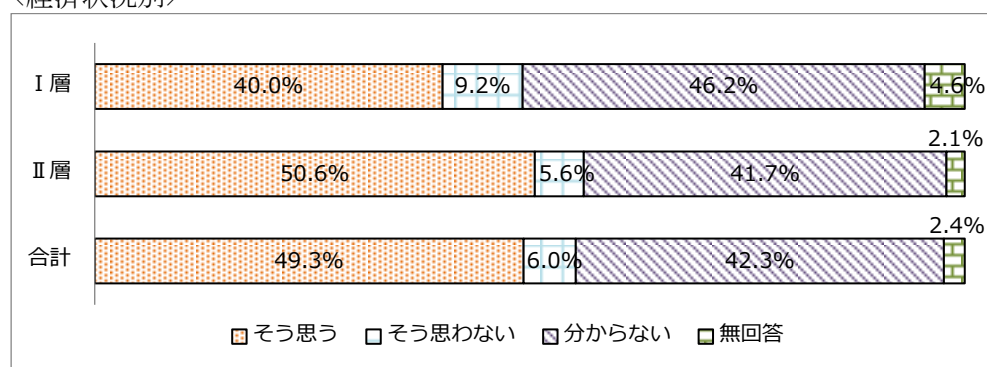
＜経済状況別＞



問 9-1 あなたは、問 8 で回答した希望どおり、お子さんが進学できそうだとお考えですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「そう思う」の割合が低くなっている。

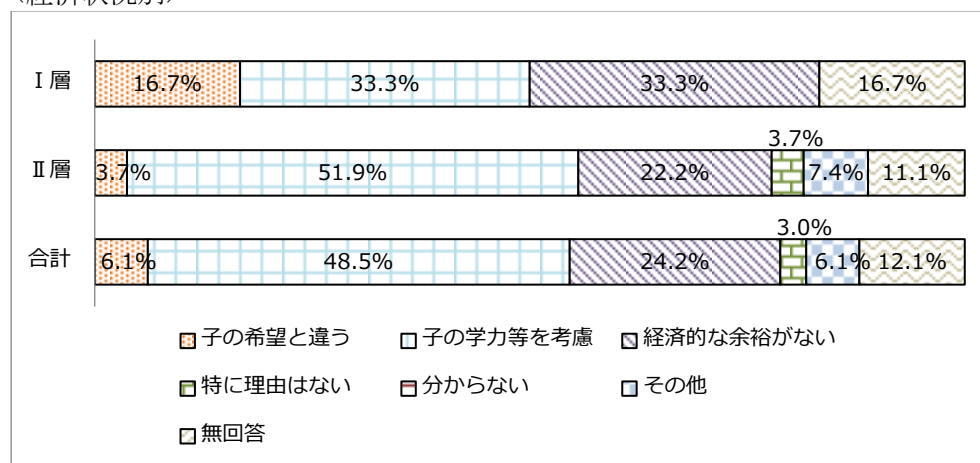
＜経済状況別＞



問 9-2 問 9-1 で「2. そう思わない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、問 10 にお進みください。その理由について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「子の希望と違う」、「経済的な余裕がない」の割合が高く、Ⅱ層で「子の学力等を考慮」の割合が高くなっている。

＜経済状況別＞

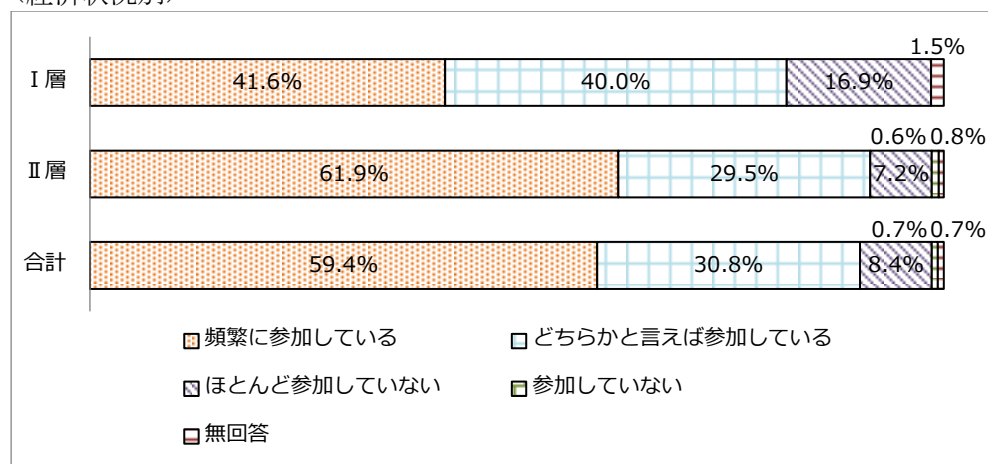


6. 社会環境

問 10 あなたは、授業参観や運動会など、お子さんの学校行事にどの程度参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「頻繁に参加している」、「どちらかと言えば参加している」を合わせた割合が低くなっている。

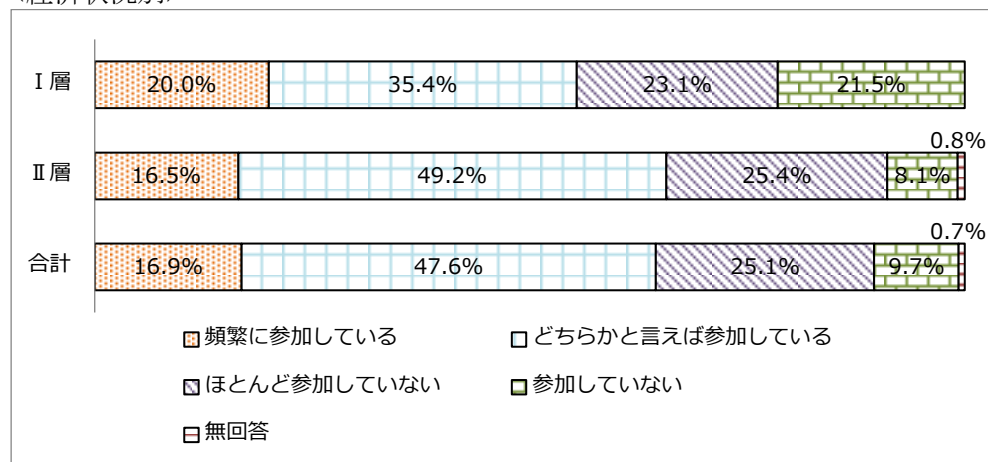
＜経済状況別＞



問 11 あなたは、地区の祭りなど、地域の行事にどの程度参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「頻繁に参加している」、「どちらかと言えば参加している」を合わせた割合が低くなっている。

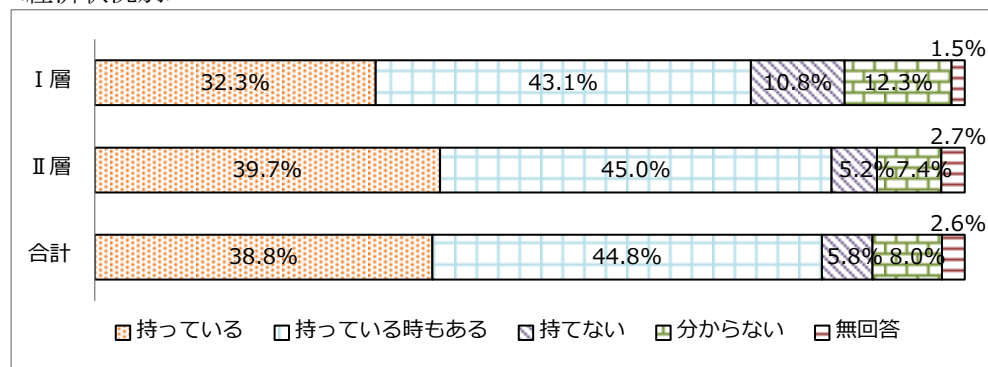
＜経済状況別＞



問 19 あなたは、自分の将来に対して前向きな希望を持っていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「持てない」の割合が高くなっている。

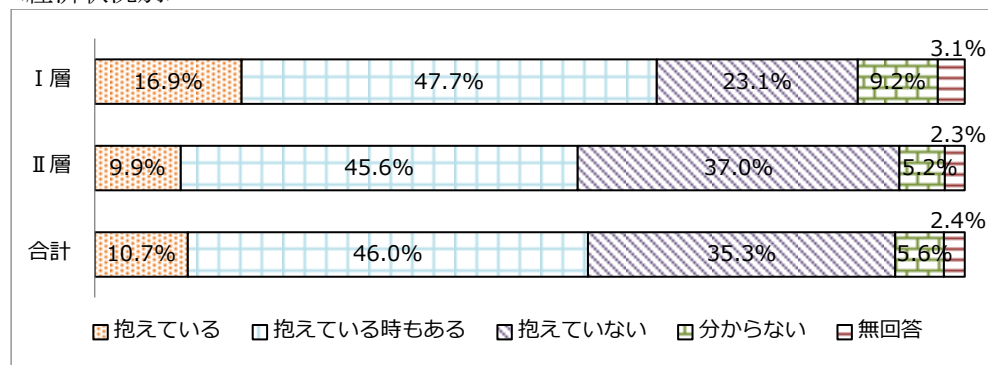
＜経済状況別＞



問 20 あなたは、自分だけでは解決することが難しい大きな悩みなどを抱えていますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「抱えていない」の割合が低くなっている。

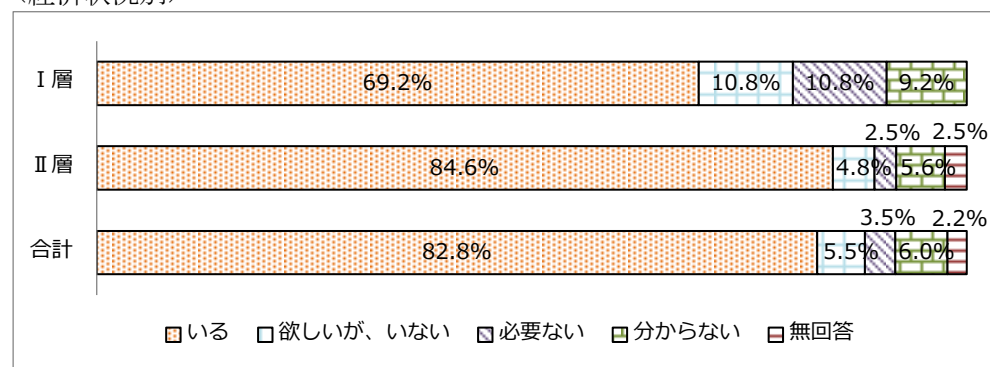
＜経済状況別＞



問 21 あなたは、悩みや子育ての相談などをできる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに ○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いる」の割合が低く、「欲しいが、いない」、「必要ない」の割合が高くなっている。

＜経済状況別＞



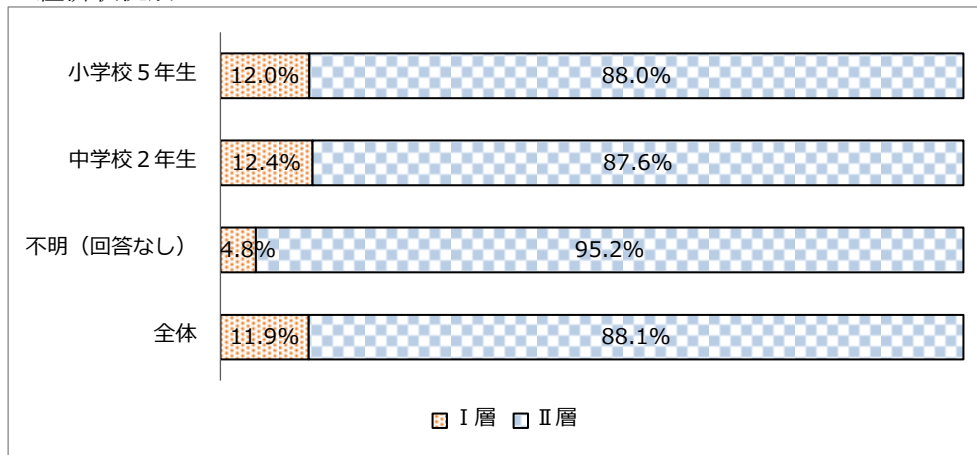
V 調査結果（クロス集計：子ども）

1. 属性

問 1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別において、回答者全体では、「Ⅰ層」が 11.9%、「Ⅱ層」が 88.1%であった。

<経済状況別>

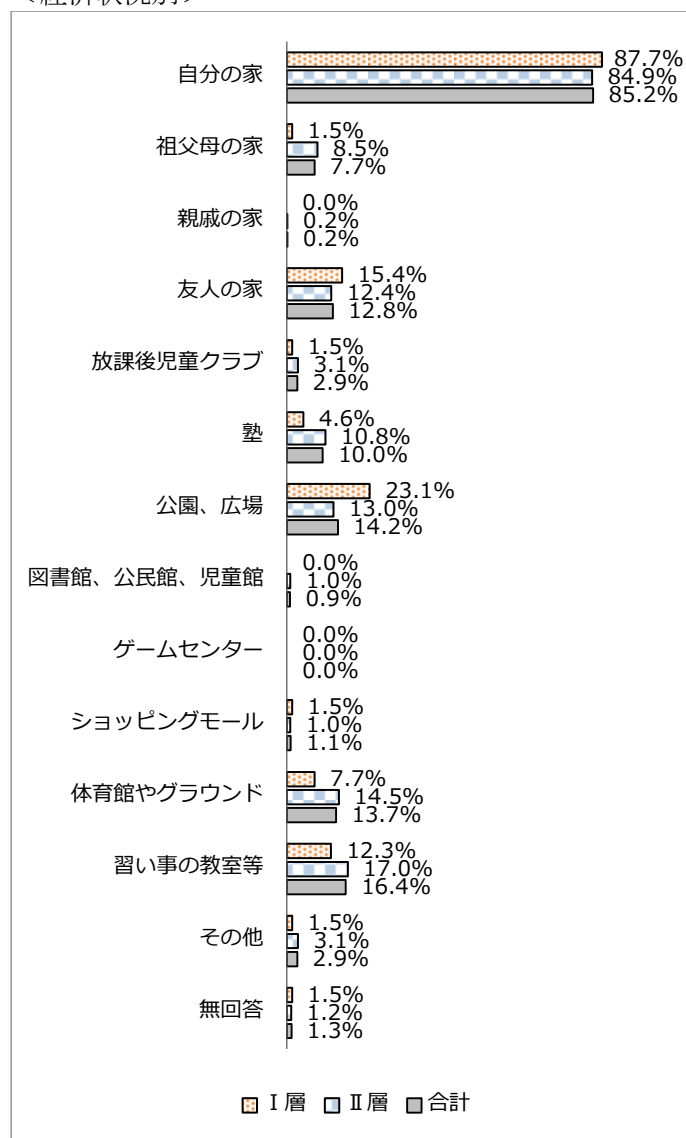


2. 生活環境

問 11 あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主にどこで過ごしていますか。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「祖父母の家」、「塾」、「体育館やグラウンド」、「習い事の教室等」の割合が低くなっている。

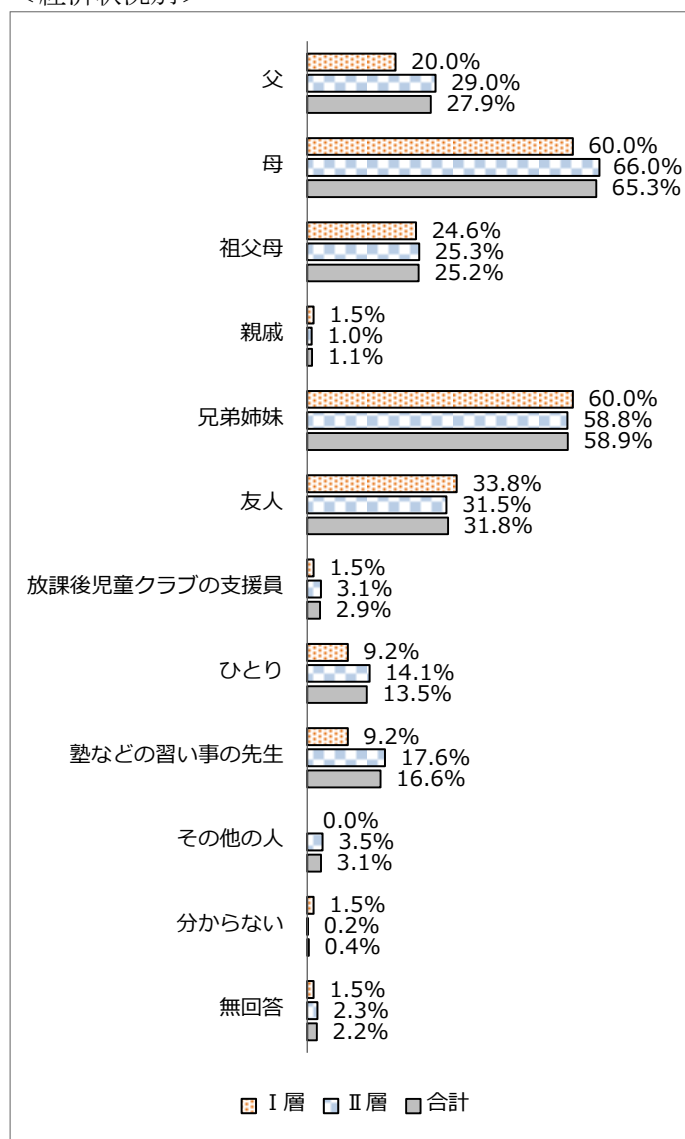
<経済状況別>



問 12 あなたは、学校が終わってから夕食までの間、主に誰と過ごしていますか。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ひとり」、「塾などの習い事の先生」の割合が低くなっている。

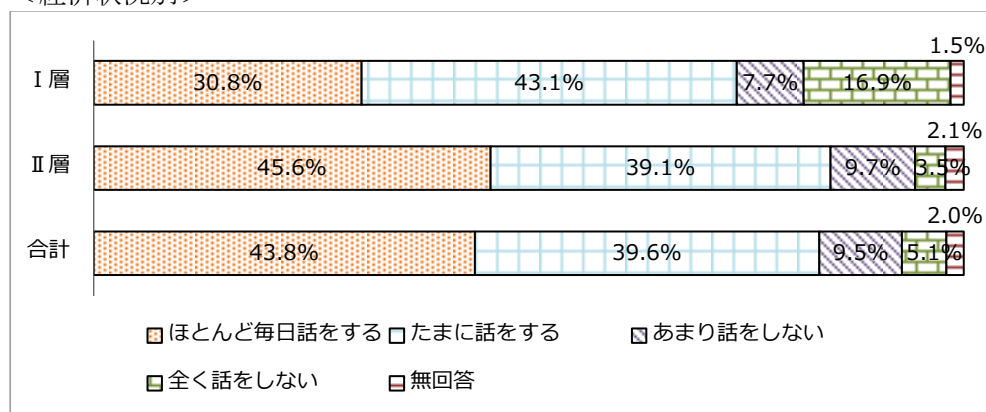
<経済状況別>



問 13 あなたは、保護者の方と学校のできごとについて話をしますか。(保護者)には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「ほとんど毎日話をする」の割合が低くなっている。

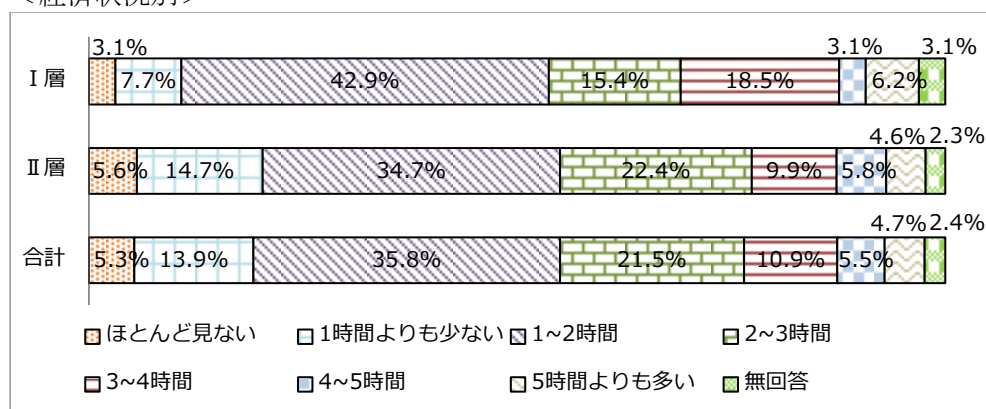
<経済状況別>



問 14 あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらいテレビを見ますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「ほとんど見ない」、「1 時間よりも少ない」の割合が低く、「1～2 時間」、「3～4 時間」の割合が高くなっている。

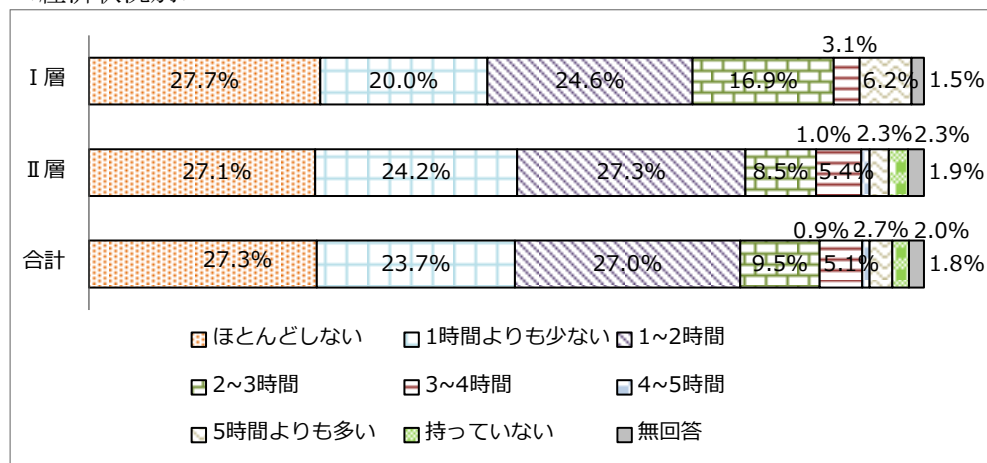
<経済状況別>



問 15 あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらいゲームをしますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「2～3時間」の割合が高い。

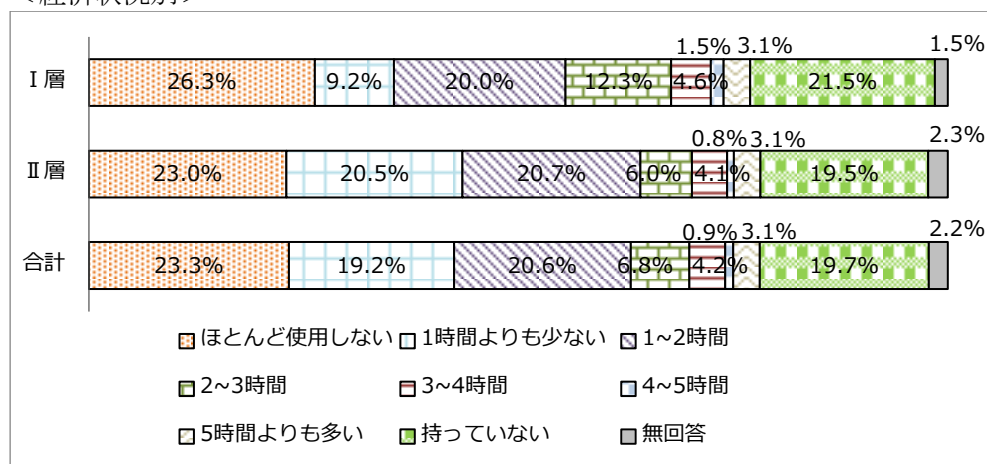
<経済状況別>



問 16 あなたは、平日（月～金曜日）は、何時間くらい携帯電話（スマートフォン）を使いますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「1時間よりも少ない」の割合が低い。

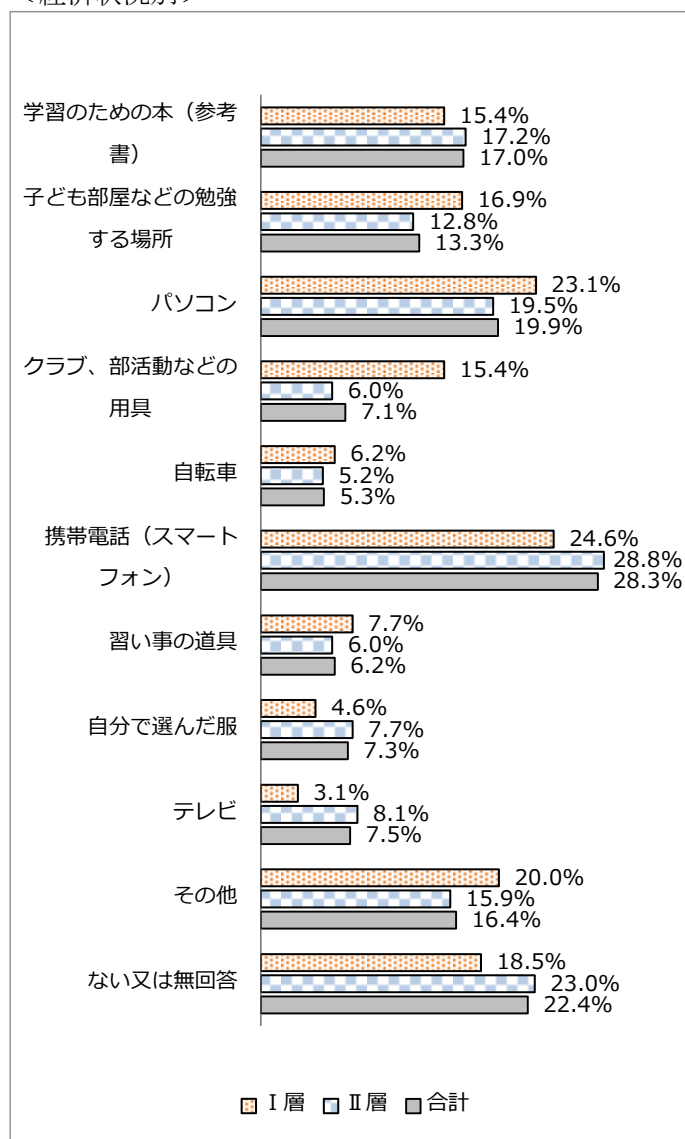
<経済状況別>



問 17 あなたが自分にとって必要と想着いても、持っていないものはありますか。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「子ども部屋などの勉強する場所」、「パソコン」、「クラブ、部活動などの用具」の割合が高くなっている。

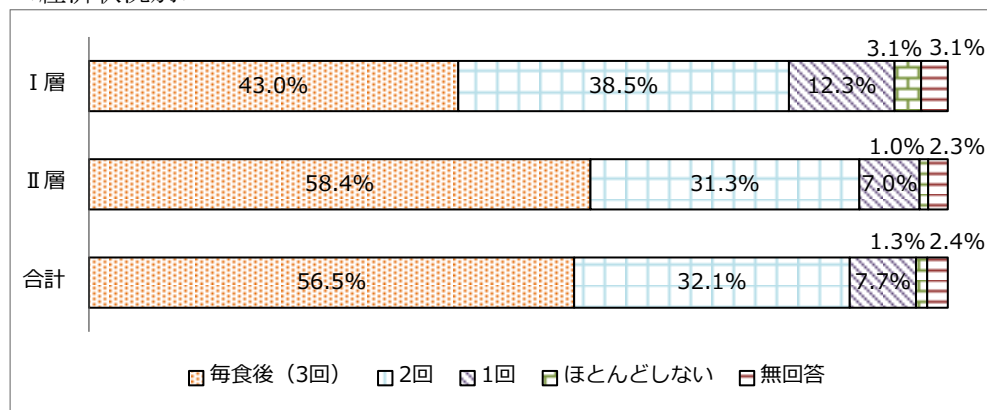
<経済状況別>



問 18 あなたは、毎日どのくらい歯磨きをしますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「毎食後（3回）」の割合が低く、「2回」までを合わせた割合も低くなっている。

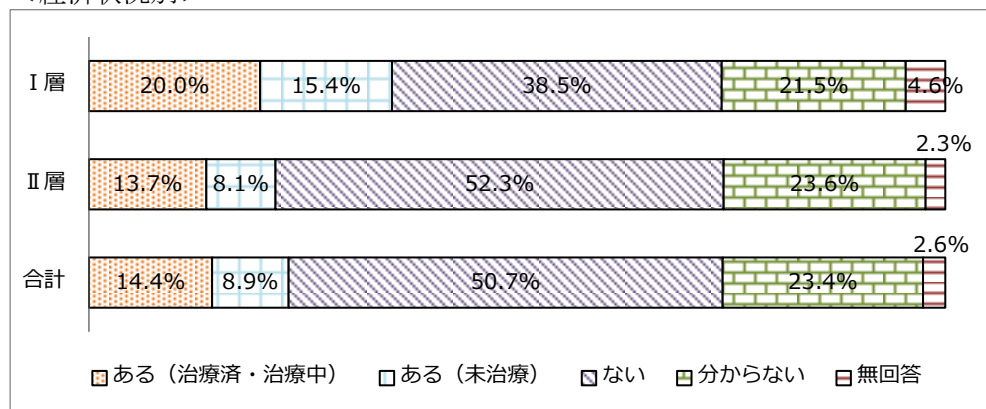
<経済状況別>



問 19 あなたには、現在むし歯がありますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「ある（未治療）」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっており、問18 の歯磨きの回数との相関が見られる。

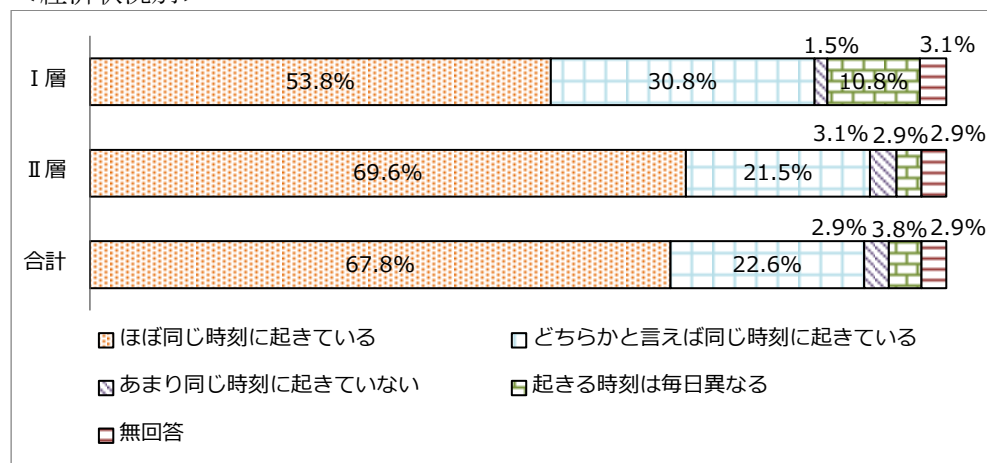
<経済状況別>



問 20 あなたは、平日（月～金曜日）は、ほぼ同じ時刻に起きていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほぼ同じ時刻に起きている」、「どちらかと言えば同じ時刻に起きている」を合わせた割合が低く、「起きる時刻は毎日異なる」の割合が高くなっている。

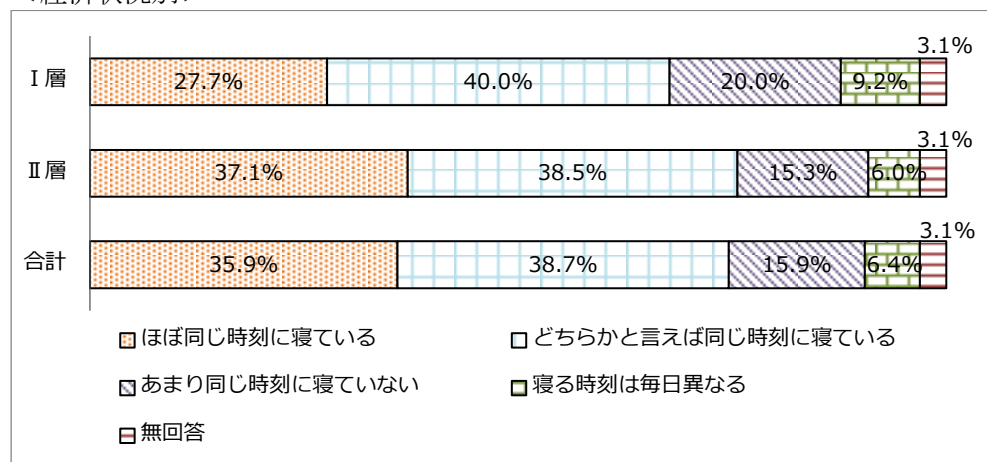
<経済状況別>



問 21 あなたは、平日（月～金曜日）は、ほぼ同じ時刻に寝ていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほぼ同じ時刻に寝ている」、「どちらかと言えば同じ時刻に寝ている」を合わせた割合が低く、「あまり同じ時刻に寝ていない」、「寝る時刻は毎日異なる」を合わせた割合が高くなっている。

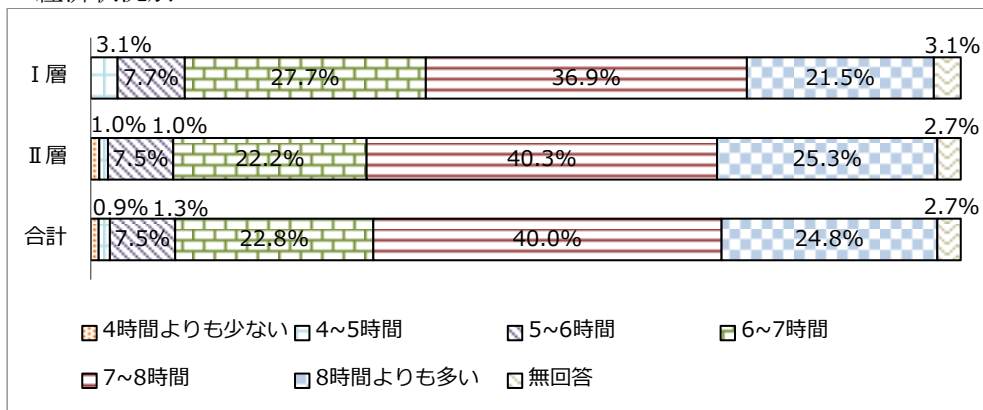
<経済状況別>



問 22 あなたは、平日（月～金曜日）は、平均して何時間くらい寝ていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「4時間よりも少ない」～「6～7時間」を合わせた割合が高く、「7～8時間」、「8時間よりも多い」を合わせた割合が低くなっている。

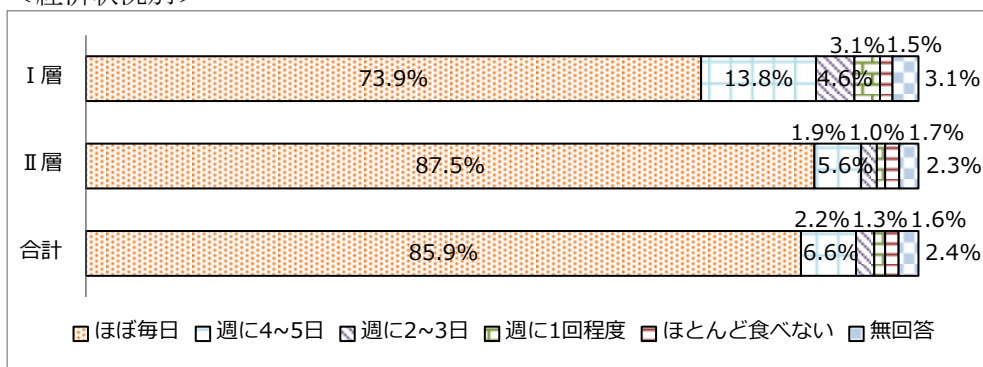
<経済状況別>



問 23-1 あなたは、週にどのくらい朝食を食べますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほぼ毎日」の割合が低くなっている。

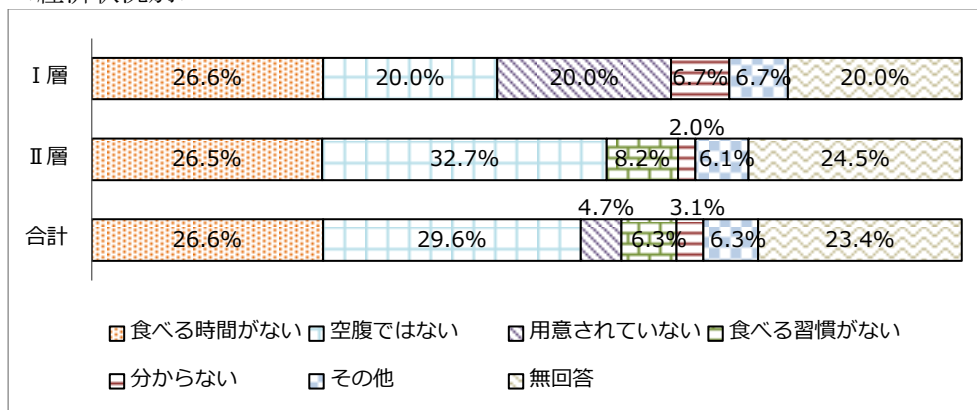
<経済状況別>



問 23-2 問 2 3 - 1 で「1. ほぼ毎日」と回答した方以外にお尋ねします。それ以外の方は、問 2 4 - 1 にお進みください。あなたが朝食を食べない理由を教えてください。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「用意されていない」の割合が高く、Ⅱ層で「空腹ではない」の割合が高くなっている。

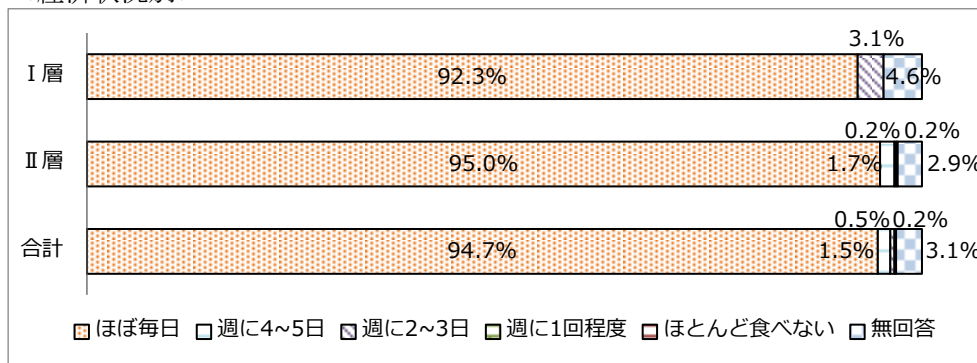
<経済状況別>



問 24-1 あなたは、週にどのくらい夕食を食べますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別で顕著な差はみられなかった。

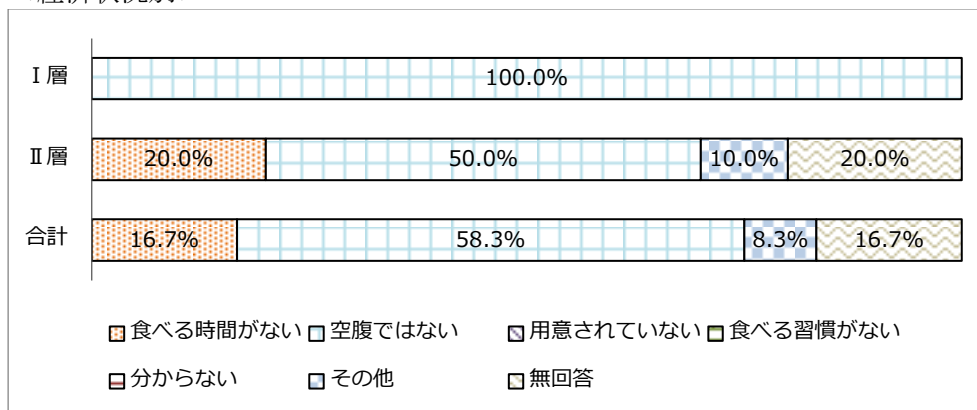
<経済状況別>



問 24-2 問 2 4 - 1 で「1. ほぼ毎日」と回答した方以外にお尋ねします。それ以外の方は、問 2 5 にお進みください。あなたが夕食を食べない理由を教えてください。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層では「空腹ではない」の理由が全てになっている。

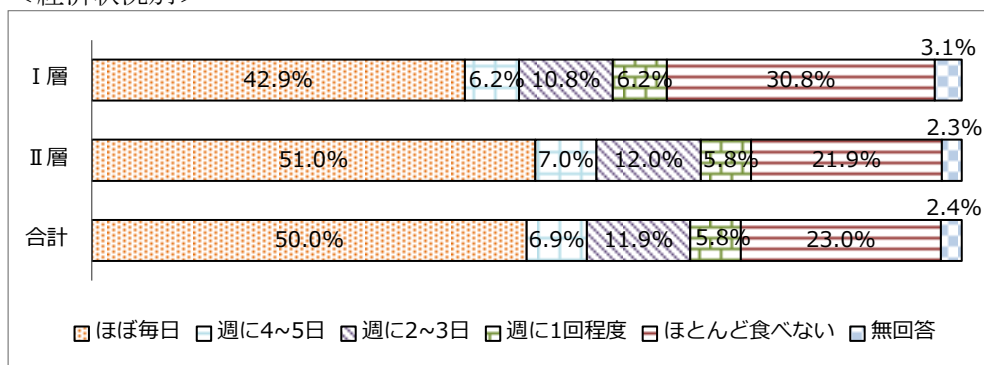
<経済状況別>



問 25 あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に朝食を食べますか。（保護者には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほぼ毎日」の割合が低く、「ほとんど食べない」の割合が高くなっている。

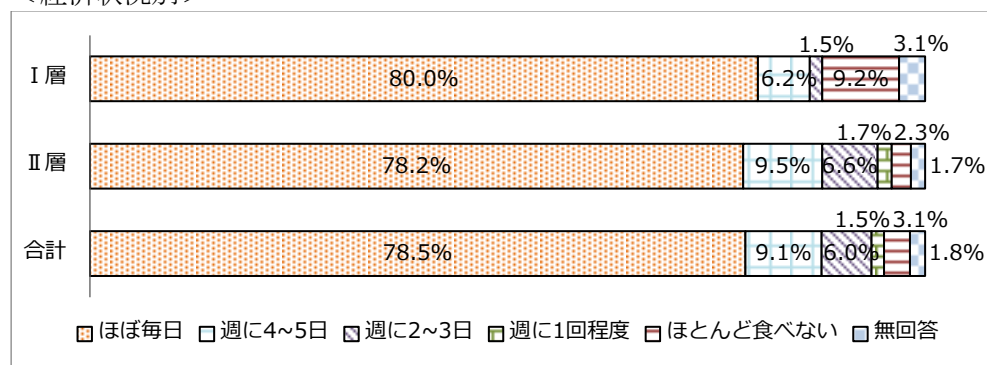
<経済状況別>



問 26 あなたは、週にどのくらい保護者の方と一緒に夕食を食べますか。（保護者には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、各項目において顕著な差はみられなかった。

<経済状況別>

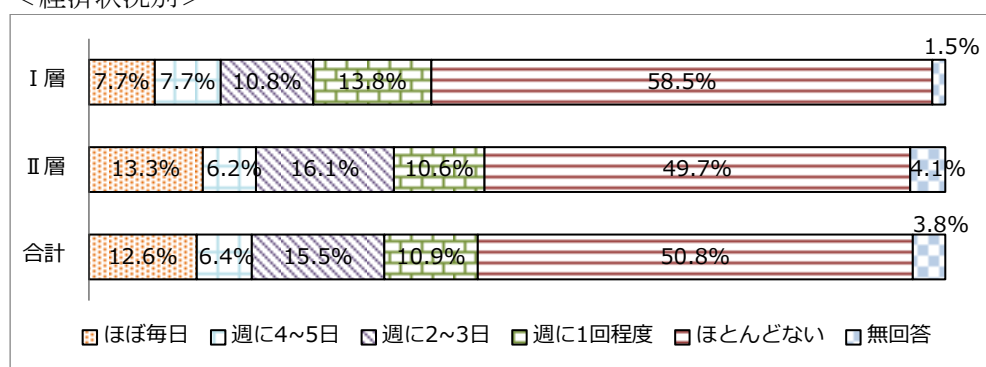


3. 教育環境

問3 あなたは、週にどのくらい保護者の方に宿題（勉強）を見てもらいますか。（保護者には、あなたの父母のほか、祖父母や親戚などの大人を含みます。あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほとんどない」の割合が高くなっている。

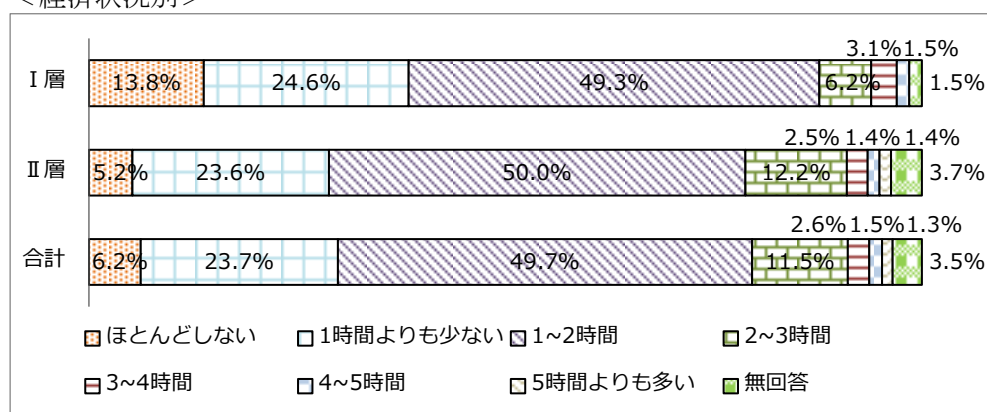
<経済状況別>



問4 あなたは、平日（月～金曜日）は、学校の授業以外にどれくらい勉強しますか。（塾での勉強時間を含めて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほとんどしない」、「1時間よりも少ない」を合わせた割合が高くなっている。

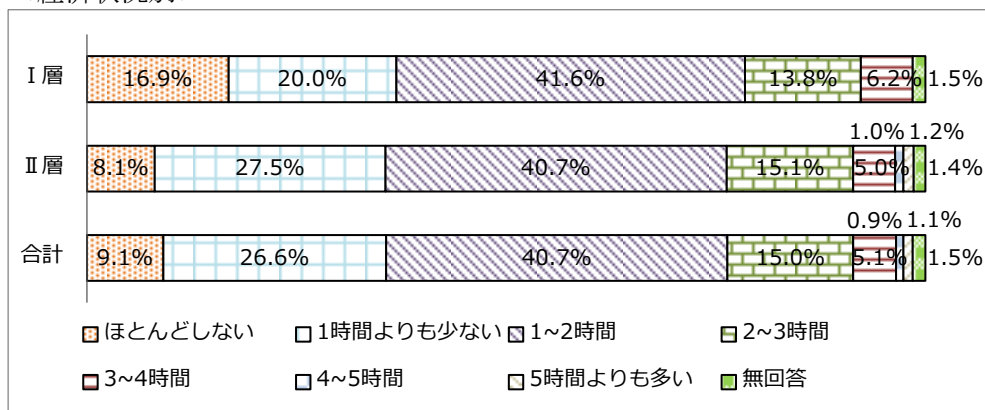
<経済状況別>



問5 あなたは、休日（土日、祝日）は、どれくらい勉強しますか。（塾での勉強時間を含めて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「ほとんどしない」の割合が高くなっている。

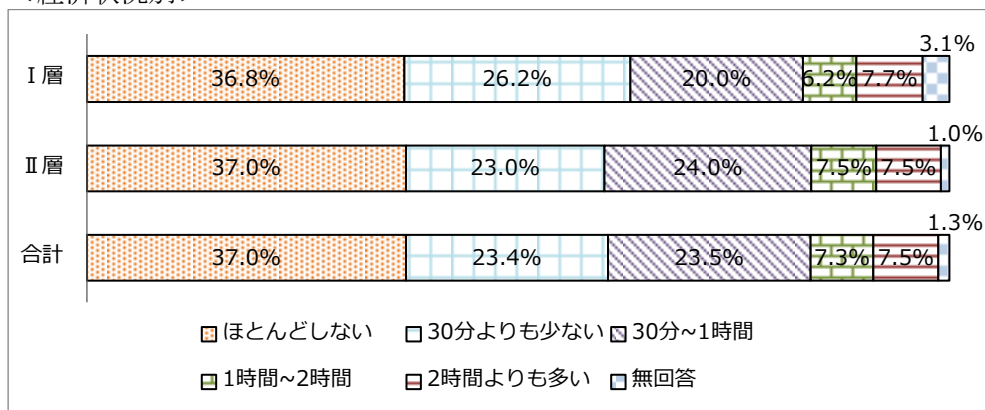
<経済状況別>



問6 あなたは、週にどのくらい読書をしますか。（マンガや雑誌を除き、あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別において顕著な差は見られなかった。

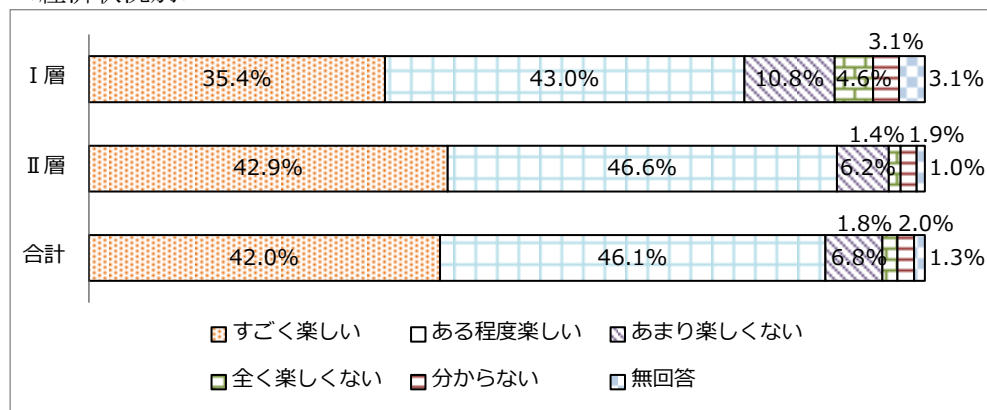
<経済状況別>



問 7-1 あなたは、学校は楽しいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「すごく楽しい」、「ある程度楽しい」を合わせた割合が低くなっている。

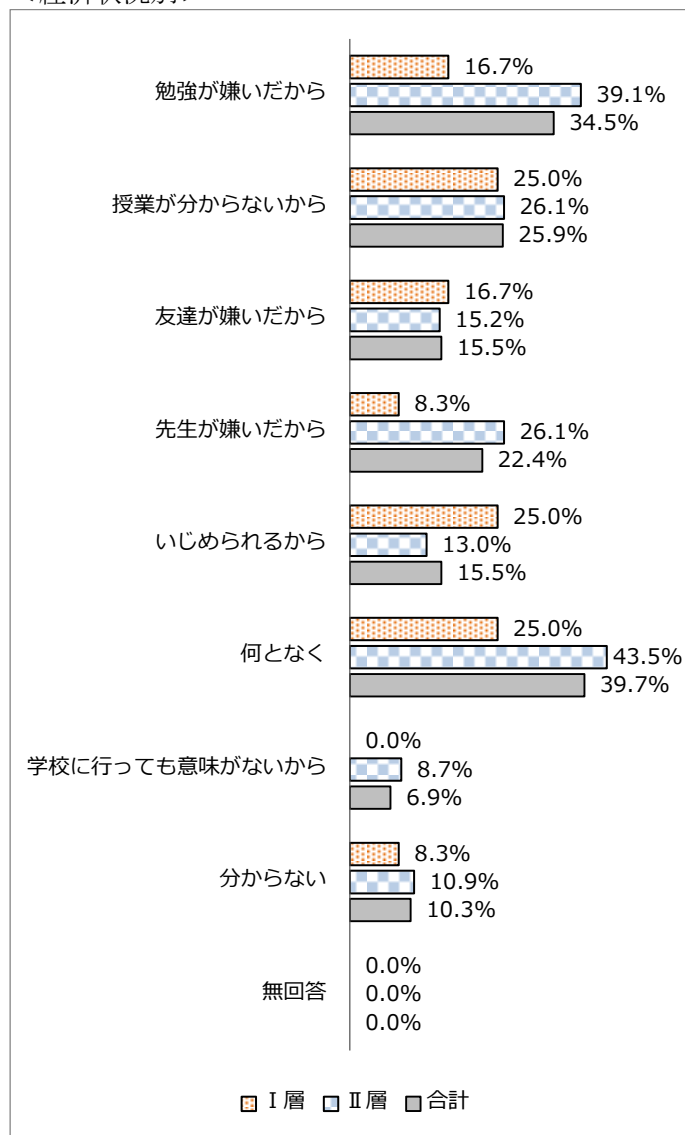
<経済状況別>



問 7-2 問 7-1 で「3. あまり楽しくない」、「4. 全く楽しくない」、「5. 分からない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、問 8 にお進みください。あなたが
 そう思う理由を教えてください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「いじめられるから」の割合が高くなっており、Ⅱ層で「勉強が嫌いだから」、「先生が嫌いだから」の割合が高くなっている。

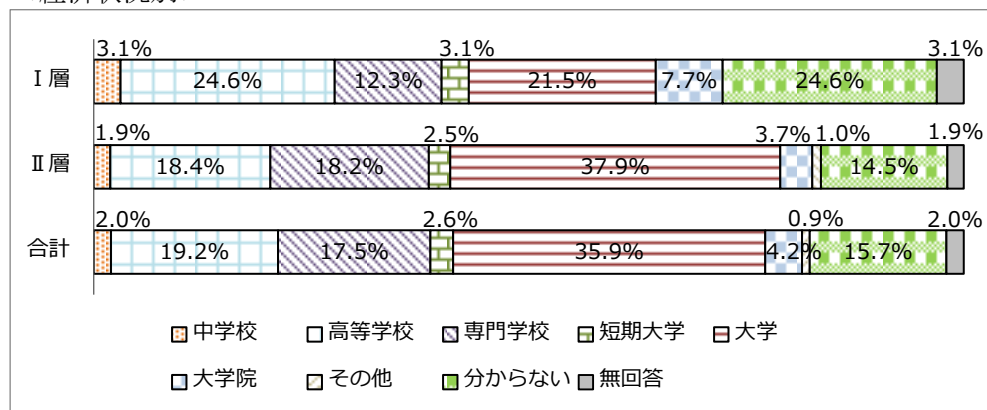
<経済状況別>



問 8 あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「高等学校」の割合が高く、「大学」の割合が低くなっている。

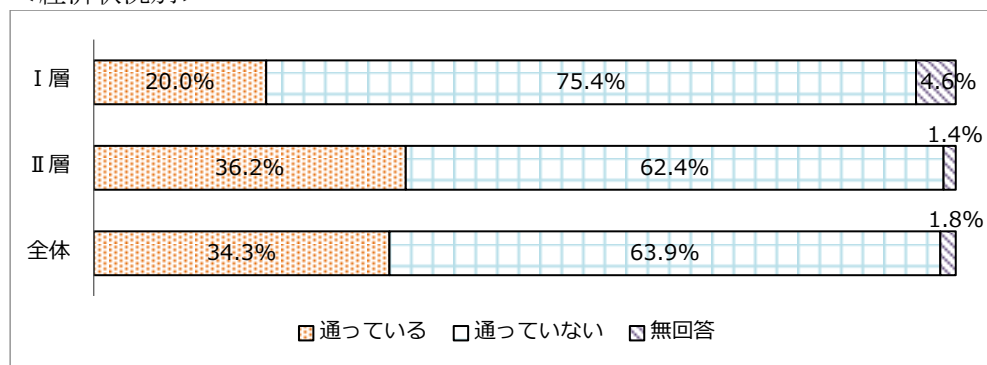
<経済状況別>



問 9-1 あなたは、塾（家庭教師や通信制の家庭学習教材を含みます。）に通っていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「通っている」の割合が低くなっている。

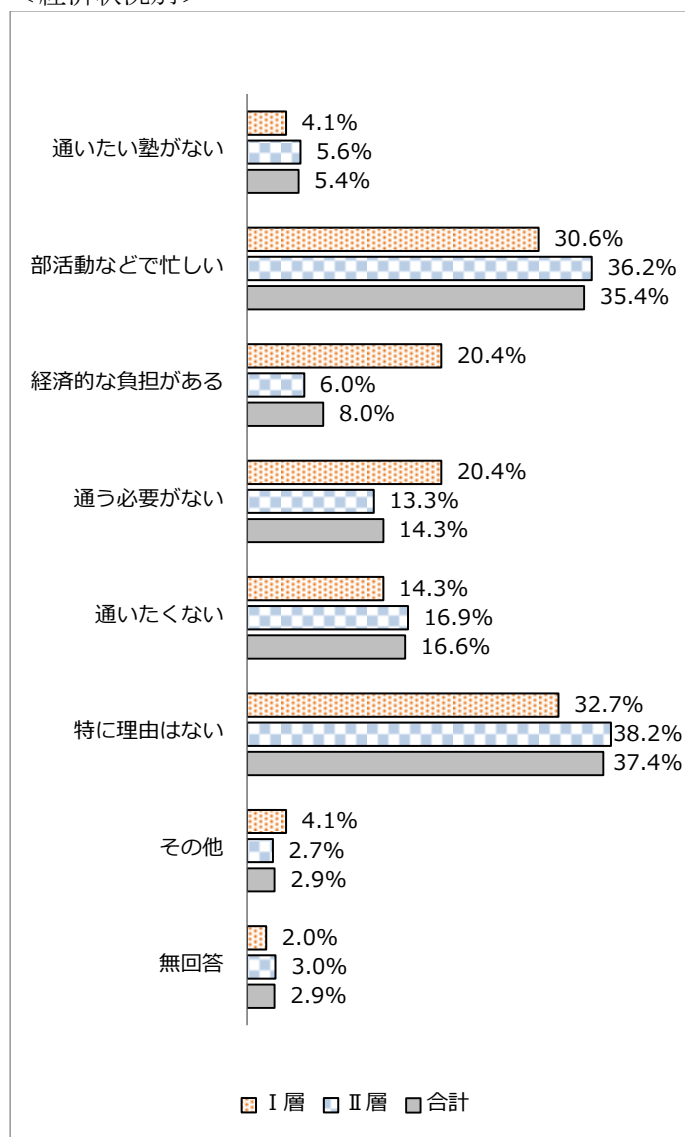
<経済状況別>



問 9-2 問 9-1 で「2. 通っていない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、
問 10-1 にお進みください。塾に通っていない理由を教えてください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「経済的な負担がある」、「通う必要がない」の割合が高く、Ⅱ層で「部活動などで忙しい」の割合が高くなっている。

<経済状況別>

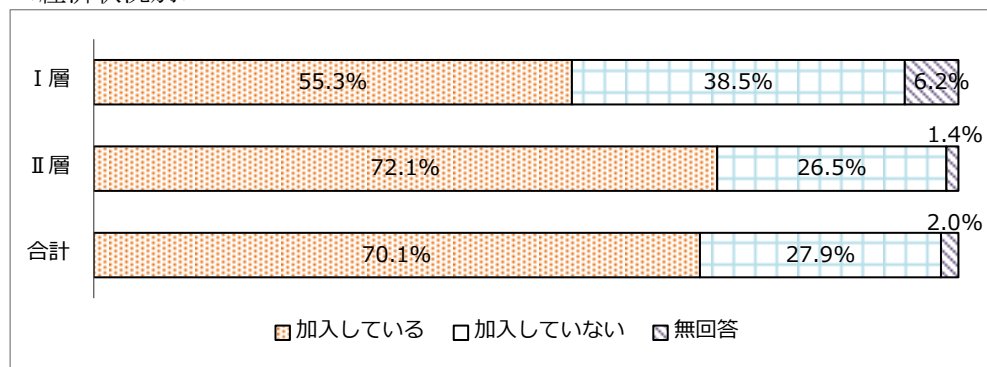


問 10-1 あなたは、スポーツクラブや部活動に加入していますか。(あてはまる番号)

1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「加入している」の割合が低くなっている。

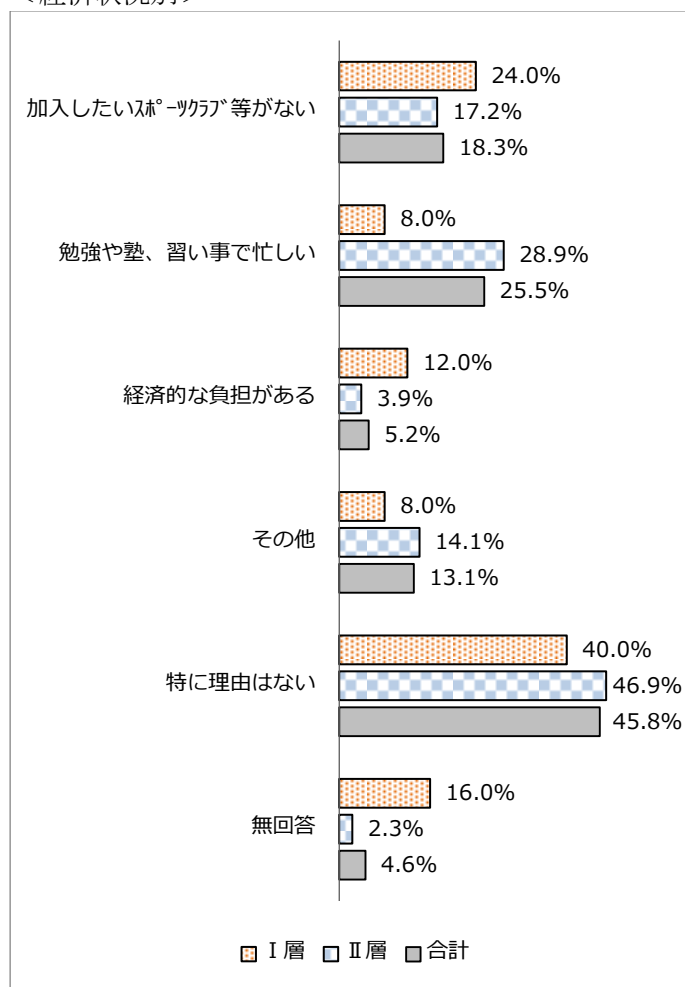
<経済状況別>



問 10-2 問 1 0 - 1 で「2. 加入していない」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は、問 1 1 にお進みください。加入していない理由を教えてください。（あてはまる番号全てに○をつけてください）

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「経済的な負担がある」の割合が高く、Ⅱ層で「勉強や塾、習い事で忙しい」の割合が高くなっている。

<経済状況別>

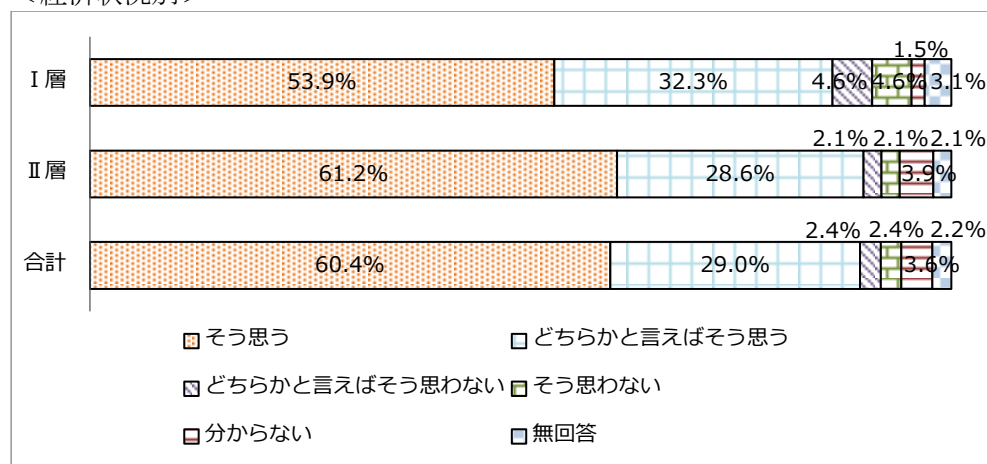


4. 社会環境

問 27 あなたは、将来のためにも、今、勉強やスポーツ・特技を頑張りたいと思いますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「そう思う」の割合が低くなっている。

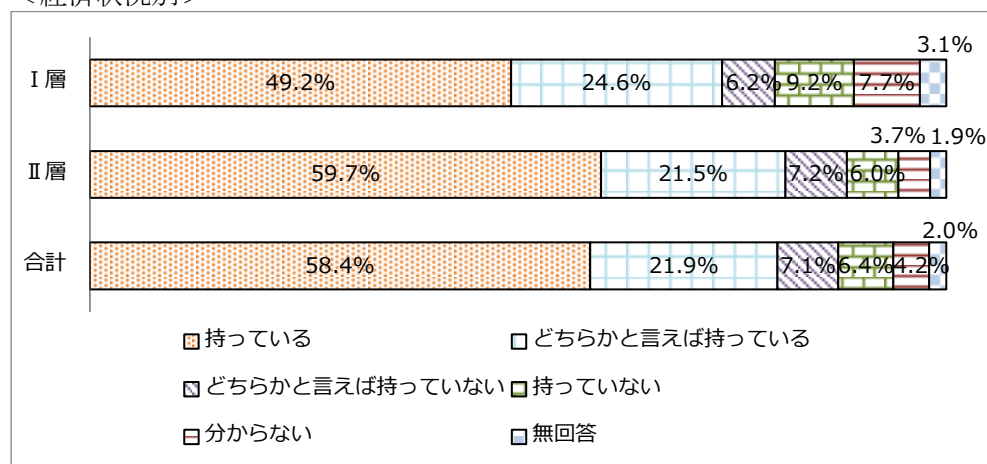
<経済状況別>



問 28 あなたは、将来の夢・希望や目標を持っていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「持っている」の割合が低くなっている。

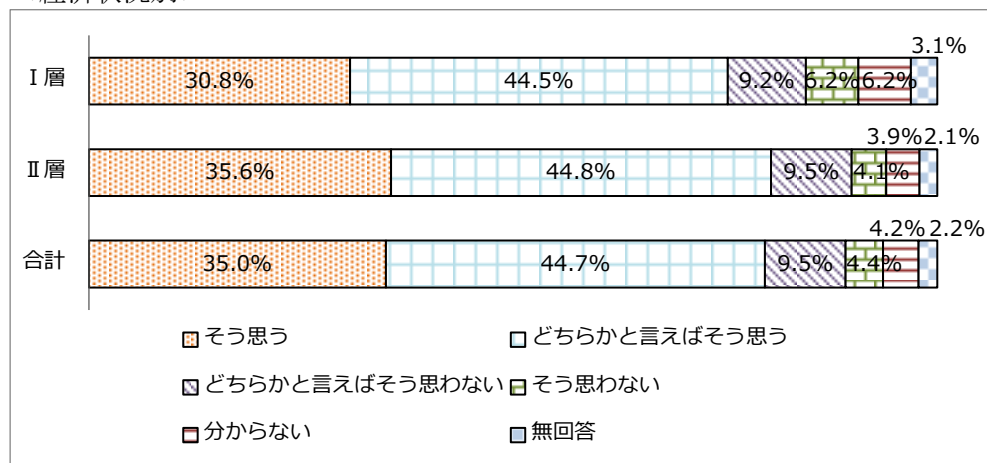
<経済状況別>



問 29 あなたは、難しいことでも失敗を恐れず何かに挑戦したいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「そう思う」の割合が低くなっている。

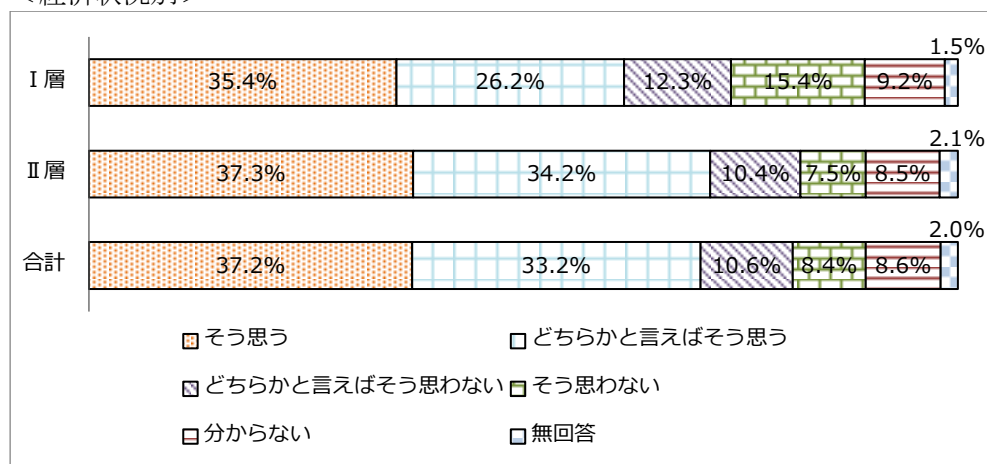
<経済状況別>



問 30 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、Ⅰ層で「どちらかと言えばそう思う」の割合が低くなっており、「そう思わない」の割合が高くなっている。

<経済状況別>

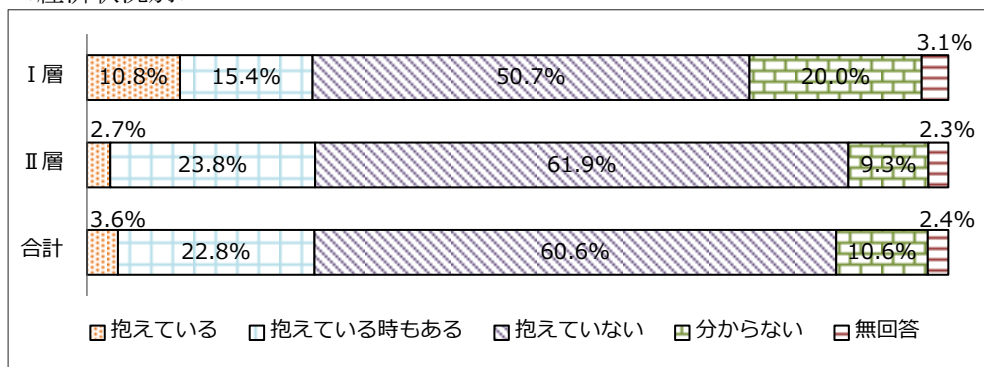


問 31 あなたは、自分だけでは解決することが難しい大きな悩みなどを抱えていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「抱えている時もある」、
「抱えていない」の割合が低くなっている。

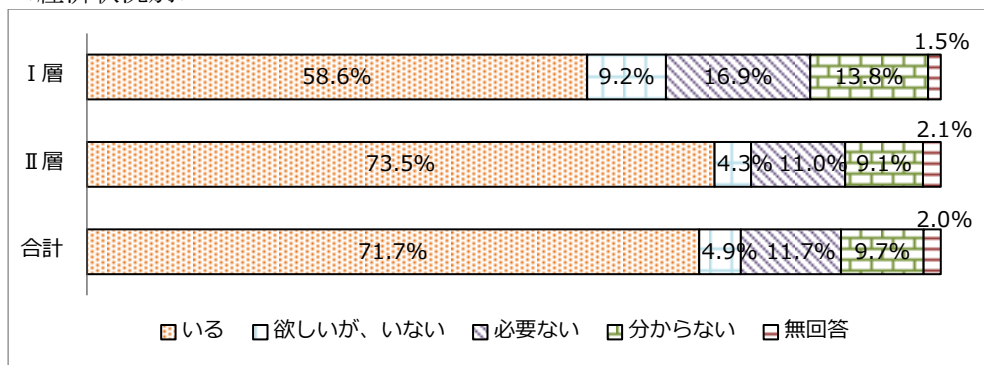
<経済状況別>



問 32 あなたは、悩み等を相談できる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- ・ 経済状況別に I 層と II 層の間で差が大きい項目に着目すると、I 層で「いる」の割合が低くなっている。

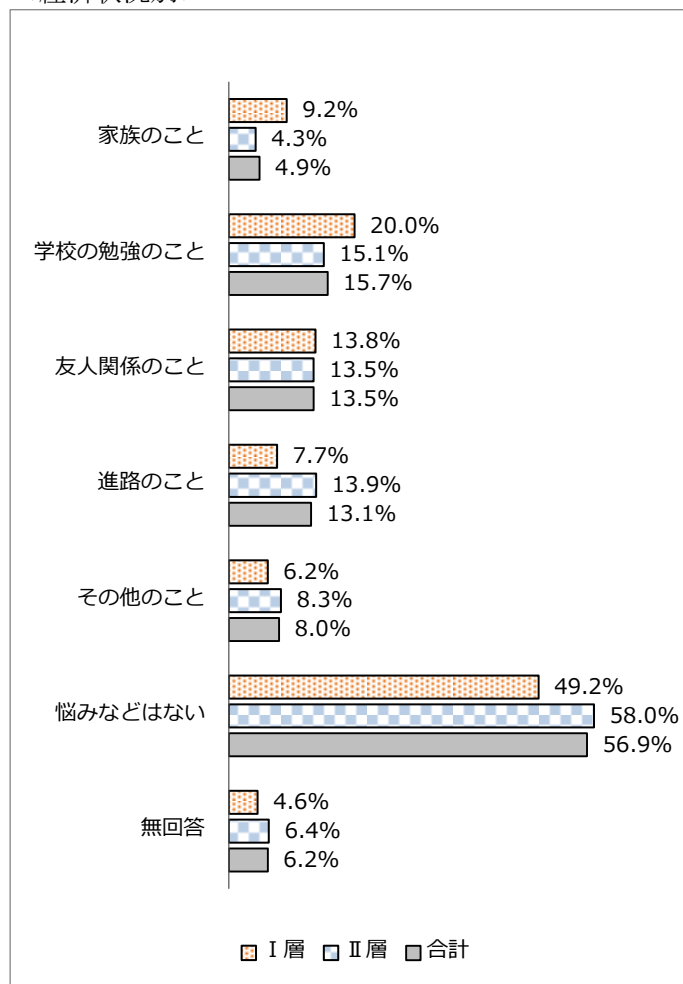
<経済状況別>



問 33 あなたが今悩んでいる事や心配な事、困っている事や誰かに相談したいと思っていることがあれば教えてください。(あてはまる番号全てに○をつけてください)

- ・ 経済状況別にⅠ層とⅡ層の間で差が大きい項目に着目すると、各項目で顕著な差はみられなかった。

<経済状況別>



VI 調査結果分析、課題と方向性

1. 経済状況

- ・ 本調査においては、国民生活基礎調査における相対的貧困率の算出手法に沿って、貧困線を下回る層に属する回答者をⅠ層、それ以外をⅡ層に区分し集計・分析を行なった。その結果、貧困線を下回る者の割合（Ⅰ層）は11.8%となり、ひとり親世帯では31.9%となった。なお、調査対象者や調査手法等が異なるため単純に比較できるものではないが、平成28年国民生活基礎調査における全国の子どもの貧困率は13.9%、大人が一人の世帯では50.8%となっている。
- ・ 子どもの貧困問題を考えるうえで保護者や世帯の経済状況の要素は大きい、その基礎となる父母の就業状況について、父母のいずれもⅠ層において「正社員」の割合が低くなっており、特に父において顕著な傾向が見られる（父が正社員の割合：Ⅰ層29.2%、Ⅱ層76.0%）。また、父母の最終学歴について、父母のいずれもⅠ層において「中学校」の割合が高く、「専門学校」、「短期大学」、「大学」の割合が低くなっており、就業状況と同じく父において顕著な傾向が見られる（父が大学卒業の割合：Ⅰ層9.2%、Ⅱ層19.0%）。
- ・ 世帯全員を合わせた年間合計所得額について、各世帯で同居人数や世帯構成等が異なり単純に比較できるものではないが、Ⅰ層は、250万円未満であるが、その中で「150～200万円未満」の割合が最も高くなっている。
- ・ 世帯における手当や支援制度等の利用状況について、Ⅰ層で利用割合が高い傾向が見られた。
- ・ また、Ⅱ層で「就学援助費」を受けている世帯が6.4%、「児童扶養手当」を受給している世帯が9.1%存在すること等から、貧困線を上回るⅡ層においても、必ずしも十分な生活が営まれていない可能性が考えられる。
- ・ 世帯における経済的理由による経験について、Ⅰ層において全ての項目でⅡ層よりも割合が高くなっているが、特に、Ⅰ層で「食費を切り詰めた」が52.3%、「必要な靴や服を買うのを控えた」が40.0%、「電気、ガスなどが止まった」が10.8%、「医療機関を受診できなかった」が13.8%存在するなど、経済的な困難が、生活の基盤である衣食住や健康を守るための医療などの局面で大きな影響を与えていることが分かる。このことは、母子世帯においても同じような傾向が見られる。
- ・ また、経済的理由により、子どもが希望したにもかかわらずできなかった経験について、Ⅰ層において全ての項目でⅡ層よりも割合が高くなっているが、特にⅠ層で「学習塾に通えなかった」が20.0%、「習い事に通えなかった」が20.0%、「必要な服や靴を買えなかった」が20.0%、「誕生日等の祝い事を祝えなかった」が13.8%、「医療機関を受診できなかった」が9.2%存在するなど、世帯の経済状況が子どもの生活にも大きな影響を与えていることが分かった。
- ・ 以上のことから、子どもの生活に大きな影響を及ぼす経済状況の改善に取り組む必要がある。まずは、各種手当や就学援助費、貸付金などの現行制度の周知強化等による捕捉率を高めることが重要である。また、ひとり親家庭に対する職業紹介や資格取得の支援、生活困窮者自立支援制度等により、安定雇用による就労所得を増加させ、経済的自立による子どもの生活環境の改善に繋げることが求められる。

2. 生活環境

- ・ Ⅰ層において、歯磨きや起床・就寝などの規則正しい生活習慣の定着が弱い傾向が見られる。

- 例えば、毎日の歯磨きの頻度について、「毎食後（3回）」の割合はⅠ層で43.0%であるのに対し、Ⅱ層で58.4%となっている。その結果、現在のむし歯の状況について、「ある（未治療）」の割合はⅠ層で20.0%であるのに対し、Ⅱ層で13.7%となっている。
- また、平日の起床習慣について、「ほぼ同じ時刻に起きている」の割合はⅠ層で53.8%であるのに対し、Ⅱ層で69.6%となっている。
- 単純集計において、子どもだけで夜間に留守番をする頻度について、「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は全体で9.4%（小学校5年生：7.9%、中学校2年生：10.9%）となっている。
- また、平日に子どもの相手をする時間の長さについて、「ほとんどない」と「30分未満」を合わせた割合は全体で7.6%（小学校5年生：5.2%、中学校2年生：10.9%）となっている。
- さらに、朝食や夕食の摂取状況について、朝食を食べる頻度が「ほぼ毎日ではない」割合は全体で13.2%（小学校5年生：13.8%、中学校2年生：12.3%）、同じく夕食で「ほぼ毎日ではない」割合は全体で2.0%（小学校5年生：1.9%、中学校2年生1.7%）となっている。
- 以上のことから、経済的に厳しい状況にある家庭の方が、より必要性が高いと思われるが、規則正しく健康的な生活習慣の確保の取り組みが必要と考える。

3. 教育環境

- 子どもの希望する進学先について、親子共に、Ⅰ層は「高等学校まで」、Ⅱ層は「大学まで」を回答する割合が高かった。また、進学の実現可能性もⅠ層で低く、その理由として経済的負担を挙げる割合が高かった。
- 例えば、保護者に対し、子どもをどの学校まで進学させたいかについて、Ⅰ層で「高等学校」が50.8%、「大学」が24.6%であるのに対し、Ⅱ層で「高等学校」が20.7%、「大学」が49.0%となっている。同じく子どもについて、Ⅰ層で「高等学校」が24.6%、「大学」が21.5%であるのに対し、Ⅱ層で「高等学校」が18.4%、「大学」が37.9%となっている。
- また、保護者の希望どおり子どもが進学できそうだと思うかについて、Ⅰ層の保護者で「そう思わない」が9.2%、Ⅱ層の保護者で5.6%となっている。「そう思わない」理由について、Ⅰ層の保護者で「経済的な余裕がない」が33.3%、「子の学力等を考慮」が33.3%であるのに対し、Ⅱ層の保護者で「子の学力等を考慮」が51.9%、「経済的な余裕がない」が22.2%となっている。
- これらのことから、世帯の経済状況等を踏まえ、大学進学等を初めから断念しているのか、あるいは大学進学等によって将来の経済力向上を図るイメージが湧かない、意識が希薄である可能性も考えられる。
- 学習塾やスポーツクラブ等への加入状況について、Ⅰ層で通塾していない、スポーツクラブ等に参加していない割合が高く、その理由として経済的負担を挙げる割合がⅡ層より高かった。
- 例えば、学習塾に通っているかについて、Ⅰ層で「通っている」が20.0%であるのに対し、Ⅱ層で36.2%となっている。「通っていない」理由について、Ⅰ層で「経済的な負担がある」が20.4%（Ⅱ層は6.0%）であるのに対し、Ⅱ層で「部活動などで忙しい」が36.2%（Ⅰ層は30.6%）、「通う必要がない」が13.3%（Ⅰ層は20.4%）となっている。
- 以上のことから、家庭の経済状況が子どもの学習面等における機会の差となってあらわれやすいことが示され、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右される可能性や、貧困問題が世代を超えて連鎖する可能性が高いことが読み取れる。

4. 社会環境

- ・ I層の子どもにおいて、自己実現や自己肯定感が低い割合が高くなっている。
- ・ 例えば、将来のためにも、今、勉強やスポーツ等を頑張りたいと思うかについて、I層で「そう思う」が53.9%であるのに対し、II層で61.2%となっている。
- ・ I層の保護者において、学校や地域行事への参加頻度が低いとともに、将来に前向きな希望を持っていない割合や悩みを抱えている割合が高くなっている。
- ・ 例えば、子どもの学校の授業参観や運動会などの学校行事にどの程度参加しているかについて、I層で「ほとんど参加していない」と「参加していない」を合わせて16.9%であるのに対し、II層で8.0%となっている。
- ・ また、悩みや子育ての相談などをできる人がいるかについて、I層で「欲しいが、いない」が10.8%であるのに対し、II層で4.8%となっている。
- ・ I層の子どもにおいて、自分だけでは解決することが難しい大きな悩みなどを抱えているかについて、I層で「抱えていない」が50.7%であるのに対し、II層で61.9%となっている。
- ・ 相談相手の有無や悩みの種別等について、「相談相手が欲しいが、いない」割合や、「家族のこと」や「学校の勉強のこと」等の各項目でI層の割合が若干高かったが、全体的に、夢や希望が持てない、相談相手がいない等の子どもが一部に見られる。
- ・ 将来の夢・希望や目標を持っているかについて、I層で「持っていない」が9.2%であるのに対し、II層で6.0%となっている。
- ・ 悩んでいることや心配な事、相談したいこと等について、「家族のこと」がI層で9.2%、II層で4.3%、「学校の勉強のこと」がI層で20.0%、II層で15.1%、「友人関係のこと」がI層で13.8%、II層で13.5%、「進路のこと」がI層で7.7%、II層で13.9%となっている。
- ・ 悩みや将来への意欲等は、多くの要因が重なって作用するものであり、簡単に解決することは難しいが、子どもが将来に夢や希望を持てない状態を改善していくことも必要なことと考えられる。

5. まとめ

- ・ これまで述べてきたように、世帯の経済状況と生活環境、教育環境、社会環境には一定の関係性が見られる。経済的に厳しい世帯は、必ずしも全員がというわけではないが、そうではない世帯と比べて、経済的支援のみに留まらず、子どもの生活環境、教育環境、社会環境に対する複合的、重層的な支援が必要な場合が多いと考えられる。
- ・ このことは、「子どもの貧困」と言われるものが、単なる経済的な困窮に留まらず、子どもの健康や学力、将来への夢・希望など様々なものに影響を与えているという一般的な説が、今回の本市の調査結果によってもある程度裏付けられたものと言える。

- ・ 様々な課題に陥った場合の原因が、全て経済的な困窮にあるわけではないが、経済的困窮から端を発した様々なリスク等について理解し、子どもたちを総合的に支援していくことが必要であると考ええる。
- ・ そのためには、行政、学校、民間団体、地域住民等、子どもに関わるあらゆる機関・団体等がその重要性を認識し、十分な連携強化のもとに、支援が必要な子ども達のニーズ等をきめ細やかに把握できるよう、不断の努力を継続していくことが必要である。
- ・ また、「子どもの貧困」は決して子どもの問題ではなく、いわば「世帯の貧困」であり、保護者が抱える課題がそのまま子どもに投影されている面も少なくない。
- ・ そういう意味で、子どもの抱える困難を子どもだけの問題、あるいは家庭内だけの問題と捉えるのではなく、地域あるいは社会における問題として捉え、子どもに対してのアプローチ、世帯に対してのアプローチを、一体的に連携しながら考えていくことが必要である。
- ・ 上記のとおり、子どもの貧困対策を効果的に進めるためには、行政、学校、地域団体等の関係機関が連携し、対象者の把握や安定的な支援の提供に努めていくことが重要なものと考えられる。